SoftBank X01SC

User Guide 取扱説明書

SoftBank

はじめに

このたびは、「SoftBank X01SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank X01SC をご利用の前に、「使い方ガイド」および「取扱説明書（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。
- SoftBank X01SC は、3G 方式と GSM 方式に対応しております。

ご注意

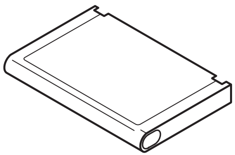
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.13-20）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
http://www.softbank.jp/mb/r/support/X01sc/

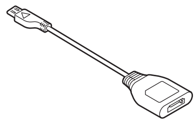
お買い上げ品の確認

SoftBank X01SC 本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。
付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（➔P.13-20）までご連絡ください。

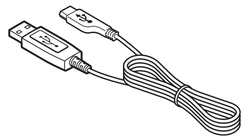
電池パック［SCBAV1］



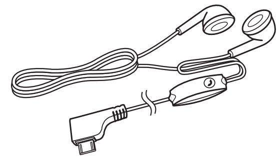
変換ケーブル［SCDAV1］



データケーブル［SCDAU1］



マイクイヤホン※



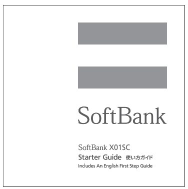
※試供品です。オプション品としてのお取扱いはございません。

- X01SC の充電には、ソフトバンクが指定した充電器（オプション品）を使用してください。
- X01SC では microSD™ ／ microSDHC™ メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販の microSD™ ／ microSDHC™ メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™ ／ microSDHC™ メモリカードを「メモリカード」と記載しています。

メモ

本書の構成

内容	章	
X01SCをお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／共通操作	2
X01SCの代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	カメラ／静止画編集	6
X01SCで利用できるその他の便利なツール（道具）やサービスについて説明しています。	エンタテイメント／生活ツール	7
	ビジネスツール	8
X01SCのセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	9
X01SCでのデータの管理方法について説明しています。	データ管理	10
無線による通信、パソコンとのデータの同期方法について説明しています。	通信／バックアップ	11
X01SCを使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	12
X01SCについての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	13



最初に「使い方ガイド」をお読みください。

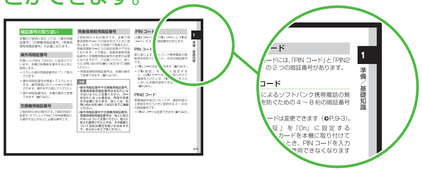
機能の探しかた

パラパラとめくって探す

本機の新しい魅力を発見しましょう。

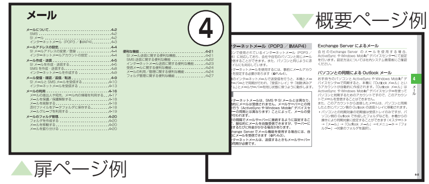
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。



- 各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



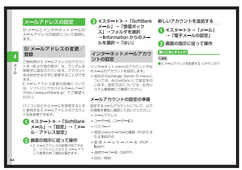
▼概要ページ例

▲扉ページ例

- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください（一部ない章もあります）。

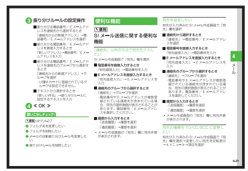
説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

●基本操作パターン



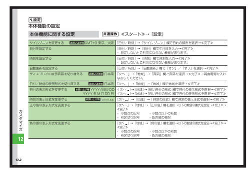
機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

●応用操作パターン



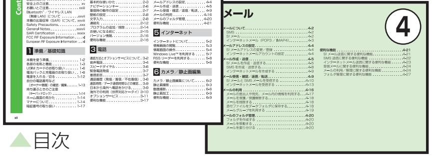
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

●設定操作パターン



本機の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

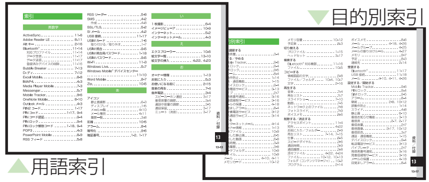


▼章目次

▲目次

- 「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける３つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



▼目的別索引

▲用語索引

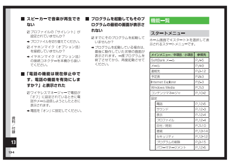
- 本機内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。



- 「資料／付録」の章の「機能一覧」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。



- 「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

表示やアイコンの意味を探す

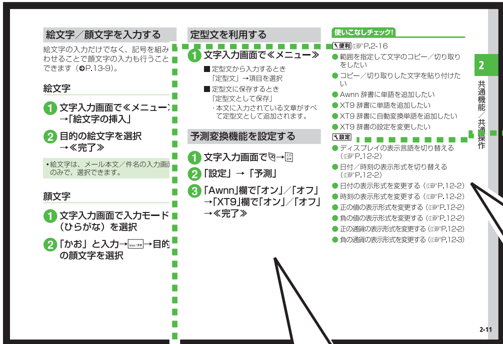
気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の記載パターン

基本操作パターン

各機能の基本操作をやさしく説明しています。



絵文字／顔文字を入力する

絵文字の入力だけでなく、記号を組みわせることで顔文字の入力も行うことできます（➔P.13-9）。

絵文字

1. 文字入力画面で≪メニュー≫→「絵文字の挿入」
2. 目的の絵文字を選択→≪完了≫

•絵文字は、メール本文／件名の入力画面のみで、選択できます。

顔文字

1. 文字入力画面で入力モード（ひらがな）を選択
2. 「かお」と入力→［Space/変換］→目的の顔文字を選択

定型文を利用する

1. 文字入力画面で≪メニュー≫

■定型文から入力するとき
「定型文」→項目を選択

■定型文に保存するとき
「定型文として保存」
・本文に入力されている文章がすべて定型文として追加されます。

予測変換機能を設定する

1. 文字入力画面で［メニュー］→［入力文字］
2. 「設定」→「予測」
3. 「Awnn」欄で「オン」／「オフ」→「XT9」欄で「オン」／「オフ」→≪完了≫

使いこなしチェック!

［便利］☞P.2-16
- 範囲を指定して文字のコピー／切り取りをしたい
- コピー／切り取りした文字を貼り付けたい
- Awnn 辞書に単語を追加したい
- XT9 辞書に単語を追加したい
- XT9 辞書に自動変換単語を追加したい
- XT9 辞書の設定を変更したい

［設定］
- ディスプレイの表示言語を切り替える（☞P.12-2）
- 日付／時刻の表示形式を切り替える（☞P.12-2）
- 日付の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 時刻の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 正の値の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 負の値の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 正の通貨の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 負の通貨の表示形式を変更する（☞P.12-3）

2 共通機能／共通操作

2-11

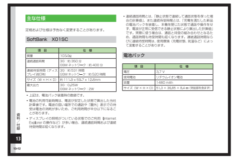
操作にあたってのご注意

•本書は、特にことわりのない限り、ホーム画面（➔P.2-3）からの操作を中心に説明しています。

［設定］この機能をカスタマイズして使いたいとき

詳しい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「メモリ容量一覧」と「主な仕様」をご覧ください。件数や時間など、詳細な仕様を確認することができます。



使いこなしチェックを活用しましょう

このページで説明している機能に関する代表的な応用操作や設定項目を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

［便利］この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。

設定

本体機能の設定

本体機能に関する設定　共通操作 ≪スタート≫→「設定」

タイムゾーンを変更する　お買い上げ時 GMT+9 東京、大阪	「日付／時刻」→「タイム ゾーン」欄で目的の都市を選択→≪完了≫
日付を設定する	「日付／時刻」→「日付」欄で年月日を入力→≪完了≫ ・ 設定しないとご利用になれない機能があります。
時刻を設定する	「日付／時刻」→「時刻」欄で時刻を入力→≪完了≫ ・ 設定しないとご利用になれない機能があります。
自動更新を設定する	「日付／時刻」→「自動更新」欄で「オン」／「オフ」を選択→≪完了≫
ディスプレイの表示言語を切り替える　お買い上げ時 日本語	「次へ ...」→「地域」→「言語」欄で言語を選択→≪完了≫→再度電源を入れなおしてください。
日付／時刻の表示形式を切り替える　お買い上げ時 日本語	「次へ ...」→「地域」→「地域」欄で地域を選択→≪完了≫
日付の表示形式を変更する　お買い上げ時 YYYY/MM/DD YYYY 年 M 月 DD 日	･「次へ ...」→「地域」→「短い日付の形式」欄で日付の表示形式を選択→≪完了≫ ･「次へ ...」→「地域」→「長い日付の形式」欄で日付の表示形式を選択→≪完了≫
時刻の表示形式を変更する　お買い上げ時 h:mm:ss	「次へ ...」→「地域」→「時刻の形式」欄で時刻の表示形式を選択→≪完了≫
正の値の表示形式を変更する	「次へ ...」→「地域」→「正の値」欄を選択→以下の数値の書式を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ 小数点の記号　・小数点以下の桁数 ・ 桁区切り記号　・負の値の表記
負の値の表示形式を変更する	「次へ ...」→「地域」→「負の値」欄を選択→以下の数値の書式を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ 小数点の記号　・小数点以下の桁数 ・ 桁区切り記号　・負の値の表記

カスタマイズ　12

12-2

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。
この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。

3 振り分けルールの設定操作

■振り分ける電話番号／E メールアドレスを連絡先から選択するとき
「連絡先からの新規アドレス」→電話番号／E メールアドレスを選択

■振り分ける電話番号／E メールアドレスを直接入力するとき
「新しいアドレス」→電話番号／E メールアドレスを入力

■振り分ける電話番号／E メールアドレスを連絡先のグループから選択するとき
「連絡先からの新規アドレス」→グループを選択
･USIM カードに登録されているグループは設定できません。

■テキストから選択するとき
「新しい件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4 ≪ OK ≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-27
- フォルダ名を変更したい
- フォルダを削除したい
- メールの自動振り分けルールを変更したい
- 振り分けルールを削除したい

便利な機能

便利

S! メール送信に関する便利な機能

「連絡先」以外の方法で宛先を入力したい

S! メール作成画面で「宛先」欄を選択

■電話番号を直接入力するとき
「宛先直接入力」→電話番号を入力

■E メールアドレスを直接入力するとき
「宛先直接入力」→E メールアドレスを入力

■連絡先のグループから選択するとき
「連絡先」→グループを選択
･電話番号や E メールアドレスが複数登録されている連絡先が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／E メールアドレスを選択してください。

■履歴から入力するとき
･「送信履歴」→履歴を選択
･「通話履歴」→履歴を選択
- メール作成画面の「宛先」欄に宛先件数が表示されます。

宛先を追加したい

宛先が入力済みの S! メール作成画面で「宛先」欄を選択

■連絡先から選択するとき
「連絡先」→電話番号／E メールアドレスを選択

■電話番号を直接入力するとき
「宛先直接入力」→電話番号を入力

■E メールアドレスを直接入力するとき
「宛先直接入力」→E メールアドレスを入力

■連絡先のグループから選択するとき
「連絡先」→グループを選択
･電話番号や E メールアドレスが複数登録されている連絡先が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／E メールアドレスを選択してください。

■履歴から入力するとき
･「送信履歴」→履歴を選択
･「通話履歴」→履歴を選択
- メール作成画面の「宛先」欄に宛先件数が表示されます。

宛先の種類を TO/CC/BCC に変更したい

宛先が入力済みの S! メール作成画面で「宛先」欄を選択→変更したい宛先を反転表示→≪メニュー≫→項目を選択

4　メール

4-21

操作中の画面でツールバーから選択できる操作などはここで説明しています。

表記の見かた

本書では、「SoftBank X01SC」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、本機の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と本機のイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。
本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。
本書では、画面を見やすくするために、ホーム画面の壁紙の設定を「なし」にした状態で掲載している場合があります。

確認／警告メッセージについて

操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、そのメッセージをよく読んで内容をよくご確認ください。

キーの表記について

本書では、本機のキーをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」（➔P.1-3）を参照してください。

ツールバー操作の表記

≪連絡先≫
└ソフトキー（⊟ または ⊟）の操作を示す

メニュー操作の表記について

メニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

1 ≪スタート≫→「設定」→「サウンド」→「着信音」
[◆] で目的の項目を反転表示し、[■] を押す操作を繰り返すことを示す

メニュー操作等について詳しくは、「基本的な使いかた」（➔P.2-3）を参照してください。

「反転表示」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソルを移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

メモ

Contents

1 準備／基礎知識

2 共通機能／共通操作

3 電話

4 メール

5 インターネット

6 カメラ／静止画編集

7 エンタテイメント／生活ツール

8 ビジネスツール

9 セキュリティ

10 データ管理

11 通信／バックアップ

Contents

Contents

12 カスタマイズ

13 資料／付録

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷[1]を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷[2]を負う可能性が想定される場合および物的損害[3]のみの発生が想定される」内容です。

1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが･やけど･感電などをさします。

3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIM カード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

分解禁止

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。

水濡れ禁止

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。

禁止

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

指示

本機の熱でガスに引火する恐れがあります。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。 指示

1 コンセントから充電器を持ってプラグを抜いてください。

2 本機の電源を切ってください。

3 やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子、外部メモリーカードホルダに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。 禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。 指示

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。 禁止

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。 禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

指示

失明などの原因となります。

⚠ 警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

指示

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

指示

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

指示

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

禁止

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

⚠ 警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

禁止

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

指示

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

指示

⚠注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

指示

使用箇所	使用材料、表面処理
表面外装周囲	PC/PVD (Physical Vapor Deposition)
裏面外装	PC/SPRAY
開始キー／ホームキー／クリアキー／終了キー／ナビゲーションキー／ソフトキー	PC/PVD (Physical Vapor Deposition)
サイドキー部分	PC ＋ポリウレタン／ SPRAY
キーパッド	PC/SPRAY
電池カバー	PC/SPRAY

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

禁止

キャッシュカード･クレジットカード･テレホンカード･フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

禁止

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

禁止

難聴になる可能性があります。

マイクイヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

急速充電器：AC100V ～ 240V（家庭用 AC コンセント専用）

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

指示

火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

禁止

感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

濡れ手禁止

感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

禁止

感電などの原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

感電などの原因となります。

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

指示

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

指示

けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

● ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13 年３月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から 22cm 以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

指示

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

指示

● 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。

● 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

● ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。

● 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機またはメモリカードに登録したデータ（連絡先、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な連絡先などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**

  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

傍受（ぼうじゅ）とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください（電源も入れないでください）。運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー　など
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は５～40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないように十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- **本機は防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 本機をズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338

- S! メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- XT9 is licensed by Tegic Communications. All Rights Reserved.
- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Adobe®、Acrobat®、Reader® とそれぞれのロゴは、米国 Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
- Copyright © 1995-2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- microSD™、microSDHC™ は SD アソシエーションの商標です。
- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- Powered by SwiftDecoder™ Copyright ©1996-2007, Omniplanar, Inc. All Rights Reserved.
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mobile、ActiveSync、Outlook、PowerPoint、Windows Media、Internet Explorer、Windows Live、Hotmail、Excel、および OneNote は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- その他、記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

Bluetooth® ／ワイヤレスLAN（無線LAN）について

Bluetooth® ／ワイヤレスLAN（無線LAN）について

本機のBluetooth® ／ワイヤレスLAN（無線LAN）機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 本機を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® ／ワイヤレスLAN（無線LAN）機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

※一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」（➔P.13-20）を参照してください。

この無線機器は、2.4 GHz帯を使用します。変調方法としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は1.5～5m以下です。与干渉距離は、周囲の環境により変化します。

本機の比吸収率（SAR）について

本機の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。

この携帯電話機「X01SC」も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.349 W/kgです。

この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にマイクイヤホン等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6W/kg となっています。測定試験は機種ごとに FCC が定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は 0.462 W/kg です。
身体装着の場合：この携帯電話機「X01SC」では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications &Internet Association（CTIA）のホームページ

http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「X01SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR 許容値は２ W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.857 W/kg※です。
SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

http://www.who.int/emf（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

Read safety precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Danger	Great risk of death or serious injury[1] from improper use
Warning	Risk of death or serious injury[1] from improper use
Caution	Risk of injury[2] or damage to property[3] from improper use

1 "Serious injury" includes blindness, wounds, low/high heat burns, electric shock, bone fractures, poisoning or other physical harm with aftereffects, or requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

2 "Injury" includes wounds, burns, electric shock or other physical harm not requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

3 "Damage to property" includes damage to home, furniture, livestock, pets, etc.

These symbols indicate prohibited or compulsory actions. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Prohibited	Prohibited actions
Do Not Disassemble	Disassembly prohibited
Avoid Liquids Or Moisture	Exposure to liquids prohibited
Do Not Use Wet Hands	Use with wet hands prohibited
Compulsory	Compulsory actions
Disconnect Power Source	Unplug Charger from outlet

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

⚠ Danger

Use specified battery and Charger (sold separately) only.

Compulsory

Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

Do Not Disassemble

May cause fire, injury, electric shock or malfunction.
Battery may leak, overheat, burst or ignite.
Modifying this mobile phone is proh bited by the Radio Law and subject to a penalty.

Do not expose handset or related hardware to liquids.

Avoid Liquids Or Moisture

Do not leave handset or related hardware wet after exposure to water, pet urine, etc., and do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire,
injury or malfunction. Use them in an appropriate place properly.

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).

Prohibited

May cause warping/malfunction; battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

⚠ Warning

Do not place handset, battery or Charger in/on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.

Compulsory

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion.
To prevent fire or explosion, do not use handset near gas or fine particles (Coal, dust, metal, etc.).

Do not apply strong shocks or impacts.

Prohibited

Do not drop/throw handset or related hardware. Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.

If there is unusual sound/odor, smoke or any other abnormality:

Compulsory

Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect charger from connector.

Keep liquids (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.) away from Charging terminals, External Device or Memory Card Holder.

Prohibited

May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.

⚠ Caution

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.

Prohibited

Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; be especially careful when Vibration is set or during Charge.

Keep handset and related hardware out of infants' reach.

Compulsory

Infants may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.

If your child is using handset and related hardware, explain all instructions and supervise usage.

Compulsory

Misuse may cause injury, etc.

Battery

⚠ Danger

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of battery accordingly.

Display	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of battery in fire.

Prohibited

Battery may leak, burst, ignite, etc.

Do not damage battery (with a nail, hammer, foot, etc.) or subject it to strong impacts or shocks.

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store battery with conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

Prohibited

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.

Compulsory

Eyes may be severely damaged.

⚠ Warning

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.

May cause skin damage.

Compulsory

If battery does not charge properly, stop trying.

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.

Compulsory

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery, being careful not to burn or injure yourself.Avoid fire sources.

Continued use may cause battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.

Compulsory

⚠ Caution

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse.

Tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Prohibited

Handset

⚠ Warning

Do not use handset while driving or cycling.

Accidents may result.
Phone use while driving or cycling is proh bited by law and subject to a penalty; park in a legal parking space beforehand.

Prohibited

Turn handset power off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.

May cause electronic malfunctions, etc. Be especially careful near the following devices:
Hearing aids, implanted pacemakers/defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.

Compulsory

Because handset radio waves may impair aircraft operations, please power off handset while aboard.

When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.

Compulsory

Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.

May cause heart damage.

Compulsory

If thunder is heard while outdoors, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning str ke or electric shock.

Compulsory

⚠ Caution

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.

Prohibited

Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Compulsory

Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (front)	PC / PVD (Physical Vapor Deposition)
Housing (rear)	PC / SPRAY
Send Key / Home Key / Clear Key / End Key / Navigation Key	PC / PVD (Physical Vapor Deposition)
Side Key	PC + POLYURETHANE / SPRAY
Keypad	PC / SPRAY
Battery Cover	PC / SPRAY

Keep handset away from magnetic cards, etc.

Prohibited

Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.

Do not swing handset by strap.

Prohibited

May harm self or others; strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.

Handset may become hot while in use, especially at high temperature.

Compulsory

Prolonged contact with skin may cause burn injuries.

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.

Prohibited

Excessive volume may damage ears or hearing.

Moderate handset volume when using Earphone Microphone.

Compulsory

Excessive volume may damage ears or hearing.

Charger (Sold Separately)

⚠ Warning

Do not cover/wrap Charger while charging.

Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.

Prohibited

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.

AC Charger (only for household wall sockets): AC 100V-240V Input

Prohibited

Leave Charger unplugged during periods of disuse; grasp plug to disconnect it.

May cause electric shock, fire or malfunction.

Disconnect Power Source

If liquids (water, pet urine, etc.) seep inside Charger, grasp plug from outlet and disconnect Charger immediately.

May cause electric shock, smoke/fire.

Disconnect Power Source

If plug is dusty, grasp it and disconnect Charger, then clean with a dry cloth.

Fire may result.

Compulsory

Plug Charger firmly into the outlet, keeping the plug and Charger charging terminals away from conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

May cause electric shock, short circuit, fire, etc.

Prohibited

Do not touch Charger plug with wet hands.

May cause electric shock or malfunction, etc.

Do Not Use Wet Hands

Do not touch Charger if thunder is heard.

May cause electric shock, etc.

Prohibited

⚠ Caution

Grasp plug and disconnect Charger from outlet before cleaning.

May cause electric shock, etc.

Disconnect Power Source

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger from outlet.

Pulling the plug by cord may damage cord, causing electric shock, fire, etc.

Compulsory

Do not subject Charger (sold separately) to strong shocks or impacts while it is plugged into the outlet.

May cause malfunction or injury.

Prohibited

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compat bility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ Warning

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.

Compulsory

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.

Radio waves may interfere with electronic medical equipment.

Compulsory

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:

Compulsory

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Compulsory

General Notes

General Use

- SoftBank Mobile is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Contacts entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Del berate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft (keep power off). Handset use may impair aircraft operation.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player etc.
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5°C - 40°C. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.
Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.
The software contained in X01SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

X01SC meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for X01SC is 0.349 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

* Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.

** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.

*** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset. For further information, see the following SoftBank website: http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.428 W/kg and when worn on the body, as descr bed in this user guide, is 0.462 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID A3LSWDX01SC.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.701 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as descr bed in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.857 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

準備／基礎知識

1

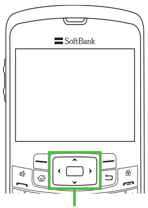
本機を使う準備

この章では、各部の名称や基本的な操作方法など本機をお使いにあたり、はじめに知ってほしいことについて説明します。

各部の名称と機能

本機には、様々なキーやカメラなどの機能があります。
また、ディスプレイには、様々なアイコンを使用しています。
それらのものについて説明します。

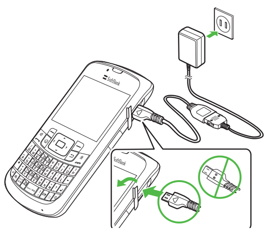
ナビゲーションキーを利用した操作



ナビゲーションキー

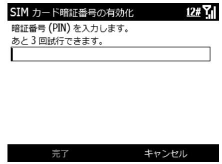
本機では、ナビゲーションキーを利用してディスプレイ上の項目を選択したり、ページを切り替えます（➲P.2-6）。

本機の充電



急速充電器やパソコンのUSBポートなどを利用して本機を充電できます（➲P.1-10）。
本機に接続コネクターを差し込むときは、接続コネクターの刻印面を上側にして差し込んでください。

本機で使用する暗証番号



本機では、次の暗証番号によってお客様確認を行っています。

- 操作用暗証番号
- 交換機用暗証番号
- 発着信規制用暗証番号
- PIN コード
- USIM パスワード

暗証番号は、本機から変えることもできます（➲P.1-17）。

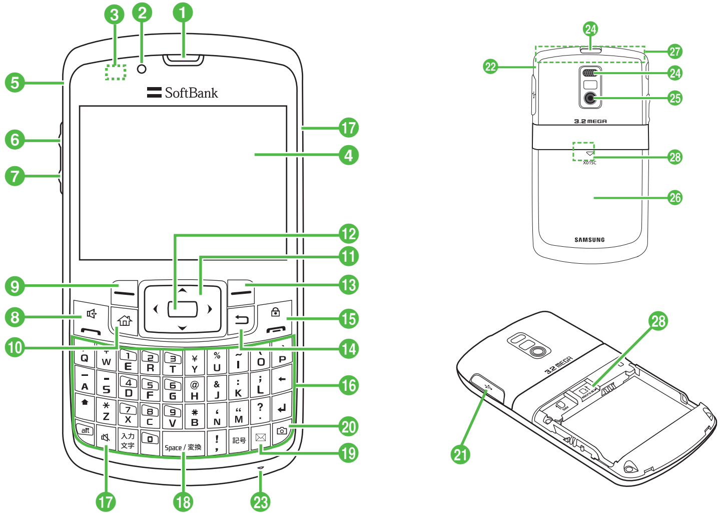
携帯電話ご使用時のマナー



公共の場では、マナーを守って携帯電話をお使いください。
本機では、マナーを守るために2つのモードがありますので、その場に応じてご使用ください（➲P.1-14）。
また、携帯電話の電源を切らなければならない場合は、電源をお切りください（➲P.1-12）。

各部の名称と機能

本体



❶ レシーバー（受話口）

❷ 光センサー
周りの明るさを感知するセンサーです。

❸ 着信ライト
音声通話やメールの着信時などに点滅してお知らせします。また、充電中に赤色で点灯します。

❹ ディスプレイ

❺ 電源／クイックリストキー
電源を入れたり切ったりするときや、クイックリストを表示するときに使います。

❻ サイドキー
着信中やメディアプレイヤー起動中に音量を上げます。

❼ サイドキー
着信中やメディアプレイヤー起動中に音量を下げます。

❽ 開始キー
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。

❾ 左ソフトキー
ディスプレイの下側の左に表示されている項目に対応しています。

❿ ホームキー
ホーム画面を表示します。

⑪ ナビゲーションキー
メニューの項目やアイコンを選択したり、画面をスクロールすることができます。

⑫ 決定キー
反転表示した項目の選択を決定するときに使います。

⑬ 右ソフトキー
ディスプレイの下側の右に表示されている項目に対応しています。

⑭ クリア／バックキー
操作を 1 つ前の状態に戻すときに使います。

⑮ 終了／ホールドキー
通話などを終了するときに使います。また、本機のキーパッドのロックに使います。

⑯ キーパッド
数字、文字、記号の入力に使います。

⑰ サイレントキー
サイレントプロファイルの設定や解除に使います（2 秒以上押す）。

⑱ 変換キー Space / 変換
かな漢字の変換に使います。

⑲ メールキー
あらかじめ電子メールの設定をしておくと、キーを押すだけで、メールの新規作成ができます。

⑳ カメラキー
カメラの起動に使います。カメラ撮影時はシャッターとして使います。

㉑ マイクイヤホン端子／充電端子／外部接続端子
マイク付きステレオイヤホン変換ケーブルや急速充電器、パソコンなどを接続する端子です。

㉒ ストラップ取り付け穴

㉓ マイク（送話口）

㉔ スピーカー

㉕ カメラ
撮影するときに使います。

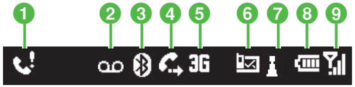
㉖ 電池カバー
電池パックやUSIMカード、メモリカードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

㉗ 内蔵アンテナ

㉘ メモリカード端子
microSD™ ／ microSDHC™ メモリカードを接続する端子です。

- **内蔵アンテナ／光センサー**
  本機は内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。内蔵アンテナ、光センサー部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ、光センサー部分にシールなどを貼らないでください。
- 光センサー部分に異物がないことを確認してください。異物があると、誤動作する恐れがあります。
- 保護フィルムなどを使用する場合は、光センサー部分に異物がないように注意してください。異物があると、誤動作する恐れがあります。

ディスプレイ



❶ 不在着信あり

❷ 未再生の留守番電話メッセージあり

❸ Bluetooth® 通信可能

❹ 無条件転送中

❺ 3G 網使用可能
3G 網使用可能（ローミング）
3G 網 HSDPA 使用可能
3G 網 HSDPA 使用可能（ローミング）

❻ S! メール／ SMS の新着メールあり
インターネットメールの新着メールあり
メール送信中
配信確認あり
スピーカーホンで通話中
Bluetooth® を利用してヘッドセットに接続中
サイレント設定中
バイブレータ設定中

❼ Wi-Fi 利用可能
Wi-Fi 接続中
Wi-Fi 接続完了

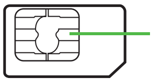
❽ 電池が十分残っている
電池が少し減っている
電池の残量が少ない
電池がほとんど残っていない
電池残量なし
USB 接続中／充電中

❾ 電波の受信レベル（ の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
音声電話通話中
電話機能オフ中
3G 網データ通信中
3G 網 HSDPA データ通信中
通話保留中
USIM カードなし
USIM カード無効

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。本機は、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。



USIM（ユーシム）カード

USIMカードには連絡先とSMSを保存できます。USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- 国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➔P.13-20）までご連絡ください。

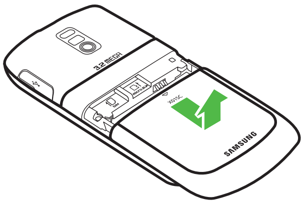
- 本機の修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着信音、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

USIM カードを取り付ける／取り外す

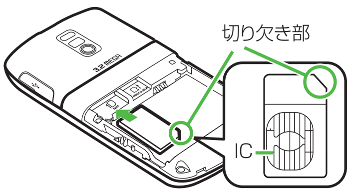
必ず電源を切ってください。

取り付ける

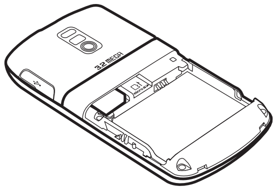
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせ、取り外す



2 USIM カードの金色の IC 部分を下側にし、切り欠き部の向きに注意して挿入口に差し込む



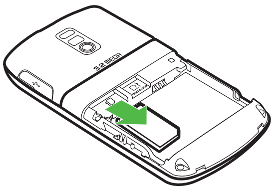
3 USIM カードが固定されるように、奥まで押し込む



取り外す

1 電池カバーを取り外す
（➔P.1-7「取り付ける 1」）

2 USIM カードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く



注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIM カードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外した USIM カードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIM カードの取り付けや取り外しを行うときは、IC 部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に 1 回程度、電池パックの充電を行ってください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が 5℃以下、または 40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先(➔P.13-20)までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **本機に使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使い方や操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5 ～ 40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 本機や電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - メール作成などで連続した操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - Bluetooth® 通信を何度も行ったとき
- 設定
  - スライドショーを設定しているとき
  - ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「パワーマネージメント」を選択し、「画面の明るさ」欄で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき

不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

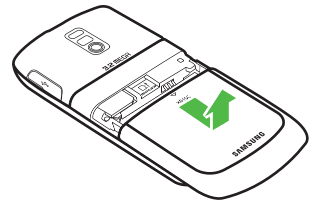
電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に本機の電源が切れます。

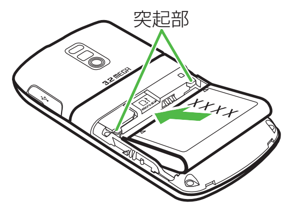
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

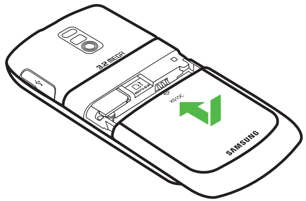
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせ、取り外す



2 本機の突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける



③ 電池カバーを本体にかぶせ、矢印の方向にスライドさせる



注意

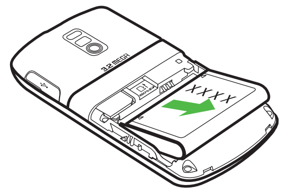
- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。本機の充電端子が壊れる場合があります。
- 電池カバーが外れた状態で使用すると、電池パックが抜ける恐れがあります。使用するときには、電池カバーを正しく取り付けてください。
- 強い衝撃などを与えると、電池カバーが曲がって取り付けにくくなることがあります。

取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。

① 電池カバーを取り外す
（➲P.1-9「取り付ける ①」）

② 電池パックを持ち上げて、取り外す



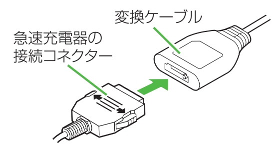
③ 電池カバーを取り付ける
（➲P.1-10「取り付ける ③」）

電池パックを充電する

- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は→のようにアイコンの表示が変わります。また、充電中は着信ライトが赤色で点灯します。
- 充電にかかる時間は、約 213 分です。時間は本機の電源を OFF にした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

急速充電器を利用して充電する

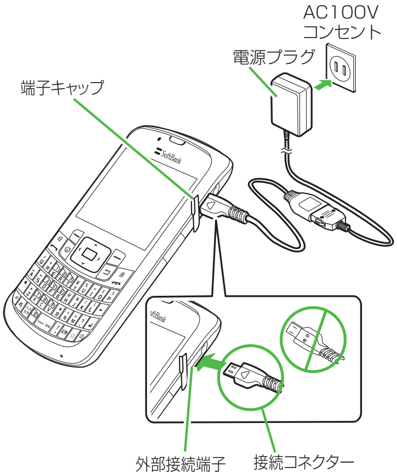
① 急速充電器の接続コネクターを付属の変換ケーブルに取り付ける



2 端子キャップを開き、外部接続端子に変換ケーブルの接続コネクターを差し込む

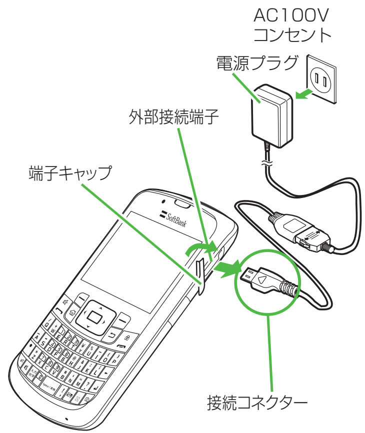
注意

- 接続コネクターの三角マークを上側にして差し込んでください。



3 急速充電器の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

4 充電が終わったら、本機から急速充電器の接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源コードの電源プラグをAC100Vコンセントから抜く



パソコンのUSBポートを利用して充電する

USBケーブルでパソコンと接続することにより、本機を充電できます。

1 端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む

注意

- 接続コネクターの刻印面を上側にして差し込んでください。

2 USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む

3 充電が終わったら、本機から接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのUSBコネクターをUSBポートから抜く

- 急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

使いこなしチェック!

設定

- バッテリ時のバックライト持続時間を設定する（☞P.12-5）
- AC 時のバックライト持続時間を設定する（☞P.12-5）
- 画面表示の持続時間を設定する（☞P.12-5）
- 画面の明るさを設定する（☞P.12-5）
- 光センサーを設定する（☞P.12-5）
- キーパッドバックライトの持続時間を設定する（☞P.12-5）

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を画面が表示されるまで押し続ける





- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます（➲P.12-5）。また、お買い上げ時の設定では、画面表示が消えると同時に誤動作防止が設定されます（➲P.1-14）。
- 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を切る

1 を画面が消えるまで押し続ける

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

- →「電源オフ」を選択して、電源を切ることもできます。

自分の電話番号など（オーナー情報）の確認／編集

オーナー情報として、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録することができます。

自分の電話番号などを確認する

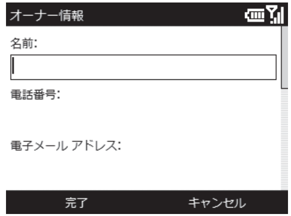
本機の USIM に登録されている電話番号は､｢固有番号｣で確認することができます。

1 ≪スタート≫→｢設定｣→｢電話｣→｢固有番号｣



オーナー情報を編集する

ここでは例として、本機に名前、電話番号、電子メールアドレスを登録します。



1 ≪スタート≫→｢設定｣→｢次へ ...｣→｢次へ ...｣→｢オーナー情報｣

2 ｢名前｣欄を反転表示→名前を入力

3 ｢電話番号｣欄を反転表示→電話番号を入力

4 ｢電子メールアドレス｣欄を反転表示→電子メールアドレスを入力

5 ≪完了≫

• 文字の入力方法については「文字入力」（➲P.2-8）を参照してください。

使いこなしチェック!

設定

● オーナー情報を変更する（☞P.12-3）

持ち運ぶときのご注意（キーパッドのロック）

本機を持ち運ぶときは、次の点にご注意ください。

- 鞄やポケットなどに入れて持ち運ぶときは、誤動作しないようにキーパッドをロックすることをおすすめします。
- 電源コードを持ち運ぶときは、プラグを倒してください。また、コードを強く引っぱったり無理にねじったりすると、断線の原因となります。

本機を持ち運ぶときなどに誤動作しないよう、キーをロックすることができます。

1 （2 秒以上）

- 誤動作防止が設定されます。

- 誤動作防止を解除する場合は、≪ロックの解除≫→「*」を入力。
- ロックの解除にパスワード入力を求めるように設定（デバイスロック）できます（➔P.9-4）。

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、≪スタート≫から機能を呼び出す以外に、 で項目を選択する方法もあります（➔P.2-3）。また、カメラで撮影した静止画を壁紙に設定することができます（➔P.12-4）。



マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内※や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。

  ※機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

本機には、マナーを守るためのプロファイルが用意されています。

- サイレント

  着信音や操作音などをミュートにするプロファイルです。

  ワンタッチで設定／解除できます。

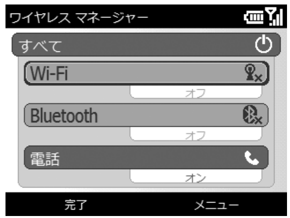
  サイレント以外に、着信音や操作音などをバイブレータにするプロファイルとして「バイブ」があります。

- プロファイルを利用して着信音をミュートにしたり、バイブレータにしたりする方法のほかにも、着信の種類（音声通話、SMS、S! メールなど）ごとに個別に着信音量、バイブレータを設定することもできます（➔P.12-3）。

通話・通信機能のオン／オフを切り替える

ワイヤレスマネージャーを使うと、Wi-Fi、Bluetooth、電話の電波のオン／オフを切り替えることができます。

1 ≪スタート≫→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」



2 で項目を選択

3 ≪完了≫

- を押すたびに、オン／オフが切り替わります。
- 「すべて」を選択すると、「Wi-Fi」「Bluetooth」「電話」の設定を一括して切り替えできます。
- を押して、クイックリストからワイヤレスマネージャーを起動することもできます。

プロファイルをサイレントに切り替える

簡単な操作で現在設定中のプロファイルをサイレントに設定したり、元のプロファイルにすることができます。

1 （2 秒以上）

- サイレント中はディスプレイ最上段にが表示されます。
- サイレントに設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- サイレントを解除する場合は、設定と同様にを2秒以上押します。解除すると、サイレントを設定する前に設定していたプロファイルに戻ります。

プロファイルを切り替える

サイレントを含む 5 種類の中から選択できます。

1 ≪スタート≫→「設定」→「プロファイル」

2 「標準」／「サイレント」／「バイブ」／「アウトドア」／「自動切替」

プロファイルは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください。

プロファイル	内容
標準	本機から出る音を気にせずに使える状況に適している。
サイレント	着信音や効果音が、あらかじめミュートに設定されている。
バイブ	本機から音を出さないで、振動でお知らせする。
アウトドア	着信音があらかじめ最大音量に設定されている。
自動切替	予定表で現在の時刻が「予定あり」になっている場合、標準プロファイルからバイブプロファイルに切り替わる。

※ 標準、アウトドア、自動切替のアイコンは、ディスプレイには表示されません。

• プロファイルは、Ⓐを押して、クイックリストから切り替えることもできます。

使いこなしチェック!

設定

● プロファイルを切り替える（☞P.12-4）

● プロファイルを編集する（☞P.12-4）

各プロファイルのお買い上げ時の設定

お買い上げ時に、各プロファイル（標準、サイレント、バイブ、アウトドア）に設定されている音量や着信音などを次の表に示します。各プロファイルの設定は変更できます（➔P.12-4）。

プロファイル／設定項目	標準	サイレント	バイブ	アウトドア
着信通知の種類	着信音	サイレント	バイブ	着信音
着信音の音量	4	オフ	オフ	最大
アラーム（Outlook）の種類	サウンドの再生	サウンドの再生	マルチバイブ	音量を上げる
アラーム（Outlook）の音量	4	オフ	オフ	最大
通知の種類	サウンドの再生	サウンドの再生	パルスバイブ	サウンドの再生
通知の音量	4	オフ	オフ	最大
システムサウンドの音量	4	オフ	オフ	3

暗証番号の取り扱い

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「0000」に設定されています。本機をお買い上げ時の状態に戻すときや Mobile Tracker を設定するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、本機の操作で変更できます（➲P.9-3)。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。ご契約内容の変更や、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の４桁の数字です。本機で発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を３回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.13-20)までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、本機の操作で変更できます（➲P.3-16)。

注意

- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(➲P.13-20)までご連絡ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PIN コード

USIM カードには、「PIN コード」と「PIN2 コード」の２つの暗証番号があります。

PIN コード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための４～８桁の暗証番号です。

- PIN コードは変更できます（➲P.9-3)。
- SIM カード暗証番号 (PIN) を有効にすると、USIM カードを本機に取り付けて電源を入れたとき、PIN コードを入力しないと本機を使用できなくなります（➲P.9-4)。

PIN2 コード

USIM カード内のデータを変更するときに使用する４～８桁の暗証番号です。

- PIN2 コードは変更できます（➲P.9-3)。

PIN ロック解除コード（PUK ／ PUK2 コード）

PIN ロック解除コード（PUK コード）とは、PIN ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN ロック状態になります。
PIN ロック解除コードについては、お問い合わせ先(➔P.13-20)までご連絡ください。

注意

- PIN ロック解除コードを 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされ、本機を使用できなくなります。PIN ロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIM カードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➔P.13-20)までご連絡ください。

USIM パスワード

USIM パスワードとは、USIM カードの認証に使用する専用のパスワードです。
USIM パスワードが一致すれば、他の USIM カードでも本機を使用できます。
USIM パスワードは、SIM のロックを有効にするたびに変更できます。

共通機能／共通操作

2

共通機能と共通操作について

本機には、電話、メールなど様々な機能があります。
この章では、これらのたくさんの機能をお使いいただくために、機能の呼び出しかたや文字の入力方法など、本機をお使いいただくうえで共通して使う機能について説明しています。

様々な方法で機能を呼び出す



ホーム画面の各種パネルから機能を簡単に呼び出すことができます。また、クイックリスト、ショートカットキーなどを使うと、本機の機能を簡単に呼び出すことができます（➔P.2-3）。

文字の入力方法



日本語、英語を入力できます（➔P.2-8）。

着信時の動作設定



着信音の設定やバイブレータの設定など、着信時の動作を設定できます（➔P.2-7）。

連絡先



ご家族やお友達など、よく電話やメールをする相手の電話番号やメールアドレスなどを連絡先に登録できます（➔P.2-12）。

基本的な使いかた

本機には、機能の呼び出し方として次の４つの方法を用意しています。
１つの機能でもいろいろな呼び出しかたができるので、簡単に機能をご利用いただけます。

- ホーム画面（➲P.2-3）
- スタートメニュー（➲P.2-5）
- クイックリスト（➲P.2-5）
- ショートカットキー（➲P.2-6）

ホーム画面

ホーム画面には、よく利用する機能、または≪スタート≫、≪メニュー≫のような操作や設定の選択肢が表示されます。ホーム画面に表示される内容や数は、ホーム画面のレイアウトの設定によって変わります（➲P.12-4）。
ホーム画面上の機能を実行するには、目的の項目を選択します。



パネルについて

ホーム画面のパネルから様々な機能を呼び出すことができます。

- を押すとパネルを切り替えることができます。
- を押すとパネル内の項目を切り替えることができます。

「SoftBank」パネル



日付と時刻を表示します。を押してホーム画面に戻ると、このパネルが反転表示されます。

- 「SoftBank」パネルを選択すると日付や時刻を設定できます（➲P.7-11 日付／時刻 ❷）。

通知／メールのパネル



不在着信通知の確認（➲P.3-8）、留守番電話の確認（➲P.3-13）、S! メールとSMSメールの受信ボックス確認（➲P.4-12）、インターネットメールアカウントの設定（➲P.4-4）ができます。

「予定」パネル



予定の確認（➲P.8-3「予定を確認する❷」）／予定の登録（➲P.8-3「予定を登録する❸」）ができます。

「お使いになる前に」パネル



各種設定についての説明を確認できます。

- ≪スタート≫→「お使いになる前に」を選択しても同様の説明を確認できます（➲P.2-16）。

「お気に入り」パネル



Internet Explorer® の起動や、パネルのお気に入りの追加／削除ができます。

- お気に入りの追加／削除

  「お気に入り」パネルを反転表示→ →「追加／削除」を選択→お気に入りを反転表示→≪選択≫／≪選択解除≫を選択します。

「音楽」パネル



「音楽」パネルを選択すると、ホーム画面のままで音楽が再生されます。

- トラックの切り替え

- Windows Media® Player Mobile のライブラリ画面表示

  「音楽」パネルを反転表示→≪ライブラリ≫

- 再生の一時停止

  再生中のトラックを選択

- 再生の停止

  再生中のトラックを反転表示→≪ Windows Media ≫→≪メニュー≫→「停止」を選択

「マイ フォト」パネル



ホーム画面上でカメラで撮影した写真やダウンロードした画像を確認できます。

- 画像一覧の確認

 「マイ フォト」パネルを反転表示→≪すべての写真≫→「My Pictures」フォルダが開きます（➲P.10-2）。

「設定」パネル



プロファイルの設定(➲P.1-15)、ワイヤレスマネージャーの起動(➲P.1-15)、着信音やアラームの設定(➲P.12-3)、背景イメージの設定(➲P.2-8)、タスクマネージャーの起動（➲P.8-12）ができます。

スタートメニュー

本機のすべての機能は、このスタートメニューから使うことができます。

1 ≪スタート≫



2 目的の項目を選択

3 操作 2 を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「タスクマネージャー」を起動する場合
「アプリケーション」→「タスクマネージャー」

- 操作を 1 つ前の状態に戻すには、 を押します。
- プログラム表示中に を押すとホーム画面に戻りますが、ほとんどの場合プログラムは起動したままです。プログラムを終了するには、タスクマネージャーからプログラムを終了する必要があります。
- プログラムを起動したままでは、プログラム実行用メモリが不足し、動作が遅くなることがあります。

クイックリスト

 を押して、次の機能を呼び出すことができます。

- 電源オフ
- ロック
- タスクマネージャー
- ワイヤレスマネージャー
- プロファイル（「標準」／「サイレント」／「バイブ」／「アウトドア」／「自動切替」）

ショートカットキー

ホーム画面でショートカットボタンを押して、機能を呼び出すことができます。

キー	呼び出される機能
（長押し）	電源オフ
	通話履歴／着信通知
／	ホーム画面の表示
（長押し）	タスクマネージャーの起動
（長押し）	誤動作防止の設定
（長押し）	サイレントの設定
	メールの起動
	カメラの起動
（長押し）	画面の拡大
（長押し）	留守番電話サービスセンターへの接続
＋	Bluetooth® のオン／オフ
＋	ヘッドセットマネージャーの起動

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-17

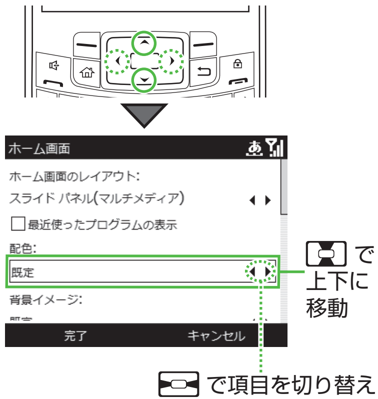
● alt キーと特定のキーで呼び出す機能を設定したい

ナビゲーションキー

本機は、ディスプレイに表示されている項目やアイコンをナビゲーションキーで操作します。
ここではナビゲーションキーを使って項目を選択したり、ページを切り替える操作について記載します。

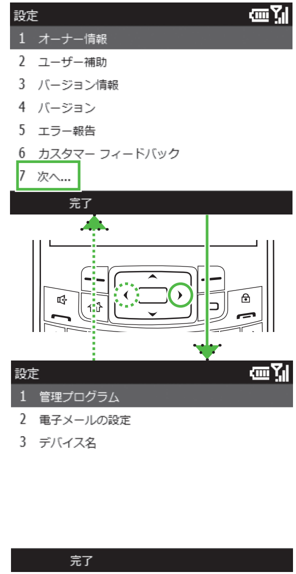
項目選択

を押して、ディスプレイ上の項目やアイコンを選択します。



ページ切り替え

設定項目が複数のページに表示される場合など、を押して、ページを切り替えることができます。



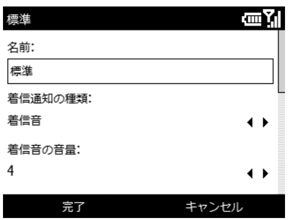
着信時の動作の設定

音声通話やメールなど、着信の内容ごとに着信音、着信音量、バイブレータの振動パターンを設定できます。
着信の内容ごとに設定を変更すると、着信音を聞くだけで（バイブレータの振動パターンだけで）、どの着信かを区別できます。

着信音量を設定する

着信音の音量をオフ（ミュート）～最大の６段階で調整できます。

1. ≪スタート≫→「設定」
2. 「プロファイル」→変更するプロファイルの種類を反転表示→≪メニュー≫→「編集」



3. 「着信音の音量」欄→音量を選択→≪完了≫

使いこなしチェック!

設定
- ホーム画面の設定を変更する（☞P.12-4）
- スタートメニューのスタイルを設定する（☞P.12-5）

着信音を設定する

お買い上げ時にすでに本機に登録されている着信音のほかにも、インターネットからダウンロードした着信音などを設定できます。

1. ≪スタート≫→「設定」
2. 「サウンド」→「着信音」

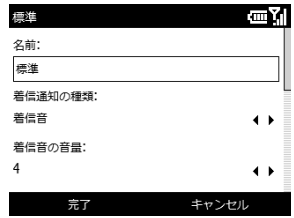


3. 「着信音」欄→着信音の種類を選択
4. ≪完了≫

バイブレータを使う／解除する

着信時のバイブの振動パターンをバイブ、パルスバイブ、マルチバイブ、バイブの後に着信音、バイブと着信音の５種類から設定できます。

1. ≪スタート≫→「設定」
2. 「プロファイル」→変更するプロファイルの種類を反転表示→≪メニュー≫→「編集」



3. 「着信通知の種類」欄→「バイブ」／「パルスバイブ」／「マルチバイブ」／「バイブの後に着信音」／「バイブと着信音」→≪完了≫

使いこなしチェック!

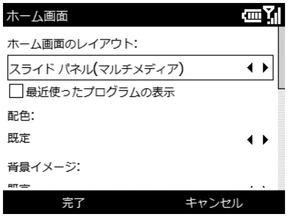
設定
- 音声通話の着信音を設定する（☞P.12-3）
- その他のサウンドを設定する（☞P.12-3）

壁紙の設定

本機に保存されている静止画を壁紙に設定できます。

1 ≪スタート≫→「設定」

2 「表示」→「ホーム画面」



3 「背景イメージ」欄→背景イメージの種類を選択→≪完了≫

文字入力

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英字／数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字を入力できます。入力できる文字は、画面右上にアイコンで表示されます。



アイコン	入力モード
あ	漢字／ひらがな（➲P.2-9）
カ／カ	カタカナ（➲P.2-9）
abc／ABC	英字（➲P.2-10）
12#／12#	数字（➲P.2-10）
12#／12#／SYM	記号（➲P.2-10）
SYM	絵文字（➲P.2-11）
あ	顔文字（➲P.2-11）

入力モードの切り替えについては、「入力モードを切り替える」（➲P.2-9）を参照してください。

キーパッドについて

- アルファベットキー／数字キー／記号キー

  各キーの下半分に印字されている文字が入力されます。

  各キーを長押しした場合や数字／記号入力モードに切り替えた場合、各キーの上半分に印字されている文字が入力されます。

- シフトキー ［⇧］（➲P.2-10）

  大文字と小文字を切り替えます。

- alt キー ［alt］（➲P.2-9）

  入力モードを数字／記号に切り替えます。

- Space ／変換キー ［Space / 変換］

  空白を入力します。

  ひらがな入力中は、漢字に変換します。

- 入力モードキー ［alt］＋［入力文字］（➲P.2-9）

  入力モードのメニューが表示されます。

- 改行キー ［↵］

  改行を入力します。

  変換中は、変換を確定します。

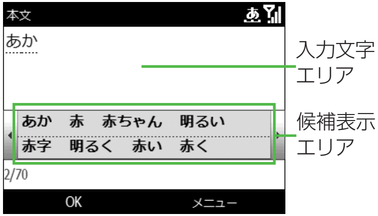
- バックスペースキー ［←］

  直前の文字を削除します。

  変換中は、変換を取り消します。

文字入力画面の見かた

文字入力画面でキーパッドのキーを押して文字を入力します。

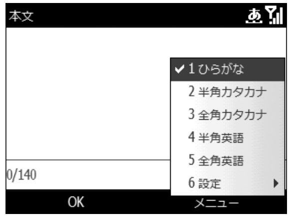


- 文字の入力中や編集中に音声電話がかかってきたときは、通話終了後に、[終話] を押すと元の文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させると元の画面に戻ります。

入力モードを切り替える

入力モード（ひらがな、半角カタカナ、全角カタカナ、半角英語、全角英語）を切り替えます。

❶ 文字入力画面で[alt]＋[入力文字]



❷ 切り替えたい入力モードを選択

- 入力モードを数字／記号に切り替える場合は、「数字／記号を入力する」（➔P.2-10）を参照してください。

ひらがな／カタカナ／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや英数字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。ここでは例として、「鈴木」／「すずき」／「スズキ」と入力します。

❶ 文字入力画面で入力モード（ひらがな／半角カタカナ／全角カタカナ）を選択

■「鈴木」を入力するとき

ひらがなを選択→[S]→[U]→[Z]→[U]→[K]→[I]→[Space／変換]→予測候補から「鈴木」を選択

■「すずき」を入力するとき

ひらがなを選択→[S]→[U]→[Z]→[U]→[K]→[I]

■「スズキ」を入力するとき

全角カタカナ／半角カタカナを選択→[S]→[U]→[Z]→[U]→[K]→[I]

- 文字を間違えた場合は、[key]／[key]を押して文字を消し、もう一度入力します。
- ひらがな／カタカナで決定する場合は、[key]／[key]を押します。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- ひらがな入力モードで、文字を入力するとカタカナ／数字に変換できます。例として、「くも」と入力すると、カタカナの「クモ」や数字の「22277777」が変換候補として表示されます。また入力した文字の条件によっては、時刻や日付も変換候補として表示されます。

英字を入力する

1 文字入力画面で入力モード（半角英語／全角英語）を選択

2 キーパッドのキーを押して目的の英字を入力

- 半角英語／全角英語入力モードで文字を選択した後に[key]を押すと、押すたびに大文字と小文字が切り替わります。
- 文字を間違えた場合は、[key]／[key]を押して文字を消し、もう一度入力します。

数字／記号を入力する

数字、￥や！など、キーパッド各キーの上半分に印字されている数字／記号を入力できます（➲P.13-8）。

1 文字入力画面で[alt]を押す

2 キーパッドのキーを押して目的の数字／記号を入力

- 数字／記号を1文字入力すると、入力モードが一つ前のモードに戻ります。
- 数字／記号を連続して入力したい場合は、[alt]を2回押して[12#]を表示させます。
- 数字／記号の連続入力を解除したい場合は、[alt]を1回押します。
- 入力したい記号がキーパッドにない場合は、[記号]を押して記号一覧画面を表示し、入力したい記号を選択します。

絵文字／顔文字を入力する

絵文字の入力だけでなく、記号を組み合わせることで顔文字の入力も行うことができます（➲P.13-9）。

絵文字

1 **文字入力画面で≪メニュー≫→「絵文字の挿入」**

2 **目的の絵文字を選択→≪完了≫**

- 絵文字は、メール本文／件名の入力画面のみで、選択できます。

顔文字

1 **文字入力画面で入力モード（ひらがな）を選択**

2 **「かお」と入力→[Space/変換]→目的の顔文字を選択**

定型文を利用する

1 **文字入力画面で≪メニュー≫**

■定型文から入力するとき
「定型文」→項目を選択

■定型文に保存するとき
「定型文として保存」
・本文に入力されている文章がすべて定型文として追加されます。

予測変換機能を設定する

1 **文字入力画面で[alt]＋[入力文字]**

2 **「設定」→「予測」**

3 **「Awnn」欄で「オン」／「オフ」→「XT9」欄で「オン」／「オフ」→≪完了≫**

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-17

- 範囲を指定して文字のコピー／切り取りをしたい
- コピー／切り取りした文字を貼り付けたい
- Awnn 辞書に単語を追加したい
- XT9 辞書に単語を追加したい
- XT9 辞書に自動変換単語を追加したい
- XT9 辞書の設定を変更したい

設定

- ディスプレイの表示言語を切り替える（☞P.12-2）
- 日付／時刻の表示形式を切り替える（☞P.12-2）
- 日付の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 時刻の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 正の値の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 負の値の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 正の通貨の表示形式を変更する（☞P.12-2）
- 負の通貨の表示形式を変更する（☞P.12-3）

連絡先

本機に登録できる連絡先の件数は、本体メモリの空き容量によって異なります。1 件の連絡先に登録できる内容は次のとおりです。

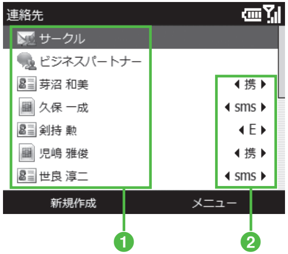
項目	内容
名前／姓[1]	全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）
名前／名[1]	全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）
フリガナ（姓）	全角文字
フリガナ（名）	全角文字
画像	本体／メモリカードから選択
勤務先電話 1 ～ 2[1]	半角英数字（USIM カードには 1 件のみ登録可能）
携帯電話[1]	半角英数字
自宅電話 1 ～ 2	半角英数字
着信音	登録された着信音と「なし」から選択
電子メール 1 ～ 3[1]	半角英数字（USIM カードには 1 件のみ登録可能）
IM1 ～ 3	半角英数字
会社代表電話	半角英数字
分類項目	項目を選択
ポケットベル	半角英数字
自動車電話	半角英数字
勤務先 FAX	半角英数字
自宅 FAX	半角英数字
秘書の電話	半角英数字
PHS	半角英数字
Web ページ	半角英数字
表題	姓と名を組み合わせて表示
勤務先	全角／半角文字
フリガナ（勤務先）	全角文字
部署	全角／半角文字
役職	全角／半角文字
事業所	全角／半角文字
郵便番号	勤務先／自宅／その他の住所に登録
都道府県	勤務先／自宅／その他の住所に登録
市町村	勤務先／自宅／その他の住所に登録
番地	勤務先／自宅／その他の住所に登録
国／地域	勤務先／自宅／その他の住所に登録
メモ	全角／半角文字
ニックネーム	全角／半角文字
誕生日	年月日
記念日	年月日
上司	全角／半角文字
ID 番号	半角文字
アカウント名	半角文字
カスタマー ID	半角文字
配偶者	全角／半角文字
子供	全角／半角文字
秘書	全角／半角文字

1 USIM カードに登録できる項目です。

注意

- 大切なデータを失わないために
  連絡先に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な連絡先などは、控えをとっておかれることをおすすめします。連絡先が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡先の見かた



❶ 種類
：Outlook 連絡先
：SIM カード連絡先
：電子メールグループ
：SMS グループ

❷ 電話番号／メールアドレス登録状況
登録する内容によって表示される項目が変わります。例として、携帯電話を登録すると「携」と「sms」が表示されるようになります。

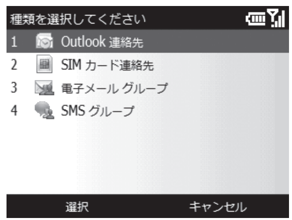
連絡先に登録する

連絡先は、本体と USIM カードに保存できます。お買い上げ時の連絡先の保存先は「本体」です。USIM カードに保存するには、連絡先を反転表示→《メニュー》→「連絡先のコピー」→「SIM へ」を選択します。
ここでは、連絡先を新規に登録する方法と通話履歴から登録する方法について説明します。

新規に連絡先を登録する

ここでは例として、SIM カード連絡先に名前、携帯番号、電子メールアドレスを登録します。

1 《連絡先》→《新規作成》



2 「SIM カード連絡先」を選択

3 「名前」欄を反転表示→名前を入力

4 「携帯電話」欄を反転表示→電話番号を入力

5 「電子メール」欄を反転表示→アドレスを入力

6 《完了》

- 電話番号欄に入力できる電話番号には、0〜9の数字のほか、#、*、P（ポーズ）、-、＋（国際コード）を登録できます。#、*、-、＋は対応するキーを押します。Pは、《メニュー》→「ポーズの挿入」を選択します。
- 「Outlook 連絡先」の場合は、《メニュー》→「ウェイトの挿入」を選択することで、W（ウェイト）を登録できます。

通話履歴から連絡先を登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の連絡先へ追加登録したりできます。

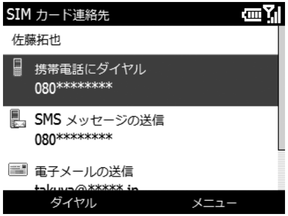
1 《スタート》→「アプリケーション」→「通話履歴」

2 登録したい通話履歴を反転表示→《メニュー》→「連絡先に保存」

3 《選択》→連絡先の種類を選択→名前などを入力→《保存》／《完了》

連絡先から電話をかける

1 ≪連絡先≫→電話をかけたい連絡先を選択



2 「携帯電話にダイヤル」欄を反転表示→≪ダイヤル≫

連絡先を削除する

1 ≪連絡先≫

2 連絡先の削除操作

■ 1 件削除
削除したい連絡先を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

■ 複数削除
削除したい連絡先を反転表示→≪メニュー≫→「連絡先の選択」→「複数」→再度削除したい連絡先を選択→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫
・連絡先の選択が終わるまで、削除したい連絡先の選択を繰り返します。

■ 全削除
≪メニュー≫→「連絡先の選択」→「すべて」→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-18

- 連絡先を編集したい
- 連絡先に着信画像を設定したい
- 連絡先に着信音を設定したい
- 連絡先からホームページに接続したい
- 連絡先をvファイルに変換して送信したい
- 本機と USIM カードとの間で連絡先をコピーしたい
- 電話番号を入力してから登録したい

プログラムの追加／削除

パソコンと接続して追加する

パソコンと接続して、本機にモバイル用のプログラムを追加できます。

1 追加したいアプリケーションをパソコン側にインストールする

2 ActiveSync®の「ツール」メニューから「アプリケーションの追加と削除」を選択

3 追加対象のアプリケーションをチェック

4 「OK」をクリック

5 「同期」をクリック

インターネットから追加する

インターネット上から、本機にモバイル用のプログラムを追加できます。

Marketplace

Marketplace は、Windows Mobile 6.5 から標準機能となる、Windows Mobile 向けのアプリケーション配信サービスです。CD-ROM などを介さずに、Windows Mobile 端末から直接ネットワークを経由してアプリケーションを検索／ダウンロードできます。

1. ≪スタート≫→「Marketplace」
2. 初回のみ、更新プログラムがダウンロード、インストールされるので、画面の指示に従う

JAVA アプリケーション

1. ≪スタート≫→「Internet Explorer」→目的の情報画面にアクセス→画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロード／インストール
2. ≪スタート≫→「アプリケーション」→「Java」→ダウンロード／インストールしたアプリケーションを選択

プログラムを削除する

本機に追加したプログラムを削除します。

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「プログラムの削除」
2. 一覧から対象のプログラムを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

画面の拡大表示

ホーム画面や各種画面を拡大表示させたり、拡大した画面の自動スクロールなどができます。

- 機能によっては、画面の拡大表示はできません。

画面の拡大

1. ホーム画面などで（長押し）



- で画面をスクロールできます。
- ／で倍率を変更できます（最大約 2 倍）。

画面の自動スクロール

1 拡大表示中に →下記のアイコン／キーを選択



アイコン	キー	説明
		左→右にスクロールし、全体を表示。この動作を繰り返す。
		上→下にスクロール、全体を表示。この動作を繰り返す。
		左上→右上→左下→右下の順にスクロールして全体を表示。この動作を繰り返す。
		拡大表示の終了

• 拡大表示中や自動スクロール中に音声電話がかかってきたりアラーム通知が起動した場合は、拡大表示は終了します。

自動スクロールの速度設定

1 拡大表示中やスクロール中に ／



2 メーター表示中に （減速）／ （加速）

• 拡大表示中はその他の機能を利用できません。拡大表示開始時の画面表示範囲を確認することだけできます。

お使いになる前に

各種機能の設定方法に関する説明を確認できます。

1 ≪スタート≫ →「お使いになる前に」

2 項目を選択

• 説明文中のリンクを選択すると、設定画面や関連するサイトを表示することができます。
• 「[お使いになる前に] の追加／削除」を選択し、説明文中のリンクを選択すると、ホーム画面のパネルに「お使いになる前に」を追加／削除できます。

バージョン情報

Windows Mobile のバージョン情報

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「次へ ...」→「バージョン情報」

電話機能等のバージョン情報

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「次へ ...」→「バージョン」

その他ソフトウェアのバージョン情報

一部のソフトウェアでは、≪メニュー≫から確認できます。

便利な機能

便利

キー設定に関する便利な機能

alt キーと特定のキーで呼び出す機能を設定したい

≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「キー設定」→「ALT キーの設定」→≪一覧の表示≫

■ 追加するとき

≪メニュー≫→「追加」→「キーパッドの割り当て」欄でキーを選択→「値」欄で機能を選択→≪完了≫

■ 削除するとき

削除する機能を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

■ 機能を変更するとき

変更する機能を反転表示→ で機能を選択→≪完了≫

または

変更する機能を選択→ で機能を選択→≪完了≫→≪完了≫

■ キーを変更するとき

削除してから変更したいキーに追加します。

便利

文字入力に関する便利な機能

範囲を指定して文字のコピー／切り取りをしたい

文字入力画面のコピー／切り取りをする文字の手前で≪メニュー≫→「コピー／切り取り」→範囲を指定→≪コピー≫（または≪メニュー≫→「切り取り」）

コピー／切り取りした文字を貼り付けたい

文字入力画面で文字を貼り付ける位置にカーソルを移動→≪メニュー≫→「貼り付け」

Awnn 辞書に単語を追加したい

文字入力画面で[alt]+[入力文字]→「設定」→「Awnn辞書」→「ユーザ」／「学習」→≪追加≫→「読み」欄を反転表示→読みを入力→「候補」欄を反転表示→候補を入力→「品詞」欄を反転表示→項目を選択→≪完了≫

XT9 辞書に単語を追加したい

文字入力画面で[alt]+[入力文字]→「設定」→「XT9辞書」→「XT9 登録単語」→≪登録≫→「単語登録／修正」欄を反転表示→単語を入力→≪完了≫

XT9 辞書に自動変換単語を追加したい

文字入力画面で+入力文字→「設定」→「XT9 辞書」→「XT9 自動置換」→≪登録≫→「ショートカット」欄を反転表示→ショートカットを入力→「置換」欄を反転表示→置換用語を入力→≪完了≫

XT9 辞書の設定を変更したい

文字入力画面で+入力文字→「設定」→「XT9 設定」→各項目を編集

便利

連絡先に関する便利な機能

連絡先を編集したい

≪連絡先≫→編集したい連絡先を反転表示→≪メニュー≫→「編集」

連絡先に着信画像を設定したい

≪連絡先≫→≪新規作成≫→「Outlook 連絡先」

または、

≪連絡先≫→着信画像を設定する「Outlook 連絡先」を反転表示→≪メニュー≫→「編集」

■ 保存された画像を設定するとき

「画像」欄を選択→設定したい画像を反転表示→≪選択≫→≪完了≫

- メモリカードを取り付けているときは、≪メニュー≫→「マイデバイス」→「Storage Card」からファイルを選択できます。

■ 設定した着信画像を解除するとき

「画像」欄を反転表示→≪メニュー≫→「画像の削除」→≪はい≫→≪完了≫

連絡先に着信音を設定したい

≪連絡先≫→≪新規作成≫→「Outlook連絡先」→「着信音」欄を選択→設定したい着信音を反転表示→≪完了≫

または、

≪連絡先≫→着信音を設定する「Outlook 連絡先」を反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「着信音」欄を選択→設定したい着信音を反転表示→≪完了≫

連絡先からホームページに接続したい

≪連絡先≫→ホームページが登録された連絡先を選択→「Webページを参照」

連絡先を v ファイルに変換して送信したい

≪連絡先≫→送信したい連絡先を反転表示→≪メニュー≫

■メールで送信するとき

「vCard として送信」→メールアドレスなどを入力→≪送信≫

■ Bluetooth® で送信するとき

「連絡先の送信」→「ビーム」→検出された送信先を反転表示→≪ビーム≫

本機と USIM カードとの間で連絡先をコピーしたい

≪連絡先≫

■ 1 件コピー

コピーしたい連絡先を反転表示→≪メニュー≫→「連絡先のコピー」→「SIM へ」／「連絡先へ」

■ 複数コピー

コピーしたい連絡先を反転表示→≪メニュー≫→「連絡先の選択」→「複数」→再度コピーしたい連絡先を選択→≪メニュー≫→「連絡先のコピー」→「SIM へ」／「連絡先へ」

- 連絡先の選択が終わるまで、コピーしたい連絡先の選択を繰り返します。

■ **全コピー**

≪メニュー≫→「連絡先の選択」→「すべて」→≪メニュー≫→「連絡先のコピー」→「SIM へ」／「連絡先へ」

電話番号を入力してから登録したい

ホーム画面で電話番号を入力→≪保存≫

■ **新規で登録するとき**

「< 新しい連絡先 >」→連絡先の種類を選択→必要に応じて項目を編集→≪保存≫／≪完了≫

■ **追加で登録するとき**

登録したい連絡先を選択→必要に応じて項目を編集→≪保存≫／≪完了≫

メモ

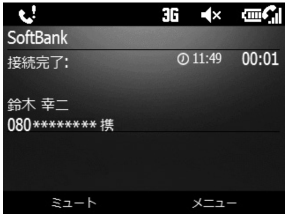
電話

3

通話方法とオプションサービスについて

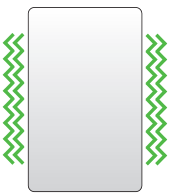
本機では、音声通話をするだけでなく、スピードダイヤルに登録することで簡単に通話することもできます。
また、留守番電話、転送電話など様々なオプションサービスを利用することもできます。
この章では、電話のかけかたとオプションサービスについて説明します。

音声通話



音声のみを使って通話します（➔P.3-4）。

電話にでられないときには



本機に着信中、電話にでられないときには留守番電話や転送電話のオプションサービスを利用できます（➔P.3-11）。

電源を切っていたり、電波の届かないところで着信した場合に留守録を残したり、電話を転送することもできるオプションサービスです。



留守番電話のイメージ



転送電話のイメージ

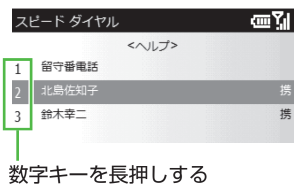
また、次のような機能を利用することもできます。

グローバルな通話

本機は、世界対応ケータイに対応しています。
別途お申し込みいただくと、日本だけでなく世界でも本機をご使用できます（➲P.3-10）。
また、国際電話も発信できますので、世界中で世界中の人々と通話を楽しめます。

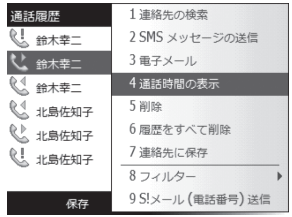


素早く電話をかける（スピードダイヤル）



スピードダイヤルを使うと、よく電話をかける相手に簡単な操作で電話をかけることができます（➲P.3-6）。

通話履歴の利用



累積通話時間や、前回の通話時間を確認できます（➲P.3-9）。

様々なオプションサービスの利用

グループ電話サービス（三者通話サービス）など様々なオプションサービスを利用できます（➲P.3-11）。



グループ電話のイメージ

音声電話

ここでは、音声通話のかけ方、受け方、および通話中の操作について説明します。

音声電話をかける

ここでは、電話番号を直接入力して音声電話をかける方法について説明します。連絡先から音声電話をかける場合は「連絡先から電話をかける」(➲P.2-14)を参照してください。

1. →電話番号全桁（市外局番を含む）を入力



2. 電話番号を確認→
3. 通話終了→

- 電話番号を間違えたときは を押します。 を 1 秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- 電話番号として「P（ポーズ）」を入力するには、を押します。「+(国際コード)」を入力するには、を長押しします。
- 相手がお話し中のときは、 を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。
- 自動音声サービスなどでガイダンスに従って数字を入力するときは、数字キーを押します。

音声電話を受ける

ここでは、かかってきた電話を受ける方法について説明します。

1. 着信中に



2. 通話終了→

- 着信音量を消すには、着信中に ／ を押します。
- 電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。 を押すと、着信履歴（➲P.3-8）を確認できます。
- 相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が連絡先に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知」と表示されます。連絡先に着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます(➲P.2-18)。

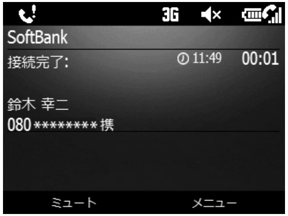
通話中の操作

ここでは、通話中に使う操作方法について説明します。

通話音量を調節する

通話中に相手の声の音量を調節できます。

1 通話中



2 ／

- 変更した音量は、電源を切っても保持されています。

着信を保留する

相手との通話を保留にして、あとから保留を終了して通話を再開することができます。

1 通話中に≪メニュー≫→「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときは≪保留解除≫を選択します。
- 通話中の一時保留をご利用になるには、割込通話サービス（➔P.3-14）もしくはグループ通話サービス（➔P.3-15）へのお申し込みが必要です。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-17

- 入力した電話番号を連絡先に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 通話中に相手の声の音量を調節したい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- 通話を保留にしたい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 通話中に連絡先を表示したい

3

電話

設定

- 帯域を切り替える（☞P.12-5）
- 通話のオプションを設定する（☞P.12-5）
- 発信者番号通知を設定する（☞P.12-5）
- 発信先固定を設定する（☞P.12-6）
- ネットワークを設定する（☞P.12-6）
- 自動応答について設定する（☞P.12-6）
- 割り込み通話について設定する（☞P.12-6）
- 着信規制について設定する（☞P.12-6）
- 発信規制について設定する（☞P.12-6）
- 転送電話について設定する（☞P.12-6）
- 固有番号を確認する（☞P.12-6）
- 固有番号の名前を編集する（☞P.12-6）
- チャネルの設定を変更する（☞P.12-6）

スピードダイヤル

連絡先に登録した電話番号を、スピードダイヤルに追加すると、簡単な操作で電話をかけることができます。

スピードダイヤルに登録する

1. **連絡先を開いて電話番号を選択**
2. **≪メニュー≫→「スピードダイヤルに追加」**
3. **「キーパッドの割り当て」欄を反転表示→利用可能な番号を選択→≪完了≫**

• スピードダイヤルの登録状況を確認したり、削除するには、スピードダイヤルのアプリケーションを起動します（➔P.3-18）。

スピードダイヤルから電話をかける

1. **登録したスピードダイヤルの番号キーを長押し**

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-18

- スピードダイヤルを実行したい
- スピードダイヤルから連絡先を検索したい
- スピードダイヤルを削除したい

緊急電話発信

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。
本機で発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のとおりです。

本機の状態	緊急電話発信
電話機能オフ中（➔P.1-15）	不可
デバイスロック中（➔P.9-4）	「110」「119」「118」可
PIN認証（➔P.9-4）で、未認証のとき	不可
USIM照合（➔P.9-5）で、未認証のとき	不可
発信規制中（➔P.3-15）	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について
緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。
本機では受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

注意

- 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

着信拒否

着信中の電話を拒否することができます。

着信中の電話を拒否する

1 着信中に ⊟（拒否）

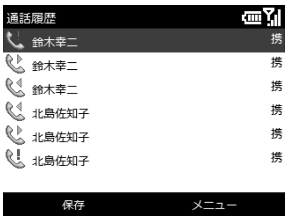
- 拒否した電話は、不在着信として記録されます。

通話履歴（発信／着信／不在着信）

通話履歴には、発信、着信、不在着信があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。

通話履歴を確認する

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」→「通話履歴」



2 確認したい履歴を選択

- 履歴一覧のアイコン
  履歴一覧には、発信、着信、不在着信を識別するアイコンが表示されます。
  ：発信
  ：着信
  ：不在着信
- ホーム画面で を押しても履歴を確認することができます。

通話履歴を使って電話をかける

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」→「通話履歴」→目的の履歴を選択

2

- ホーム画面で を押して、表示される履歴から電話をかけることもできます。

通話履歴を削除する

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」→「通話履歴」

2 目的の履歴を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

- すべての履歴を削除するときは、操作 1 のあと、≪メニュー≫→「履歴をすべて削除」→≪はい≫を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-18
- 通話履歴からメールを作成したい
- 通話履歴の電話番号が登録されている連絡先を確認したい

通話時間／データ通信時間などの確認

通話履歴から次の項目を確認することができます。

項目	内容
前回の通話時間	前回の通話時間を確認できます。
累積通話時間	通話の合計時間を確認できます。
着信履歴	着信の時間を確認できます。
発信履歴	発信の時間を確認できます。
ローミング累積利用時間	ローミング利用時間を確認できます。
データ通信	データ通信の時間を確認できます。
前回リセットした日時	総累積通話時間以外をリセットできます。リセットした日時が表示されます。
総累積通話時間	合計通話時間を確認できます。リセットできません。

1. ≪スタート≫→「アプリケーション」→「通話履歴」
2. 確認したい項目を反転表示→≪メニュー≫→「通話時間の表示」

- ≪メニュー≫→「通話時間のリセット」→≪はい≫を選択すると、総累積通話時間以外をリセットすることができます。

日本から海外へ電話をかける

日本から国際電話をかけることができます。

1. 📞→＋（国際コード）、国番号、発信先電話番号（先頭の 0 を除く）の順で入力
2. 電話番号を確認→📞
   - 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

- 0を長押しすると「+」を入力できます。
- イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。

海外での利用（世界対応ケータイ）

海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイサービスガイド』またはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）を参照してください。
海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイサービスガイド』を携帯してください。

ネットワークを設定する

ネットワークには、代表的なものにSoftBank 3Gとしてご提供している第三世代の3Gや多くの国で標準として使用されているGSMがあります。

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク（事業者）を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「ネットワーク」

2 「ネットワークの選択」欄で「自動」／「手動」

■ 自動的にネットワークを選択させるとき
「自動」

■ 特定のネットワークを選択するとき
「手動」→≪メニュー≫→「ネットワークの選択」→接続するネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「ネットワーク」

2 「ネットワークの選択」欄で「自動」を選択

3 ≪メニュー≫→「優先するネットワーク」

4 優先度リストの編集操作

■ ネットワークリストで対象／対象外を切り替えるとき
ネットワークリストで対象／対象外を切り替えたいネットワークを選択→チェックボックスのオン／オフが切り替わる→≪完了≫

■ ネットワークを新規追加するとき
優先するネットワークの画面で≪メニュー≫→「追加」→追加するネットワークをリストから反転表示→≪選択≫→≪完了≫

- 数値データでネットワークを追加する場合は、優先するネットワークの画面で≪メニュー≫→「カスタム設定の追加」を選択します。
- 操作 3 のあと、≪メニュー≫→「上へ移動」／「下へ移動」を選択すると優先順位を変更できます。

ネットワークモードを切り替える

ネットワークモード（帯域）とは、携帯電話機の通信方式（3G や GSM）を利用した状態を示します。利用するネットワークの切り替え方を設定します。
お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 《スタート》→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「帯域の選択」

2 設定の選択操作

■ 自動的に帯域を選択させるとき
「自動」→《完了》

■ 手動で特定の帯域を選択するとき
「GSM900/1800」／「GSM1900」／「WCDMA」のいずれかを選択→《完了》

- 帯域の設定
  「自動」：
  お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる
  「WCDMA」：
  日本国内と海外の 3G/UMTS サービスエリアで使用できるモード
  「GSM900/1800」／「GSM1900」：
  海外の GSM サービスエリアで使用できるモード
- 通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

海外で電話をかける

海外での緊急通報は、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態、USIM の状態によって動作が異なるため、全ての国やエリアでの接続を保証できるものではありません（➲P.3-7）。

1 → +（国際コード）、国番号、電話番号を全桁（先頭の 0 を除いた市外局番を含む）入力

2 電話番号を確認→

- を長押しすると「+」を入力できます。
- イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。

オプションサービス

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。 ・着信お知らせ機能を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話を SMS でお知らせします（➲P.3-12）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。
グループ通話サービス（三者通話サービス）※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大 6 人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。

サービス	内　容
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ(http://www.softbank.jp)でご確認ください。

留守番電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに転送します。
留守番電話サービスを利用する場合は、それぞれの転送先に留守番電話を選択します。

転送条件	内　容
無条件	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
無応答転送	設定した呼出時間内に電話に出なかったときに転送します。
話中時転送	通話中に転送します。
圏外／電源オフ時転送	電源を切っているときや圏外のために電話がつながらないときに転送します。

注意

- 「無条件」を設定した場合、あとから「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外 / 電源オフ時転送」を設定することはできません。
- 「無条件」を設定すると、「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外 / 電源オフ時転送」の設定より優先され、無条件で転送されます。

留守番電話サービスを設定する

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」

2 「無条件」／「無応答転送」／「話中時転送」／「圏外 / 電源オフ時転送」を設定

■「無条件」／「話中時転送」／「圏外 / 電源オフ時転送」
「通話の転送先」欄に「留守番電話メッセージ」を選択→≪完了≫

■「無応答転送」
「通話の転送先」欄に「留守番電話メッセージ」を選択→「次の時間経過後に転送」欄に「5 秒」／「10 秒」／「15 秒」／「20 秒」／「25 秒」／「30 秒」を選択→≪完了≫

- 「無応答転送」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。

留守番電話サービスを解除する

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」

2 ≪メニュー≫→「すべて無効」

注意

- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイにが表示されます。



アイコンとメッセージでお知らせする

■ 通知画面が表示されているとき
ホーム画面で「留守番電話」を選択→≪留守番電話≫

■ 通知画面が表示されていないとき
・→「1416」を入力→
・を長押しすることで、スピードダイヤルで「1416」をダイヤルすることもできます。

- 本機から伝言メッセージを聞き、ガイダンスに従ってメッセージを消去すると、ディスプレイのが消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMS でお知らせします。また、通話中に留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 →「1414」を入力→

2 ガイダンスに従って操作

- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

転送電話サービス

あらかじめ設定した転送条件(➲P.3-12)に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。

注意

- 「無条件」を設定した場合、あとから「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外 / 電源オフ時転送」を設定することはできません。
- 「無条件」を設定すると、「無応答転送」、「話中時転送」、「圏外 / 電源オフ時転送」の設定より優先され、無条件で転送されます。

転送電話サービスを設定する

サービスを設定するときは転送先を指定します。

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」

2 「無条件」/「無応答転送」/「話中時転送」/「圏外 / 電源オフ時転送」を設定

■「無条件」／「話中時転送」／「圏外 / 電源オフ時転送」

「通話の転送先」欄に「カスタム」を選択→「電話番号」欄に転送先の電話番号を入力→≪完了≫

■「無応答転送」

「通話の転送先」欄に「カスタム」を選択→「電話番号」欄に転送先の電話番号を入力→「次の時間経過後に転送」欄に「5 秒」／「10 秒」／「15 秒」／「20 秒」／「25 秒」／「30 秒」を選択→≪完了≫

•「無応答転送」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。

転送電話サービスを解除する

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「音声通話」→「転送電話」

2 ≪メニュー≫→「すべて無効」

注意

•留守電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1 ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「音声通話」→「割り込み通話」

2 「割り込み通話を通知する」を選択

• を繰り返し押すと、オン／オフが切り替わります。
• を押してもオン／オフを切り替えることができます。

3 ≪完了≫

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら≪応答≫

• を押して、電話を受けることも可能です。

2 相手を切り替えるときは、≪切り替え≫

• ≪メニュー≫→「切り替え」でも相手を切り替えることができます。
• グループ通話に切り替えるときは、≪メニュー≫→「三者通話」
• 通話中の電話を切るときは、 を押します。保留中の相手との通話に切り替わります。

•割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、≪保留解除≫を選択すると、保留にしていた相手との通話になります。
•転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話サービスセンターに転送されます。転送条件を「無条件」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

グループ通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大６人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中→電話番号を入力

- 連絡先から選択するときは、≪メニュー≫→「連絡先」→相手を選択→電話番号を反転表示します。

2 →つながったら通話

- ３人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です（保留中の相手がいるときはできません）。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に≪切り替え≫

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に≪メニュー≫→「三者通話」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に≪メニュー≫→「プライベート」→通話したい相手を反転表示→≪ OK ≫を選択します。

- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-18

- グループ通話中に相手を選択して通話したい
- グループ通話中に通話を保留にしたい

発着信規制サービス

音声電話を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内　容
発信規制		
	自国以外の国際電話	自国以外の国際電話をかけられないようにします。
	国際通話	国際電話をかけられないようにします。
	すべての通話	すべての電話をかけられないようにします。
着信規制		
	ローミング時	ローミング時の電話を受けられないようにします。
	すべての通話	すべての電話を受けられないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号の入力が必要です。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- 発着信規制用暗証番号の入力を３回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(➔P.13-20)までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、発信制限と着信制限の「すべての通話」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。

発信規制／着信規制を設定／解除する

1. ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「音声通話」→「発着信規制」
2. 規制内容の選択操作
   - ■ 発信規制を選択するとき
     「発信制限」→「オフ」／「自国以外の国際電話」／「国際通話」／「すべての通話」
   - ■ 着信規制を選択するとき
     「着信制限」→「オフ」／「ローミング時」／「すべての通話」
3. ≪完了≫
4. 発着信規制用暗証番号を入力→≪完了≫

発着信規制用暗証番号を変更する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「次へ ...」→「発着信規制のパスワードの変更」
2. 「古いパスワード」欄に現在の暗証番号を入力
3. 「新しいパスワード」欄に新しい暗証番号を入力
4. 「新しいパスワードの確認」欄にもう一度新しい暗証番号を入力→≪完了≫

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

1. ≪スタート≫→「設定」→「電話」→「通話サービス」→「発信者番号通知」
2. 「自分の発信者番号の通知相手」欄で「常に通知」／「非通知」／「登録済み連絡先にのみ通知」
3. ≪完了≫

- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知／非通知にできます。

便利な機能

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を連絡先に登録したい

→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪保存≫→≪選択≫→「Outlook 連絡先」／「SIM カード連絡先」→項目を入力→≪保存≫／≪完了≫

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい

→電話番号全桁を入力→≪メニュー≫→「SMS メッセージの送信」→（➲P.4-9「SMS を作成・送信する」）

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい

■ **番号を非通知にするとき**

→「184」を入力→相手の電話番号を入力→ と操作すると、発信者番号通知の設定にかかわらず、非通知で電話をかけることができます。

■ **番号を通知するとき**

→「186」を入力→相手の電話番号を入力→ と操作すると、発信者番号通知の設定にかかわらず、通知して電話をかけることができます。

通話中に相手の声の音量を調節したい

通話中に ／

- 受話口やマイクイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

音声の送信を設定したい

通話中に≪ミュート≫

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に≪ミュート解除≫を押します。

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい

通話中に≪メニュー≫→「スピーカーフォンをオン」

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に≪メニュー≫→「スピーカーフォンをオフ」にします。

通話を保留にしたい

通話中に≪メニュー≫→「保留」

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときはもう一度≪保留解除≫を選択します。

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい

通話中に≪メニュー≫→「ハンズフリーをオフ」／「ハンズフリーをオン」

- Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

通話中に連絡先を表示したい

通話中に≪メニュー≫→「連絡先」／「連絡先の表示」

- 通話中の相手の連絡先を表示する場合は、「連絡先の表示」を選択します。

便利

スピードダイヤルに関する便利な機能

スピードダイヤルを実行したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「スピードダイヤル」→項目を反転表示→≪実行≫

スピードダイヤルから連絡先を検索したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「スピードダイヤル」→項目を反転表示→≪メニュー≫→「連絡先の検索」

スピードダイヤルを削除したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「スピードダイヤル」→項目を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

便利

通話履歴に関する便利な機能

通話履歴からメールを作成したい

→宛先にしたい履歴を反転表示→≪メニュー≫→「SMS メッセージの送信」→（➔P.4-5「メール作成・送信」）

通話履歴の電話番号が登録されている連絡先を確認したい

→通話履歴を反転表示→≪メニュー≫→「連絡先を開く」

便利

グループ通話サービスに関する便利な機能

グループ通話中に相手を選択して通話したい

グループ通話中に≪メニュー≫→「プライベート」→通話をしたい相手を選択

グループ通話中に通話を保留にしたい

グループ通話中に≪メニュー≫→「保留」

- 保留を解除するには、≪保留解除≫を選択します。

メール

4

メールについて

本機では、S! メール、SMS、インターネットメールの 3 種類のメールを利用できます。
この章では、メールの利用方法と管理方法について説明します。

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしで、電話番号を宛先として、短いメッセージを送受信できます。

メッセージは全角または半角で 70 文字（すべて半角英数で入力した場合は 140 文字）まで入力できます。ファイルを添付することはできません。

S! メール

ソフトバンク携帯電話やパソコン、インターネットメールに対応している携帯電話などとの間で、画像や音楽を添付したメッセージを送受信できます。

- メールアドレスのアカウント名（@ の前の部分）は変更することができます（➔P.4-4）。

注意

- S! メールを利用する場合は、別途ご契約が必要です。
- メールを受信したときに、データ接続が切れる現象が発生する場合には、≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「S! メールの設定」→「メール送受信後にネットワークを切断」のチェックを外してください。ただし、ネットワーク接続中にインターネット側から本機へパケット通信が行われた場合、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

件名、本文、メールアドレス、添付ファイルを合わせて最大 300K バイトまで送受信できます。

インターネットメール（POP3 ／ IMAP4）

パソコンで使用されているインターネットメール（POP3 ／ IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信することができます。また、パソコンと同じように添付ファイルにも対応しています。

- インターネットメールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります（➔P.4-4）。
- 本機のインターネットメールで送受信を行うと、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーを同じ状態に保つように動作します。

注意

- インターネットメールは、SMS や S! メールとは異なり、自動的にメールは受信されません。メールサーバーとの同期を行う（ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターの同期とは異なります）ことによって、メールの受信が行われます。
- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Exchange Server でメール機能を使用する場合には、自動的にメールを受信できます（➔P.4-3）。
- インターネットメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。

Exchange Server によるメール

会社の Exchange Server のメールを使用する場合、ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターにて設定を行います。設定方法については社内システム管理者にご確認ください。

パソコンとの同期による Outlook メール

お手持ちのパソコンと ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターで同期すると、本機に「Outlook メール」というアカウントが自動的に作成されます。「Outlook メール」は ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターを使ってパソコンと同期するためのアカウントですので、このアカウントでメールを受信することはできません。
また、このアカウントから送信したメールは、パソコンと同期したときにパソコン側の Outlook の送信トレイに移動されます。

- パソコンとの同期対象の初期値は受信トレイのみですが、パソコン側の Outlook で作成したフォルダなどを、本機からの操作により同期対象に設定することができます（≪スタート≫→「メール」→「Outlook メール」→≪メニュー≫→「フォルダー」→対象のフォルダを選択）。

メールアドレスの設定

S! メールとインターネットメールのメールアドレスの設定について説明します。

S! メールアドレスの変更／登録

ご契約時の E メールアドレスのアカウント名（@ より前の部分）は、ランダムな英数字に設定されています。アカウント名はお好きな文字に変更することができます。
E メールアドレス変更の詳細については、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。

パソコンなどからメールを受信するときに使用する E メールアドレスのアカウント名を変更できます。

1. **≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「メール・アドレス設定」**
2. **画面の指示に従って操作**
   - E メールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクより E メールアドレス変更の完了通知が届きます。
3. **≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→ Information からのメールを選択**

インターネットメールアカウントの設定

インターネットメールのアカウントや社内メールのアカウントを設定します。

- 会社の Exchange Server のメールについては、ActiveSync® にて設定を行います。設定方法については、社内システム管理者にご確認ください。

メールアカウントの設定の準備

設定するメールアカウントについて、以下の情報を事前に確認しておいてください。

- メールアドレス
- ユーザー名（ユーザー ID）
- パスワード
- 受信メールサーバーの種類（POP3 または IMAP4）
- 受信メールサーバー名（POP ／ IMAP）
- 送信サーバー名（SMTP）
- 日付／時刻

新しいアカウントを追加する（Hotmail® の場合）

1. **≪スタート≫→「メール」→「電子メールの設定」**
2. **以下の項目を設定→≪次へ≫**
   - 「電子メール アドレス」欄に電子メールアドレスを入力
   - 「パスワード」欄にパスワードを入力
   - 「パスワードの保存」にチェックをつける／外す
3. **≪次へ≫**
4. **≪承諾≫**
5. **「Windows Live サービス」にチェックをつける／外す→≪次へ≫**
6. **以下の項目を設定→≪次へ≫**
   - 「Windows Live の知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する」にチェックをつける／外す
   - 「重複する連絡先情報を結合する」にチェックをつける／外す
   - 「電子メールを同期する」にチェックをつける／外す
7. **≪完了≫**

新しいアカウントを追加する(Hotmail 以外の場合)

1 ≪スタート≫→「メール」→「電子メールの設定」

2 以下の項目を設定→≪次へ≫

- 「電子メール アドレス」欄に電子メールアドレスを入力
- 「パスワード」欄にパスワードを入力
- 「パスワードの保存」にチェックをつける／外す

3 「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」にチェックをつける／外す→≪次へ≫→≪次へ≫

- チェックを外した場合や電子メールの設定が見つからなかった場合は、≪次へ≫→「電子メールプロバイダー」欄で項目を選択し→≪次へ≫

4 「名前」欄に名前を入力→≪次へ≫

- 手順 3 で「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」のチェックを外した場合は、受信メールサーバー、アカウント、ユーザー名、送信メールサーバーの種類等を設定します。

5 「自動送受信」欄で項目を選択→≪完了≫

使いこなしチェック!

設定

- Eメールアドレスを変更する(☞P.12-7)

メール作成・送信

作成・送信したメールは、用途に応じてフォルダに振り分けられて管理されます。
たとえば送信したメールは、送信済みボックスに保存されます。
また、作成中のメールは、下書きに保存できます。
S! メール、SMS、インターネットメールの作成・送信方法、ファイルの添付方法について説明します。

S! メールを作成・送信する

ここでは例として、連絡先に登録している相手に S! メールを送信します。

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「新規作成」→「S! メール」



S! メール作成画面

2 「宛先」欄を選択→「連絡先」→送信したい宛先を選択→電話番号／Eメールアドレスを選択→≪OK≫（宛先を複数選択した場合）

3 「件名」欄を選択→件名を入力→≪OK≫

4 ファイルを添付する場合は、「ファイルの追加」欄を反転表示（➲P.4-6「ファイルを添付する 2」）

5 「本文」欄を選択→本文を入力→≪OK≫

6 ≪送信≫

- 「送信履歴」／「宛先直接入力」／「通話履歴」からも相手にS!メールを送信することができます（➲P.4-22）。
- S!メールの宛先には電話番号またはEメールアドレスを入力します。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態で [戻る] を押すと作成中のメールの下書き保存を確認するメッセージが表示されます。≪はい≫を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。

- 作成中のS!メールのサイズは、S!メール作成画面の「宛先」欄の横に表示されます。

ファイルを添付する

画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、連絡先や予定表の登録内容をvCard形式やvCalendar形式にして添付できます。
S!メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて300Kバイトまでです。
300Kバイトを超えるメールは、添付画像のサイズを変更するメッセージが表示されます。

1 ≪スタート≫→「SoftBankメール」→「新規作成」→「S!メール」→「ファイルの追加」欄を反転表示

2 ファイルの添付操作

■ データフォルダ内のファイルを添付するとき
≪メニュー≫→「追加」→「ファイルを選択」→添付したいファイルを選択

■ カメラで撮影した画像を添付するとき
≪メニュー≫→「追加」→「静止画をキャプチャ」→静止画を撮影→≪選択≫

■ ビデオカメラで撮影した動画を添付するとき
≪メニュー≫→「追加」→「ビデオをキャプチャ」→動画を撮影→≪保存≫→≪はい≫

■ ボイスメモで録音した音声を添付するとき
≪メニュー≫→「追加」→「録音する」→音声を録音→≪メニュー≫→「追加」

■ 連絡先の登録内容をvCard形式で添付するとき
≪メニュー≫→「追加」→「vCard」→連絡先を検索し、添付したい連絡先を選択

■ 予定表の登録内容をvCalendar形式で添付するとき
≪メニュー≫→「追加」→「vCalendar」→予定を検索し、添付したい予定を選択

注意

- メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、ソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。
- S! メールで動画を添付するときは、「動画撮影」（➔P.6-6）で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。
- ビデオカメラで撮影した動画を添付するときは、著作権についての確認メッセージが表示されますので、≪はい≫を選択します。

本文を装飾する

本文の内容を装飾することができます。

1 **S! メール作成画面で、「本文」欄を選択**

2 **≪メニュー≫→「文字サイズ」→「小」／「標準」／「大」**

3 **≪メニュー≫→「文字色」→文字色を選択**

4 **≪メニュー≫→「文字背景」→文字背景を選択**

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-22

- 「連絡先」以外の方法で宛先を入力したい
- 宛先を追加したい
- 宛先の種類を TO/CC/BCC に変更したい
- 宛先を削除したい
- 添付したファイルを確認したい
- 添付したファイルを削除したい
- S! メールに定型文を挿入したい
- S! メールに情報を挿入したい
- S! メールに絵文字を挿入したい
- 作成中の S! メールの配信確認を設定したい
- 作成中の S! メールの優先度を設定したい
- スライドを確認したい

設定

- メールフォルダのソートを設定する（☞P.12-7）
- 署名を設定する（☞P.12-7）
- 署名を変更する（☞P.12-7）
- 送受信モードを設定する（☞P.12-7）
- 配信レポートを設定する（☞P.12-7）
- 送信済みメッセージを保存する（☞P.12-7）
- メール送受信後にネットワークを切断する（☞P.12-7）
- 送受信の試行回数を設定する（☞P.12-7）
- 画像サイズを設定する（☞P.12-7）

テンプレートを使ってメールを作成・送信する

S! メールでは、テンプレートを利用し、簡単にメールを作成することができます。

1 **S! メール作成画面で、≪メニュー≫→「テンプレート」→「テンプレートから新規作成」**

2 **≪ OK ≫**

- テンプレートを利用すると、現在の入力内容は破棄されます。破棄したくない場合は、≪キャンセル≫を選択してください（≪キャンセル≫を選択すると、メール作成画面に戻ります）。

3 **対象のテンプレートを選択**

テンプレートを削除するには、2 の後、対象のテンプレートを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

テンプレートを保存する

作成中の S! メールや受信した S! メールの内容を、テンプレートとして保存することができます。
ここでは例として、作成中の S! メールをテンプレートとして保存します。

1 **S! メール作成画面で、≪メニュー≫→「テンプレート」→「テンプレートとして保存」**

- 現在入力されている内容がテンプレートとして保存されます。
「件名」欄に入力されている内容が、テンプレートのタイトルとなります。

2 **≪ OK ≫**

宛先入力欄の内容は、テンプレートとして保存されません。

スライドを使ってメールを作成・送信する

スライドとは、メールの本文と画像／動画などの添付ファイルを 1 つにまとめたものです。S! メールでは複数のスライドを作成して送信することができます。

1 **S! メール作成画面で、≪メニュー≫→「オプション」→「スライド」→「追加」**

- 新規のスライドが作成されます。
を押すと、前後のスライドに切り替わります。

2 **本文や添付ファイルを追加**

スライドについて設定する

1 S! メール作成画面で、≪メニュー≫→「オプション」→「スライド」→「古いアイテムの整理」

2 以下を設定

■ スライドを手動で並べ替えるとき
対象のスライドを選択→ で移動→

■ スライドを挿入するとき
≪メニュー≫→「挿入」

■ 持続時間の自動で設定するとき
≪メニュー≫→「持続時間の自動調整」

■ 持続時間を手動で設定するとき
≪メニュー≫→「持続時間」→持続時間を入力

■ スライドを削除するとき
≪メニュー≫→「削除」

SMS を作成・送信する

ここでは例として、連絡先に登録している相手に SMS を送信します。

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「新規作成」→「SMS」



SMS 作成画面

2 「宛先」欄を選択→「連絡先」→送信したい宛先を選択

3 「本文」欄を選択→本文を入力→≪ OK ≫

4 ≪送信≫

- SMS の宛先には電話番号を入力します。
- SMSの本文で送信可能な文字数(➔P.4-2)を超えた場合、S! メールに変更する確認メッセージが表示されます。≪はい≫を選択すると S! メールに切り替わります。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-23

- 「連絡先」以外の方法で宛先を入力したい
- 宛先を追加したい
- 宛先を削除したい
- SMS に定型文を挿入したい
- SMS に情報を挿入したい
- SMS に絵文字を挿入したい
- 作成中の SMS を S! メールに変更したい
- 作成中の SMS の配信確認を設定したい
- 作成中の SMS の有効期限を設定したい

設定

- メールフォルダのソートを設定する(☞P.12-7)
- 署名を設定する(☞P.12-7)
- 署名を変更する(☞P.12-7)
- 配信レポートを設定する(☞P.12-8)
- 送信済みメッセージを保存する(☞P.12-8)
- 有効期限を設定する(☞P.12-8)

インターネットメールを作成する

インターネットメールを新規に作成して送信します。

1. ≪スタート≫→「メール」
2. インターネットメールのアカウントを選択
3. ≪メニュー≫→「新規」
4. 「宛先」欄を選択→宛先を選択
5. 「件名」欄に件名を入力
6. 本文欄に本文を入力
7. ≪送信≫
   - アカウントの設定で「すぐにメッセージを送信する」などにチェックを付けている場合は、送信と同時に送受信が行われます。チェックを外している場合は、メールは送信トレイに保存され、次に送受信を行うまでは送信されません。

ファイルを添付する場合

画像やファイルを選択して添付できるほか、ボイスメモを録音して添付できます。

1. メール作成画面で、≪メニュー≫→「挿入」→「画像」／「ボイスメモ」／「ファイル」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-24

- Eメールアドレスを直接入力したい
- 宛先を追加したい
- CC/BCCを追加したい
- 宛先を削除したい
- 添付したファイルを削除したい
- インターネットメールに定型文を挿入したい

設定

- アカウントを追加する（☞P.12-8）

メール受信・確認／返信／転送

メールの受信方法には、主に自動受信と手動受信があります。
自動受信は、メール全文が自動的に受信されます。
手動受信は、メールの一部分が自動的に受信されます。メール全文を受信するためには、続きを受信する必要があります。
新着メールを受信するとホーム画面上に届いたメールが表示されます。見たいメールを選択することで内容を表示できます。
受信したメールは、受信ボックスに保存されます。
メールの受信／確認／返信／転送手順について説明します。

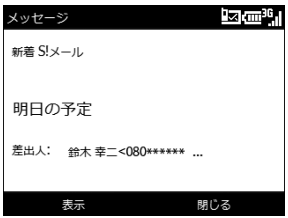
S! メールと SMS メールを受信する

受信した S! メールと SMS メールの確認／返信／転送手順について説明します。

新着メールを確認する

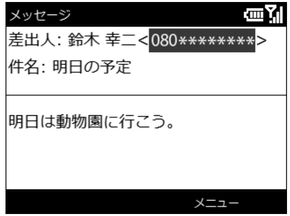
メールを受信すると、ホーム画面に新着メール受信の通知画面が表示されます。

- S! メールでは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。お客様のご契約の内容により、所定の料金が発生いたしますので、ご注意ください。自動受信しないように設定することもできます（➲P.4-11）。



受信の通知画面

❶ ≪表示≫



メッセージ画面
（S! メールの場合）

メールを手動で受信する

S! メールの「S! メールの設定」の「送受信モード」(➲P.12-7)を「手動」に設定している場合は、受信した S! メールがメールサーバに一時保存され、メッセージの一部が受信通知としてお客様の本機に送信されます。続きはメールサーバから受信する必要があります。

❶ ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」

❷ フォルダを選択→受信通知を反転表示

❸ ≪メニュー≫→「全文受信」

- メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン

  未読の受信通知
  - ：優先度高
  - ：優先度標準
  - ：優先度低

  既読の受信通知
  - ：優先度高
  - ：優先度標準
  - ：優先度低

メール一覧からメールを表示する

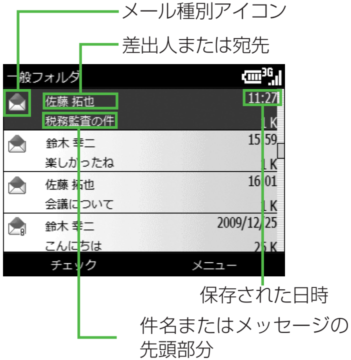
受信ボックスや下書き、送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択



メールフォルダ画面（受信ボックスの場合）

2 メールを選択



メール一覧画面（受信ボックスの場合）

- 画面をスクロールしたり、メール内の電話番号などを反転表示するには [キー] を押します。

- 受信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン

未読の S! メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

既読の S! メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

未読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

既読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

未読の SMS
：本体に保存

既読の SMS
：本体に保存

USIM カードに保存した SMS
：USIM に保存

- 下書きのメール一覧画面に表示されるアイコン

S! メール
：S! メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS

- 未送信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン

S! メール
：S! メール
：再送信

SMS
：SMS

- 送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン

S! メール
：S! メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS

配信レポート
：未読の S! メール
：未読の SMS

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信します。

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→返信するメールを反転表示

3 ≪メニュー≫→「返信」→「S! メール」／「引用付き S! メール」／「SMS」／「引用付き SMS」

4 メールの作成操作（➔P.4-6「S! メールを作成・送信する 5」）

- 返信する S! メールの件名には「RE:」が自動的に付きます。
- 受信したメールに入力されているすべての宛先へ返信したいときは、操作 3 で「全員に返信」を選択します。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送します。

1. ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」
2. フォルダを選択→転送するメールを反転表示
3. ≪メニュー≫→「転送」
4. メールの作成操作(➔P.4-6「S! メールを作成・送信する ②」)

• 転送する S! メールの件名には「FW:」が自動的に付きます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-25

- 手動でメールを受信したい
- 全文を受信していないメールを受信したい
- 受信通知／サーバメールを転送したい
- 受信通知からメールサーバに保存されているメールを削除したい
- 受信した SMS を S! メールで転送したい

インターネットメールを受信する

新着メールを確認する

インターネットメールが、自動的に受信されない場合は、手動で送受信を行う必要があります。

- 送受信を行うと、以下のように動作します。
  - 本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」や「削除済みアイテム」とメールサーバーが同じ状態になります。
  - 「送信トレイ」に保存されたメールが送信されます。

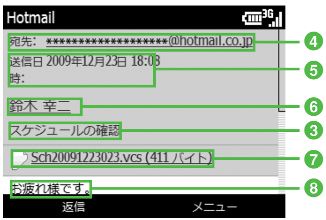
1. ≪スタート≫→「メール」
2. インターネットメールのアカウントを選択
3. ≪メニュー≫→「送受信」

インターネットメール画面の見かた

■インターネットメール一覧画面



■インターネットメール詳細画面



❶ メールの状態
: 未読メール
: 未読メール（添付ファイルあり）
: 既読メール
: 既読メール（添付ファイルあり）

❷ 送信元／宛先
受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
送信メールで宛先に Cc がある場合は、Cc での送信先も表示

❸ 件名

❹ 宛先
受信メールの場合は送信元の送信先、送信メールの場合は送信先
宛先に Cc がある場合は、Cc での送信先も表示

❺ 送信日時
受信メールの場合は送信元の送信日時、送信メールの場合は送信日時

❻ 送信元

❼ 添付ファイル
添付ファイルがある場合には、ファイル名と容量を表示

❽ 本文

インターネットメールを表示する

受信トレイや下書き、送信済みアイテム、送信トレイのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1. ≪スタート≫→「メール」
2. インターネットメールのアカウントを選択
3. 対象のメールを選択

フォルダを変更する

1. ≪スタート≫→「メール」
2. インターネットメールのアカウントを選択
3. ≪メニュー≫→「フォルダー」
4. 対象のフォルダを選択

未読／開封済みを変更する

1 ≪スタート≫→「メール」
2 インターネットメールのアカウントを選択
3 対象のメールを選択
4 ≪メニュー≫→「開封済みにする」／「未読にする」

メールのすべての内容／添付ファイルを受信する

インターネットメール詳細画面に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されている場合は、受信していないメッセージや添付ファイルが存在しています。すべてを受信するためには、手動で設定する必要があります。

1 インターネットメール一覧画面で、対象のメールを選択
2 ≪メニュー≫→「ダウンロード」
3 ≪メニュー≫→「送受信」
   - インターネットメール詳細画面の「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」という表示が、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」に変わります。

添付ファイルを確認／保存する

1 インターネットメール一覧画面で、対象のメールを選択
2 添付ファイルを選択→≪メニュー≫→「名前を付けて保存 ...」
3 「名前」欄で名前を入力→「場所」欄で保存場所を選択→≪保存≫

インターネットメールを返信／転送する

1 インターネットメール一覧画面で、対象のメールを選択→≪メニュー≫→「返信 / 転送」

2 返信 / 転送

■ メールの送信元に返信するとき
「返信」

■ メールの送信元および Cc に入っている人全員にメールを返信するとき
「全員へ返信」

■ 受信したメールを他の人に転送するとき
「転送」

3 メールの送信操作(➔P.4-10「インターネットメールを作成する 4」)

返信メールの作成画面で「送信者のメッセージの編集」を選択すると、元のメッセージを編集しながらメールを作成できます。元のメッセージを引用しながら返事を書く場合に便利です。

本機とパソコンで同じメールを受信したとき

1 本機でインターネットメールを受信

2 パソコンなどで同じメールを受信

• メールサーバーからメールが削除されます（パソコンなどで、メール受信時にメールサーバーからメールを削除するよう設定している場合）。

3 本機のインターネットメールで送受信を行う

• メールサーバーと本機とで同期が行われ、メールサーバーから削除されたメールが、本機の「受信トレイ」からも削除されます。

本機で受信する前にパソコンなどでメールを受信したときなど、既にメールサーバーからメールが削除されている場合は、本機ではそのメールを受信できません。

メールの利用

本機では、メールの種類ごとに 4 種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると反転表示する情報があります。反転表示された差出人や宛先、メール本文の電話番号、Eメールアドレスを使って、連絡先への登録や、電話の発信、メールの送信、お気に入りへの登録、インターネットへのアクセスを行います。

連絡先に登録する

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／Eメールアドレスを選択

2 連絡先の登録操作

■新しい連絡先に登録するとき
「新しい連絡先として保存」→「姓」欄に姓を入力→「名」欄に名を入力→≪ OK ≫

• Outlook連絡先として保存されます。

■既存の連絡先に追加登録するとき
「連絡先を置き換え」→連絡先を選択→必要に応じて電話番号／Eメールアドレスを反転表示→≪選択≫→≪はい≫

お気に入りに追加する

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→URLを選択→「お気に入りに追加」

2 タイトルを入力→≪追加≫

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレス、URLの情報を利用できます。

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択

2 情報の利用操作

■音声電話をかけるとき
電話番号を選択→「ダイヤル」→≪はい≫

■メールを送信するとき
電話番号／Eメールアドレスを選択→「S! メールの送信」／「SMSの送信」／「電子メールの送信」→(➲P.4-6「S! メールを作成·送信する 5」、P.4-9「SMSを作成·送信する 3」)、➲P.4-10「インターネットメールを作成する 5」

■インターネットへアクセスするとき
URLを選択→「移動」→≪はい≫

4 メール

メールを保護／保護解除する

メールを指定して保護したり、メールボックス内の複数のメールをまとめて保護することができます。
保護設定したメールは、削除するときに一度お客様に確認するメッセージを表示します。
保護設定したメールは、その保護を解除できます。

1. ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択
2. 保護したいまたは保護解除したいメールを反転表示または≪チェック≫→≪メニュー≫→「保護」／「保護なし」

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内の複数のメールをまとめて削除することができます。

1. ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択
2. 削除したいメールを反転表示またはチェック→≪メニュー≫→「削除」→「はい」

添付ファイルをデータフォルダに保存する

1. ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択
2. ≪メニュー≫→「添付表示」→保存したいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「保存」
   - 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、≪メニュー≫→「名前の変更」→ファイル名を編集します。
3. ≪ OK ≫

メールグループを利用する

メールグループを利用すると、複数の相手に同じメールを一括で送信できます。

メールグループを作成する

1 ≪連絡先≫→≪新規作成≫→「電子メールグループ」／「SMS グループ」

2 「グループ名」欄を反転表示→グループ名を入力

3 「グループ名（フリガナ）」欄を反転表示→グループ名（フリガナ）を入力

4 「＜メンバーの追加＞」欄を選択→連絡先を選択

5 ≪完了≫

- E メールアドレスや電話番号が複数登録されている連絡先が含まれている場合、メールグループで利用する E メールアドレスや電話番号を選択してください。

6 ≪完了≫

メールグループ宛にメールを送信する

1 ≪連絡先≫→メールを送信するグループ名を選択

2 ≪電子メール≫／≪ SMS ≫→（➔P.4-5「メール作成・送信」）

- ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「新規作成」で宛先としてメールグループを指定しても同じ操作ができます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-25

- 添付ファイルを確認したい
- S! メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい
- メールグループの名前を変更したい
- メールグループを削除したい
- メールグループのメンバーを削除したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの文字サイズを設定したい
- メールの詳細を確認したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メールを既読／未読にしたい
- メール一覧画面で SMS を本機／ USIM カードに移動したい
- 下書きからメールを送信したい
- 送信済みメールを編集して送信したい
- 未送信メールを編集して送信したい
- 未送信メールを再送信したい
- メールサーバに保存されているメールを確認したい
- メールリストを更新したい
- メールリストからメールを受信したい
- メールサーバに保存されているメールを転送したい
- メールサーバに保存されているメールをすべて削除したい
- メールリストを利用してサーバ内のメールを削除したい
- メールサーバの使用状況を確認したい

メールのフォルダ管理

受信ボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けます。

フォルダを作成する

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」

2 ≪フォルダ作成≫

3 必要に応じてフォルダ名を編集

- 新しく作られたフォルダは画面の一番下に位置されます。
- 同じ名前のフォルダが存在していても、確認メッセージは表示されません。

メールを移動する

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択

2 移動したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「その他」→「フォルダへ移動」

3 移動先のフォルダを選択

- 受信したメールは「一般フォルダ」に保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールを元のフォルダに戻す場合は、操作 2 を実行し、「一般フォルダ」を選択します。

メールを振り分ける

受信したメールを相手の電話番号やEメールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S! メールでの件名や、SMS の本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1 つのフォルダに設定できるルールは最大 10 件です。

1 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」

2 移動先に指定したいフォルダを反転表示→≪メニュー≫→「メール振り分け設定」

3 振り分けルールの設定操作

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを連絡先から選択するとき
「連絡先からの新規アドレス」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを直接入力するとき
「新しいアドレス」→電話番号／Eメールアドレスを入力

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレスを連絡先のグループから選択するとき
「連絡先からの新規アドレス」→グループを選択

■ テキストから選択するとき
「新しい件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4 ≪OK≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.4-28

- フォルダ名を変更したい
- フォルダを削除したい
- メールの自動振り分けルールを変更したい
- 振り分けルールを削除したい

便利な機能

便利

S! メール送信に関する便利な機能

「連絡先」以外の方法で宛先を入力したい

S! メール作成画面で「宛先」欄を選択

■ 電話番号を直接入力するとき
「宛先直接入力」→電話番号を入力

■ Eメールアドレスを直接入力するとき
「宛先直接入力」→Eメールアドレスを入力

■ 連絡先のグループから選択するとき
「連絡先」→グループを選択

■ 履歴から入力するとき
・「送信履歴」→履歴を選択
・「通話履歴」→履歴を選択

- S! メール作成画面の「宛先」欄に宛先件数が表示されます。

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS! メール作成画面で「宛先」欄を選択

■ 連絡先から選択するとき
「連絡先」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ 電話番号を直接入力するとき
「宛先直接入力」→電話番号を入力

■ Eメールアドレスを直接入力するとき
「宛先直接入力」→Eメールアドレスを入力

■ 連絡先のグループから選択するとき
「連絡先」→グループを選択

■ 履歴から入力するとき
・「送信履歴」→履歴を選択
・「通話履歴」→履歴を選択

- メール作成画面の「宛先」欄に宛先件数が表示されます。

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい

宛先が入力済みのS! メール作成画面で「宛先」欄を選択→変更したい宛先を反転表示→≪メニュー≫→項目を選択

宛先を削除したい

宛先が入力済みのS! メール作成画面で「宛先」欄を選択

■ 1 件削除するとき

削除したい宛先を反転表示→≪メニュー≫→「削除」

■ すべて削除するとき

≪メニュー≫→「すべて削除」→≪はい≫

添付したファイルを確認したい

S! メール作成画面で「ファイルの追加」欄を選択→確認したいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「表示」／「再生」

添付したファイルを削除したい

S! メール作成画面で「ファイルの追加」欄を選択→削除したいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「削除」

S! メールに定型文を挿入したい

S! メールの本文を作成中に≪メニュー≫→「定型文」→定型文を選択

S! メールに情報を挿入したい

S! メールの本文を作成中に≪メニュー≫

■ お気に入りを挿入するとき

「お気に入りを挿入」→項目を選択

■ 連絡先を挿入するとき

「連絡先を挿入」→項目を選択

■ 予定を挿入するとき

「予定を挿入」→項目を選択

S! メールに絵文字を挿入したい

S! メールの本文を作成中に≪メニュー≫→「絵文字の挿入」→絵文字を選択→≪完了≫

作成中のS! メールの配信確認を設定したい

S! メール作成画面で≪メニュー≫→「オプション」→「送信オプション」→「配信レポート」をチェック

- チェックをつけると、メールサーバからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のS! メールの優先度を設定したい

S!メール作成画面で≪メニュー≫→「オプション」→「送信オプション」→「優先度」→項目を選択

スライドを確認したい

S! メール作成画面で≪メニュー≫→「メールのプレビュー」→≪再生≫

便利

SMS 送信に関する便利な機能

「連絡先」以外の方法で宛先を入力したい

SMS 作成画面で「宛先」欄を選択

■ 連絡先のグループから選択するとき

「連絡先」→グループを選択

■ 履歴から入力するとき

·「送信履歴」→履歴を選択

·「通話履歴」→履歴を選択

■ 電話番号を直接入力するとき

「宛先直接入力」→電話番号を入力

宛先を追加したい

宛先が入力済みのSMS 作成画面で「宛先」欄を選択

■ 連絡先から選択するとき

「連絡先」→電話番号を選択

■ 連絡先のグループから選択するとき

「連絡先」→グループを選択

■ 履歴から入力するとき

·「送信履歴」→履歴を選択

·「通話履歴」→履歴を選択

■ 電話番号を直接入力するとき

「宛先直接入力」→電話番号を入力

- SMS 作成画面の「宛先」欄に宛先件数が表示されます。

宛先を削除したい

宛先が入力済みの SMS 作成画面で「宛先」欄を選択

■ 1 件削除するとき

削除したい宛先を反転表示→≪メニュー≫→「削除」

■ すべて削除するとき

≪メニュー≫→「すべて削除」→≪はい≫

SMS に定型文を挿入したい

SMS メールの本文を作成中に≪メニュー≫→「定型文」→定型文を選択

SMS に情報を挿入したい

SMS の本文を作成中に≪メニュー≫

■ お気に入りを挿入するとき

「お気に入りを挿入」→項目を選択

■ 連絡先を挿入するとき

「連絡先を挿入」→項目を選択

■ 予定を挿入するとき

「予定を挿入」→項目を選択

SMS に絵文字を挿入したい

SMS メールの本文を作成中に≪メニュー≫→「絵文字の挿入」→絵文字を選択→≪完了≫

作成中の SMS を S! メールに変更したい

SMS 作成画面で≪メニュー≫→「S! メールで送信」

作成中の SMS の配信確認を設定したい

SMS 作成画面で≪メニュー≫→「送信オプション」→「配信レポート」をチェック

- チェックをつけると、メールサーバからメールが相手に送信されたときに、配信レポートが本機に送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中の SMS の有効期限を設定したい

SMS 作成画面で≪メニュー≫→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

便利

インターネットメール送信に関する便利な機能

E メールアドレスを直接入力したい

メール作成画面で「宛先」欄を反転表示→E メールアドレスを入力

宛先を追加したい

宛先が入力済みのメール作成画面で「宛先」欄を反転表示

■連絡先から選択するとき

→宛先を選択

■ E メールアドレスを直接入力するとき

E メールアドレスを入力

CC/BCC を追加したい

■ CC を追加するとき

宛先が入力済みのメール作成画面で →「CC」欄を反転表示→ →宛先を選択

■ BCC を追加するとき

宛先が入力済みのメール作成画面で →「BCC」欄を反転表示→ →宛先を選択

宛先を削除したい

宛先が入力済みのメール作成画面で「宛先」欄を反転表示→削除したい E メールアドレスの直後にカーソルを移動→

添付したファイルを削除したい

メール作成画面で添付ファイルを反転表示→

インターネットメールに定型文を挿入したい

メール作成画面で≪メニュー≫→「マイ テキスト」

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→確認メッセージが表示されたときは≪はい≫

全文を受信していないメールを受信したい

≪スタート≫→「SoftBankメール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→受信したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「全文受信」

受信通知／サーバメールを転送したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を反転表示→≪メニュー≫→「転送」→(➔P.4-6「S! メールを作成・送信する ❷」)

受信通知からメールサーバに保存されているメールを削除したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→項目を選択

受信した SMS を S! メールで転送したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送する SMS を反転表示→≪メニュー≫→「転送」→≪メニュー≫→「S! メールで送信」

便利

メールの利用／管理に関する便利な機能

添付ファイルを確認したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪メニュー≫→「添付表示」→ファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

- ファイルをデータフォルダに保存するには、添付表示画面でファイルを反転表示し、≪メニュー≫→「保存」を選択します。
- vCard や vCalendar を連絡先や予定表に登録するには、添付表示画面でファイルを反転表示し、≪メニュー≫→「ファイルを保存」を選択します。

S! メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪メニュー≫→「添付表示」→保存したいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「保存」

- 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、≪メニュー≫→「名前の変更」→ファイル名を編集します。

メールグループの名前を変更したい

≪連絡先≫→メールグループを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→グループ名を入力→≪保存≫

メールグループを削除したい

≪連絡先≫→メールグループを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

メールグループのメンバーを削除したい

≪連絡先≫→メールグループを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「メンバー」欄を選択→削除するメンバーを反転表示→≪メニュー≫→「メンバーの削除」→≪はい≫

送信者や宛先を確認したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪メニュー≫→「表示」→「連絡先の詳細」

メールの文字サイズを設定したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪メニュー≫→「文字サイズ」→項目を選択

メールの詳細を確認したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪メニュー≫→「表示」→「メッセージの詳細」

メール一覧画面のメールを並べ替えたい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「一般設定」→「ソート」欄→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順（「昇順：古い順」／「降順：新しい順」）
  - 差出人の順（「昇順」／「降順」）
  - 件名の順（「昇順」／「降順」）

メールを既読／未読にしたい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→変更したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「その他」→「開封済みにする」／「未開封にする」

メール一覧画面で SMS を本機／USIM カードに移動したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→変更したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「その他」→「SIM にコピー」

- USIM のメールを本機に移動したい場合、変更したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「その他」→「携帯にコピー」
- USIM カードには、最大 10 通の SMS を保存できます。USIM カードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。

下書きからメールを送信したい

■ S! メール／ SMS のとき

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「下書き」→メールを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→≪送信≫

・宛先が入力されていないときは≪送信≫は選択できません。

■インターネットメールのとき

≪スタート≫→「メール」→インターネットメールのアカウントを選択→≪メニュー≫→「フォルダー」→「下書き」→メールを選択→≪送信≫

送信済みメールを編集して送信したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「送信済みボックス」→メールを反転表示→≪メニュー≫→「編集再送信」

未送信メールを編集して送信したい

■ S! メール／ SMS のとき

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「未送信ボックス」→メールを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→≪送信≫

■インターネットメールのとき

≪スタート≫→「メール」→インターネットメールのアカウントを選択→≪メニュー≫→「フォルダー」→「送信トレイ」→メールを選択→≪送信≫

未送信メールを再送信したい

■ S! メール／ SMS のとき

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「未送信ボックス」→メールを反転表示→≪メニュー≫→「再送」

■インターネットメールのとき

≪スタート≫→「メール」→インターネットメールのアカウントを選択→≪メニュー≫→「送受信」

メールサーバに保存されているメールを確認したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→確認メッセージが表示されたときは≪はい≫

メールリストを更新したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→≪メニュー≫→「メールリストの読み込み」

メールリストからメールを受信したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」

■ メールを選択して受信するとき

受信したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「全文受信」

■ すべてのメールを受信するとき

≪メニュー≫→「すべてをダウンロード」

メールサーバに保存されているメールを転送したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→転送したいメールを反転表示→≪メニュー≫→「転送」

- 転送するメールの件名には「FW:」が自動的に付きます。

メールサーバに保存されているメールをすべて削除したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→≪メニュー≫→「すべて削除」→「1234」を入力→≪はい≫

メールリストを利用してサーバ内のメールを削除したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→削除したいメールを反転表示→≪チェック≫→≪メニュー≫→「削除」→「はい」

メールサーバの使用状況を確認したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「サーバーメール一覧」→≪メニュー≫→「メールボックス容量」

便利

フォルダ管理に関する便利な機能

フォルダ名を変更したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→フォルダを反転表示→≪メニュー≫→「名前の変更」→名前を入力→≪ OK ≫

フォルダを削除したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→削除したいフォルダを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→「1234」を入力→≪はい≫

メールの自動振り分けルールを変更したい

≪スタート≫→「SoftBankメール」→「受信ボックス」→ルールを変更したいフォルダを反転表示→≪メニュー≫→「メール振り分け設定」

■ 振り分ける電話番号／Eメールアドレス／部分一致のEメールアドレスを変更するとき

変更したいルール欄を選択→(➔P.4-22「メールを振り分ける ❸」)

■ テキストを変更するとき

変更したいテキスト欄を選択→テキストを編集→≪ OK ≫

振り分けルールを削除したい

≪スタート≫→「SoftBank メール」→「受信ボックス」→削除したいルールがあるフォルダを反転表示→≪メニュー≫→「メール振り分け設定」→削除したいルールを反転表示→≪メニュー≫→「削除」

インターネット

5

5

インターネット

インターネットについて

本機では、Internet Explorer® でインターネットにアクセスし、コンテンツの閲覧や、画像やサウンドなどのダウンロードを行うことができます。
この章では、インターネットの使い方について説明します。

- Internet Explorer でインターネットにアクセスしたとき、表示される画面を情報画面といいます。
- インターネットのご利用には、別途ご契約が必要です。

注意

- 情報画面への接続時にパケット通信料がかかります。

安全に通信するしくみ（SSL/TLS）

SSL（Secure Sockets Layer）と TLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL/TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。
本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認することもできます（➔P.9-7）。

注意

- SSL/TLS の利用について
  セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任において SSL/TLS を利用するものとします。
  お客様自身による SSL/TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社は、お客様に対し SSL/TLS の安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

一時保存用メモリ(キャッシュ)ですばやく表示

キャッシュとは、インターネットで入手したメニューや情報を、一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報は、インターネットを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。
キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください。

情報画面の閲覧

Internet Explorer を利用すれば、パソコン向けに作成された情報画面にアクセスし、コンテンツを閲覧したり、ダウンロードすることができます。

Internet Explorer の起動

お買い上げ時の設定では、ホームページとして設定されている検索画面が表示されます。
キーワードで検索することにより目的の情報画面を探します。

1. ≪スタート≫ →「Internet Explorer」



2. キーワードを入力



3.

お気に入りからアクセスする

登録したお気に入りを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1. ≪スタート≫ →「Internet Explorer」
2. ≪メニュー≫→「お気に入り」
3. ブックマークを選択

注意

- データ量の多い情報画面を表示するときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

お気に入りに登録する

お気に入りには情報画面のURLが登録され、インターネットに接続することで情報画面を表示できます。

1. **情報画面を表示**
2. **≪メニュー≫→「お気に入りに追加」**
3. **「名前」欄を入力→≪追加≫**

URLを入力してアクセスする

Internet ExplorerのURL入力から閲覧したい情報画面のURLを入力することで、目的の情報画面にアクセスできます。

1. **≪スタート≫→「Internet Explorer」**
2. **≪メニュー≫→「Webアドレスに移動」**
3. **URLを入力→≪実行≫**

一度みたサイトにアクセスする（閲覧履歴）

Internet Explorerからアクセスした情報画面は、閲覧履歴に登録されます。
閲覧履歴では、閲覧したいサイトを選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1. **≪スタート≫→「Internet Explorer」**
2. **≪メニュー≫→「履歴」**
3. **履歴を選択**

情報画面の操作

情報画面では、文字や画像などが表示されます。情報画面は、拡大したり縮小したりすることもできます。情報画面では、目的の項目を選択して閲覧したい情報画面にリンクしたり、ラジオボタン／チェックボックスを選択して条件を設定することができます。

メニューを選択する



1 情報画面を表示→ で上方向／下方向／左方向／右方向にスクロール

- スクロール中はカーソル が表示されます。

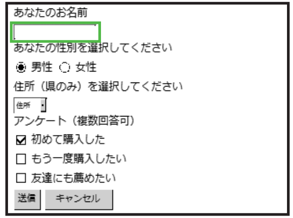
2 目的の項目を選択

- 選択可能な箇所（リンク、ボタン、リストボックスなど）では、カーソルが に変わります。

- 前の情報画面がない状態で を押すとホーム画面に戻りますが、インターネット接続は継続したままです。情報画面で≪メニュー≫→「終了」を選択するとインターネット接続を終了します。
- 1 つ前の情報画面に移動するには、 を押します。
- リンクなどを選択すると情報画面に進みます。
- 戻る（ を押す）の操作を行う前の情報画面に移動するには、≪メニュー≫→「進む」を選択します。

文字を入力する

検索キーワードやパスワードなどを入力します。



1 情報画面を表示→文字入力欄を選択

2 文字を入力

- 入力モード（ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英語、半角英語）を切り替える場合は、 + を押します。
- 入力モードを数字に切り替える場合は、 を押します。
- 入力モードを記号に切り替える場合は、 を押します。

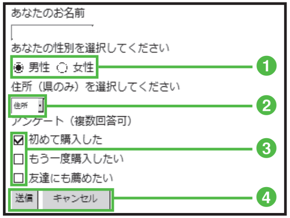
画面の一部分を拡大する／縮小する

1 情報画面を表示→≪ズーム≫→ズームバーが表示されている間に、 または でズームを調節



5 インターネット

ボタン／チェックボックス／ラジオボタンなどを利用する



❶ ラジオボタン
複数の選択項目から 1 つの項目を選択するには、◯を反転表示→ ■
◉に変わり、選択された状態になります。

❷ メニュー欄
メニューを表示して項目を選択するには、メニューを反転表示→ ■ →項目を反転表示→ ■

❸ チェックボックス
複数の選択項目から複数の項目を選択するには、□を反転表示→ ■
☑に変わり、選択された状態になります。

❹ 実行ボタン
ボタンに表示されている操作を実行するには、ボタンを反転表示→ ■

機能をすばやく呼び出す

Internet Explorer でよく利用する機能は、すばやく呼び出すことができます。
該当箇所で ■ を長押しして放すことでメニュー項目が表示されます（PC のマウスボタン右クリックと同様）。

該当箇所	メニュー項目
情報画面	「選択」／「戻る」／「最新の情報に更新」／「お気に入りに追加」／「お気に入り」／「Webアドレスに移動」など
文字入力欄	「元に戻す」／「切り取り」／「コピー」／「貼り付け」／「削除」／「すべて選択」など
画像	「イメージを保存 ...」など
リンク	「ショートカットのコピー」／「対象をファイルに保存 ...」など

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-11

- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面の URL をメールで送信したい
- 情報画面のプロパティを確認したい
- ホームページに戻りたい
- 情報画面の文字サイズを変更したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい
- お気に入りのタイトルや URL を編集したい
- お気に入りの一覧表示にフォルダーを作成したい
- お気に入りをフォルダーの中に移動したい
- お気に入り／フォルダーを削除したい

設定

- ホームページを設定する（☞P.12-8）
- 閲覧の履歴を確認する（☞P.12-8）
- 閲覧の履歴をクリアする（☞P.12-8）
- スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.12-8）
- Cookie の有効／無効を設定する（☞P.12-8）
- セキュリティ保護のないページに移動するときの警告の有無を設定する（☞P.12-8）
- 言語を設定する（☞P.12-9）
- 接続を設定する（☞P.12-9）
- Web サイトのブラウザー形式を変更する（☞P.12-9）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうかを設定する（☞P.12-9）
- 情報画面で画像を表示するかどうかを設定する（☞P.12-9）
- Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合に通知するかどうかを設定する（☞P.12-9）

Windows Live™を利用する

Windows Live™ は、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。オンラインでチャットをしたり、Windows Live™ メール（Hotmail）を利用したりすることができます。

注意

- Windows Live™ のアカウントについて
  Windows Live™ のアカウント（ID）は、パソコンから Windows Live™ の Web サイトにアクセスし、あらかじめ取得しておく必要があります。アカウントの取得方法と詳しい使い方については、Windows Live™ の Web サイトでご確認ください。

Windows Live™ にサインインする

1. **≪スタート≫ →「Windows Live」**
2. **画面の指示に従ってアカウントとパスワードなどを設定**

「Windows Live の知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する」にチェックをつけた場合、≪連絡先≫→≪新規作成≫から「Windows Live」が連絡先として選択できるようになります。

Windows Live™ の設定を変更／確認する

1 ≪スタート≫→「Windows Live」→≪メニュー≫→画面の指示に従って以下の項目を設定／確認→≪完了≫

メニュー項目	説明
「オプション」→「ホーム画面のオプション」	Windows Live をホーム画面に表示する／表示しないを設定できます。
「オプション」→「同期オプション」	連絡先、電子メールの同期設定を確認できます。電子メールを同期する／しないを設定できます。
「オプション」→「同期スケジュール」	同期の頻度や時間帯を設定できます。
「オプション」→「同期の状態」	前回同期したときの結果、日時を確認できます。
「オプション」→「ローミング」	ローミング時のWindows Live の有効／無効、ローミング開始時に通知するかを設定できます。
「オプション」→「電子メール」	プレビュー時の表示文字数、すぐにメッセージを送信する／しない、返信／転送時に元のメッセージをすべて含める／含めないを設定できます。
「オプション」→「Messenger」	音声メモを自動再生する／再生しない、通知方法、会話に使用するフォントの大きさを設定できます。
「オプション」→「バージョン情報」	Windows Live アプリケーションのバージョン情報を確認できます。
「アカウントオプション」→「パスワードのリセット」	Windows Live アカウントのパスワードをリセットできます。
「アカウントオプション」→「Windows Live ID の切替」	複数の Windows Live ID を切り替えることができます。
「アカウントオプション」→「使用条件」	Microsoft の使用条件の Web サイトに接続します。
「アカウントオプション」→「プライバシー」	Microsoft オンラインプライバシーに関する声明の Web サイトに接続します。
「バージョン情報」	Windows Live アプリケーションのバージョン情報を確認できます。

Messengerを利用する

Windows Live™ Messengerを使用すると、パソコンなどからWindows Live™ Messengerにアクセスしている人とチャットをすることができます。

1 ≪スタート≫→「Messenger」

2 画面の指示に従って操作

使いこなしチェック!

便利☞P.5-12

- オンライン状態を変更したい
- 個人設定を変更したい
- 並び順や表示を変更したい
- 新しい知り合いを追加したい
- 知り合いの設定を変更したい
- Messengerの設定を変更したい
- サインアウトしたい
- Windows Live画面に切り替えたい

MSN天気予報を利用する

天気予報を確認する

1 ≪スタート≫→「MSN天気予報」

2 市町村を選択→「天気予報」／「時間帯」／「週間予報」

市町村の追加／削除

1 ≪スタート≫→「MSN天気予報」

2 ≪メニュー≫→「設定」→≪市町村の追加≫または「市町村の追加」の「+」を選択

- 市町村を削除するには市町村の「−」を選択します。

3 「市町村を検索」欄を反転表示→市町村をローマ字で入力→≪検索≫

4 検索結果の中から追加する市町村の「+」を選択→≪完了≫

温度表示の摂氏／華氏を切り替える

1 ≪スタート≫→「MSN天気予報」→≪メニュー≫→「設定」→「摂氏」／「華氏」を選択

2 ≪完了≫

MSN マネーを利用する

主要銘柄の株価を確認する

1 ≪スタート≫→「MSN マネー」

2 銘柄を選択→「詳細」／「グラフ」

- 「詳細」／「グラフ」表示で再度銘柄を選択すると、主要銘柄一覧に戻ります。

銘柄の追加／削除

1 ≪スタート≫→「MSN マネー」

2 ≪メニュー≫→「設定」→≪銘柄を追加≫または「銘柄を追加」の「+」を選択

- 銘柄を削除するには銘柄の「−」を選択します。

3 検索欄を反転表示→銘柄をローマ字で入力→≪検索≫

4 検索結果の中から追加する銘柄の「+」を選択→≪戻る≫→≪戻る≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-13

- 天気予報を最新の情報に更新したい
- MSN 天気予報から bing サービスにアクセスしたい
- MSN 天気予報を終了したい
- 銘柄を最新の情報に更新したい
- MSN マネーから bing サービスにアクセスしたい
- MSN マネーを終了したい

RSS リーダーを利用する

RSS フィードを登録すると、そのサイトに接続することなく最新情報を確認できます。

RSS リーダーの見かた

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」

2 「RSS リーダー」

3 フィードを一覧から選択

- フィードを更新する場合は、更新したいフィードを反転表示してから≪ Update ≫を選択します。
フィードの更新を中止する場合は、≪キャンセル≫を選択します。

4 ヘッドラインを選択

- ヘッドラインを選択すると、ヘッドラインの情報画面に接続をします。

RSS フィードを登録する

1. ≪スタート≫→「アプリケーション」
2. 「RSS リーダー」
3. ≪メニュー≫→「フィード検索」
4. 「キーワード」欄を入力→≪検索≫→追加したいフィードを一覧から選択→≪ OK ≫
5. ≪メニュー≫→「完了」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.5-13

- 特定のフィードを更新したい
- フィードをすべて更新したい
- フィードを直接入力して登録したい
- フィードの一覧表示にフォルダーを作成したい
- フィード／フォルダーを削除したい
- フィード／フォルダーを移動したい
- フィード／フォルダーの名前を変更したい
- フィードをインポートしたい
- フィードをエクスポートしたい
- フィードをすべて開封済みにしたい
- フィードのプロパティを確認したい
- ヘッドラインを検索したい
- ヘッドラインを未読／開封済みにしたい
- ヘッドラインを削除したい
- ヘッドラインをすべて削除したい
- ヘッドラインを並べ替えたい
- ヘッドライン一覧の表示項目を変えたい
- ごみ箱を確認したい
- RSS リーダーを終了したい

便利な機能

便利

インターネットに関する便利な機能

情報画面のテキストをコピーしたい

情報画面で≪メニュー≫→「コピー／貼り付け」→「選択」→コピーしたいテキストを反転表示→≪選択≫→≪コピー≫

情報画面を最新の情報に更新したい

情報画面で≪メニュー≫→「最新の情報に更新」

情報画面の URL をメールで送信したい

情報画面で≪メニュー≫→「ツール」→「リンクを送る ...」→（➔P.4-5「メール作成･送信」）

情報画面のプロパティを確認したい

情報画面で≪メニュー≫→「ツール」→「プロパティ」

ホームページに戻りたい

情報画面で≪メニュー≫→「ホームページ」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で≪メニュー≫→「表示」→「文字サイズ」→項目を選択

メニュー操作からブラウザを終了したい

情報画面で≪メニュー≫→「終了」

便利

お気に入りに関する便利な機能

お気に入りのタイトルやURLを編集したい

≪スタート≫→「Internet Explorer」→≪メニュー≫→「お気に入り」→編集したいお気に入りを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「名前」欄を編集→「アドレス(URL)」欄を編集→≪OK≫

お気に入りの一覧表示にフォルダーを作成したい

≪スタート≫→「Internet Explorer」→≪メニュー≫→「お気に入り」→≪メニュー≫→「新しいフォルダー」→「名前」欄を入力→≪追加≫

お気に入りをフォルダーの中に移動したい

≪スタート≫→「Internet Explorer」→≪メニュー≫→「お気に入り」→移動したいお気に入りを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「フォルダー」欄で移動したいフォルダーを選択→≪ OK ≫

お気に入り／フォルダーを削除したい

≪スタート≫→「Internet Explorer」→≪メニュー≫→「お気に入り」→削除したいお気に入り／フォルダーを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

便利

Messengerに関する便利な機能

オンライン状態を変更したい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「オンライン状態の変更」→項目を選択

個人設定を変更したい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「個人設定の変更」→「表示名」欄を入力→「表示メッセージ」欄を入力→「表示アイコン」欄を選択→画像を反転表示→≪選択≫→≪完了≫

並び順や表示を変更したい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「並べ替え／表示」→項目を選択

新しい知り合いを追加したい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「新しい知り合いの追加」→メールアドレスを入力→≪ OK ≫

知り合いの設定を変更したい

Messenger画面を表示→知り合いを反転表示→≪メニュー≫→「知り合いのオプション」→項目を選択

Messengerの設定を変更したい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「オプション」→「音声メモを自動再生する」のチェックをつける／外す→「通知方法」欄で通知方法を選択→「会話に使用するフォント」欄でフォントサイズを選択→≪完了≫

サインアウトしたい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「サインアウト」

Windows Live画面に切り替えたい

Messenger画面を表示→≪メニュー≫→「Windows Live」

便利

MSN 天気予報に関する便利な機能

天気予報を最新の情報に更新したい

≪スタート≫→「MSN 天気予報」→≪更新≫

MSN 天気予報から bing サービスにアクセスしたい

≪スタート≫→「MSN 天気予報」→≪メニュー≫→「ディレクトリ」→「検索ホーム」／「地図」／「Hotmail」／「メッセンジャー」／「スペース」→画面の指示に従って操作

MSN 天気予報を終了したい

MSN 天気予報の画面で≪メニュー≫→「終了」

便利

MSN マネーに関する便利な機能

銘柄を最新の情報に更新したい

≪スタート≫→「MSN マネー」→≪更新≫

MSN マネーから bing サービスにアクセスしたい

≪スタート≫→「MSN マネー」→≪メニュー≫→「ディレクトリ」→「検索ホーム」／「地図」／「Hotmail」／「メッセンジャー」／「スペース」→画面の指示に従って操作

MSN マネーを終了したい

MSN マネーの画面で≪メニュー≫→「終了」

便利

RSS リーダーに関する便利な機能

特定のフィードを更新したい

フィード一覧表示中にフィードを反転表示→≪ Update ≫→≪完了≫

- フィードの更新を中止する場合は、≪キャンセル≫を選択します。

フィードをすべて更新したい

フィード一覧表示中に≪メニュー≫→「すべて更新」→≪完了≫

- フィードの更新を中止する場合は、≪キャンセル≫を選択します。

フィードを直接入力して登録したい

フィード一覧表示中に≪メニュー≫→「編集」→「新しいフィード」→「アドレス（RSS URL）」欄を入力→「フォルダー」欄でフォルダーを選択→≪ OK ≫

フィードの一覧表示にフォルダーを作成したい

フィード一覧表示中に≪メニュー≫→「編集」→「新しいフォルダー」→「名前」欄を入力→≪ OK ≫

- フォルダーの中にサブフォルダーを作成することはできません。

フィード／フォルダーを削除したい

フィード／フォルダーを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「削除」→≪はい≫

フィード／フォルダーを移動したい

フィード／フォルダーを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「移動」→フィード／フォルダーの移動先を選択→≪完了≫

フィード／フォルダーの名前を変更したい

フィード／フォルダーを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「名前の変更」→「名前」欄を入力→≪ OK ≫

フィードをインポートしたい

フィード一覧表示中に≪メニュー≫→「OPML」→「インポート」

■ OPML ファイルを選択するとき

「OPML ファイルの選択」→ OPML ファイルを選択→≪ OK ≫

■ OPML URL を入力するとき

「OPML URL の入力」→「アドレス（OPML URL）」欄を入力→≪ OK ≫

- OPML ファイルのみ対応

フィードをエクスポートしたい

フィード／フォルダーを反転表示→≪メニュー≫→「OPML」→「エクスポート」→移動先を選択→「ファイル名」欄を入力→≪ OK ≫→≪ OK ≫

- OPML ファイルのみ対応

フィードをすべて開封済みにしたい

フィード／フォルダーを反転表示→≪メニュー≫→「すべて開封済みにする」

フィードのプロパティを確認したい

フィードを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

ヘッドラインを検索したい

ヘッドライン一覧表示中に≪検索≫→「キーワード」欄にキーワードを入力→「次から検索」をチェック／チェックを外す→≪ OK ≫

- 「次から検索」をチェックすると、反転表示しているフィードより下に表示されているフィードを対象として検索されます。

ヘッドラインを未読／開封済みにしたい

ヘッドライン一覧表示でヘッドラインを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「未読にする」／「開封済みにする」

ヘッドラインを削除したい

ヘッドライン一覧表示でヘッドラインを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「ページの削除」→≪はい≫

ヘッドラインをすべて削除したい

ヘッドライン一覧表示で≪メニュー≫→「編集」→「すべて削除」→≪はい≫

ヘッドラインを並べ替えたい

ヘッドライン一覧表示で≪メニュー≫→「次の順序で表示」→「ヘッドライン」／「発行日」／「開封済み／未読」／「昇順」／「降順」

- ヘッドライン：タイトルの文字コードの昇順または降順
- 発行日：ヘッドラインの発行日の昇順または降順
- 開封済み／未読：未読のヘッドラインのみ表示

ヘッドライン一覧の表示項目を変えたい

ヘッドライン一覧表示で≪メニュー≫→「表示」→「ページを読む」／「ヘッダー」／「説明」

- 選択した項目がヘッドライン一覧に表示されます。

ごみ箱を確認したい

削除したヘッドラインを完全に削除／復元します。

フィード一覧表示中に≪メニュー≫→「ごみ箱」→≪メニュー≫→以下の項目を選択

- 「削除」：反転表示したヘッドラインを削除
- 「すべて削除」：ヘッドラインをすべて削除
- 「復元」：ヘッドラインをフィードに復元
- 「プロパティ」：ヘッドラインのプロパティを表示

RSS リーダーを終了したい

フィード一覧表示中に≪メニュー≫→「終了」

カメラ／静止画編集

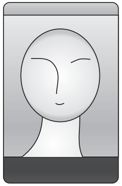
6

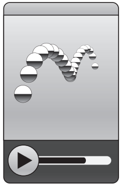
カメラ／静止画編集について

本機では、カメラを使って写真や動画を撮影できます。撮影した写真の加工もできます。

写真／動画の撮影

本機では、カメラを使って写真や動画を撮影できます。
写真の撮影では、連続写真の撮影、フレーム撮影やモザイク撮影などいろいろな撮影方法があります（➔P.6-3）。

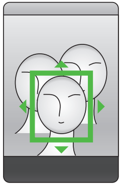




撮影方法ごとの撮影サイズは、次のとおりです。

撮影方法	使用できる撮影サイズ
一枚撮影 スマイル撮影	2048 × 1536（3M） 1600 × 1200（2M） 1280 × 960（1.3M） 640 × 480（0.3M） 320 × 240（0.07M）
連続撮影	640 × 480（0.3M） 320 × 240（0.07M）
フレーム撮影 モザイク撮影	320 × 240（0.07M）
ビデオ	320 × 240（標準） 176 × 144（S! メールの制限）

画像の加工

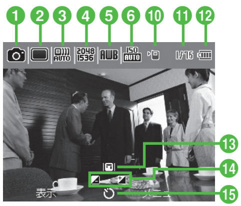


本機では、撮影した写真などの画像を加工できます。
画像サイズを変更したり、一部を切り取ったり、画像効果を施すことができます（➔P.6-9）。

静止画撮影

静止画撮影では、用途に合わせて撮影モードを設定できます。撮影した静止画は「My Documents ￥My Pictures ￥Photo」フォルダに保存されます。保存場所をメモリカードにしているときは、「Storage Card ￥My Pictures」フォルダに保存されます。
保存場所フォルダは、撮影画面で≪表示≫を選択すると表示されます。

静止画撮影画面の見かた





≪メニュー≫時

❶ カメラモード
: カメラ　　: ビデオカメラ

❷ 撮影モード
: 1 枚撮影　　: 連続撮影
: フレーム撮影　　: モザイク撮影
: スマイル撮影

❸ シーン
: 自動　: 暗所モード　: 風景　: 人物
: 文字列　: スポーツ　: 夕暮れ　: 夜明け

❹ 解像度（撮影サイズ）
: 2048 × 1536（3M）※　: 1600 × 1200（2M）※
: 1280 × 960（1.3M）※　: 640 × 480（0.3M）
: 320 × 240（0.07M）
※撮影モードが「一枚撮影」／「スマイル撮影」時のみ

❺ ホワイトバランス
: 自動　: 日光　: 曇り　: 電球　: 蛍光灯

❻ ISO
: 自動　: 100　: 200　: 400

❼ 計測
: 平均　: スポット

❽ 効果
: 効果なし　: モノクロ　: セピア　: ネガ

❾ 設定
: 各種設定メニューを表示

❿ 保存場所
: マイデバイス（本体）　: メモリカード

⓫ 撮影可能残数

⓬ 電池残量

⓭ ファインダー（ ）
3 種類（ ）

⓮ 明るさ（ ）

⓯ タイマー（ ）
: なし　: 2 秒　: 5 秒　: 10 秒

静止画撮影の流れ



で撮影



を押して、
撮影モード等を設定

を押して、保存

• 撮影した静止画を簡単にメール添付できます（➲P.6-9）。

撮影モード	特　長
一枚撮影	メールに添付したりホーム画面の背景にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
連続撮影	9 枚までの静止画を連続撮影できます。
フレーム撮影	フレーム付きの静止画を撮影できます。フレームは 49 種類あります。
モザイク撮影	モザイクを選んで撮影すると、分割して撮影したすべての静止画が 1 枚の静止画として配置されます。モザイクは 18 種類あります。
スマイル撮影	顔を認識して、笑顔になったときに自動で撮影できます。

通常撮影する

1

• ≪スタート≫→「アプリケーション」→「カメラ」でも起動できます。

2 ≪メニュー≫→「撮影モード」→「1 枚撮影」

• 必要に応じて撮影前に設定を行います。（➲P.6-4）

3 撮影したい被写体をファインダーに表示

• ／ を押すと拡大／縮小できます。

4

5 ≪保存≫

スマイル撮影で撮影する

1

2 ≪メニュー≫→「撮影モード」→「スマイル撮影」

• 必要に応じて撮影前に設定を行います。（➲P.6-4）

3 撮影したい被写体をファインダーに表示

• ／ を押すと拡大／縮小できます。
• 顔が認識されると、顔の部分に青い枠が表示されます。

6
カメラ／静止画編集

4 [■]

- 笑顔が認識されると、口元の部分に白い枠が表示され、撮影されます。

5 ≪保存≫

連続写真を撮影する

1 [📷]

2 ≪メニュー≫→「撮影モード」→「連続撮影」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。（➲P.6-4）

3 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- [▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。

4 [■]を押し続ける

- 途中で[■]を放すと、その時点までの枚数が撮影されます。

5 ≪保存≫

フレーム付きの静止画を撮影する

1 [📷]

2 ≪メニュー≫→「撮影モード」→「フレーム撮影」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。（➲P.6-4）

3 ≪変更≫→[◀▶]でフレームを変更し、[■]で選択

- ≪一覧≫で一覧から選択できます。

4 撮影したい被写体をファインダーに表示

- [▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。

5 [■]

6 ≪保存≫

モザイク撮影する（分割撮影）

1 [📷]

2 ≪メニュー≫→「撮影モード」→「モザイク撮影」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。（➲P.6-4）

3 ≪変更≫→[◀▶]でモザイクを変更し、[■]で選択

- ≪一覧≫で一覧から選択できます。

4 撮影したい被写体をファインダーに表示

- [▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。

5 [■]

6 操作 **5** を繰り返して撮影したい被写体を撮影

7 ≪保存≫

撮影した静止画を見る

撮影して保存した静止画を撮影画面（1枚撮影、連続撮影、スマイル撮影）から確認することができます。

1 ≪メニュー≫→「カメラ」→≪表示≫

- 撮影モードが「フレーム撮影」「モザイク撮影」の場合は確認できないため、≪メニュー≫→「カメラ」→「撮影モード」→「1 枚撮影」／「連続撮影」／「スマイル撮影」を選択してから確認してください。
- 保存場所のフォルダ内のデータが表示されます。
- フォルダを切り替える場合は、≪上へ≫を押してフォルダを選択します。
- 撮影した静止画は、エクスプローラーやコンテンツマネージャから確認することもできます（➲P.10-9）。

❷ 画像を選択

静止画を見ているときには、以下の操作ができます。
- ：表示する画像の切り替え
- を押した後：
  で拡大表示／で縮小表示
- ≪全画面表示≫：静止画を画面全体に表示
- ≪全画面表示≫を押した後：
  で画面表示なし、で縦横切り替え、で表示する画像の切り替え
- ≪メニュー≫：静止画加工、静止画撮影に関する便利な機能（➔P.6-9）

使いこなしチェック!

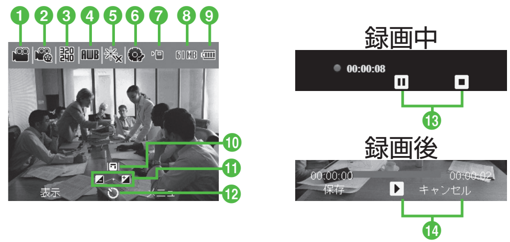
便利 ☞P.6-9
- 撮影した静止画を送信したい
- 撮影した静止画を各種の画面に設定したい
- 静止画の詳細を確認したい
- 撮影した静止画を削除したい

設定
- イメージ品質を設定する（☞P.12-9）
- シャッターサウンドを設定する（☞P.12-9）
- レビュー画面を表示する（☞P.12-9）
- ズーム調整サウンドを設定する（☞P.12-9）
- 明るさ調整サウンドを設定する（☞P.12-9）
- 保存場所を設定する（☞P.12-9）

動画撮影

撮影した動画は「My Documents ¥My Videos」フォルダに保存されます。保存場所をメモリカードにしているときは、「Storage Card ¥My Videos」フォルダに保存されます。保存場所フォルダは、撮影画面で≪表示≫を選択すると表示されます。
メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は録画モード「S! メールの制限」で撮影してください。

動画撮影画面の見かた



❶ カメラモード
：ビデオカメラ　　：カメラ

❷ 録画モード
：S! メールの制限　　：標準

❸ 解像度（撮影サイズ）
：320 × 240※
：176 × 144

※ 標準のみ

❹ ホワイトバランス
：自動　：日光　：曇り　：電球　：蛍光灯

❺ 効果
：効果なし　：モノクロ　：セピア　：ネガ

❻ 設定
：各種設定メニューを表示

❼ 保存先設定
：マイデバイス（本体）　：メモリカード

❽ 撮影可能容量

❾ 電池残量

❿ ファインダー（ ）
３種類（ ）

⓫ 明るさ（ ）

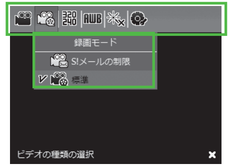
⓬ タイマー（ ）
：なし　：２秒　：５秒　：10秒

⓭ 操作ボタン（録画中）
：録画　：停止　：一時停止

⓮ 操作ボタン（録画後）
：再生　：一時停止

撮影モード	特　長
ビデオ	メールに添付する動画や本機に保存して楽しむ動画を撮影できます。

動画撮影の流れ



を押して、
撮影モード等を設定

で撮影



を押して、保存

• 撮影した動画を簡単にメール添付できます（➔P.6-9）。

動画を撮影する

1 [カメラキー]

2 ≪メニュー≫→「カメラモード」→「ビデオカメラ」
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

3 撮影したい被写体をファインダーに表示
- [▲]／[▼]を押すと拡大／縮小できます。

4 [■]
- 撮影中に一時停止する場合は[■]（[II]）を押します。撮影を再開する場合は[■]（[●]）を押します。

5 [終了]（[■]）

撮影した動画を見る

撮影して保存した動画を撮影画面から確認することができます。

1 ≪メニュー≫→「カメラモード」→「ビデオカメラ」→≪表示≫

2 動画を選択
- 保存場所のフォルダ内のデータが表示されます。
- フォルダを切り替える場合は、≪上へ≫を押してフォルダを選択します。
- 撮影した動画は、エクスプローラーやコンテンツマネージャから確認することもできます（➔P.10-9）。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.6-10
- 撮影した動画を送信したい
- 動画の詳細を確認したい
- 撮影した動画を削除したい

設定
- ビデオ品質を設定する（☞P.12-10）
- 録画開始サウンドを設定する（☞P.12-10）
- 録音中を設定する（☞P.12-10）
- エンコード形式を設定する（☞P.12-10）
- レビュー画面を表示する（☞P.12-10）
- ズーム調整サウンドを設定する（☞P.12-10）
- 明るさ調整サウンドを設定する（☞P.12-10）
- 保存場所を設定する（☞P.12-10）

静止画加工

静止画を編集します。画像の明るさ、サイズ、効果などを設定することができます。

1 撮影画面で≪表示≫→ファイルの保存場所を選択

2 撮影した静止画を反転表示

3 ≪メニュー≫→「編集」→「エディタで開く」

4 画像の編集操作

■ 顔を検出して切り取るとき
≪メニュー≫→「顔検出」→候補が複数ある場合は、で対象を選択→≪次へ≫→で範囲を拡大／縮小→≪移動≫→で範囲を移動→≪完了≫
・範囲の移動で≪サイズ≫を選択すると、範囲の拡大／縮小に切り替わります。

■ 回転するとき
≪メニュー≫→「回転」→で回転→≪完了≫

■ 明るさを調整するとき
≪メニュー≫→「明るさ／コントラスト」→で調整→≪完了≫

■ コントラストを調整するとき
≪メニュー≫→「明るさ／コントラスト」→で調整→≪完了≫

■ 効果をかけるとき
≪メニュー≫→「効果」→で効果を選択→≪完了≫

■ ぼかすとき
≪メニュー≫→「ぼかし／シャープ」→で調整→≪完了≫

■ シャープにするとき
≪メニュー≫→「ぼかし／シャープ」→で調整→≪完了≫

■ サイズを変更するとき
≪メニュー≫→「サイズ変更」→サイズを選択→≪完了≫

■ 画像の一部を切り取るとき
≪メニュー≫→「トリミング」→でトリミングする比率を選択→≪次へ≫→で範囲を拡大／縮小→≪移動≫→で範囲を移動→≪完了≫
・範囲の移動で≪サイズ≫を選択すると、範囲の拡大／縮小に切り替わります。

■ 反転するとき
≪メニュー≫→「反転」→で反転→≪完了≫

5 ≪完了≫

- 加工したファイル名の前に「編集済み_」がついたファイルが保存されます。

便利な機能

便利

静止画撮影に関する便利な機能

撮影した静止画を送信したい

- S! メールで送信する場合、300K バイトを超えていない場合は添付されます。
- 静止画が 300K バイトを超えている場合は、画像サイズを変更する画面が表示されます。≪メニュー≫→「圧縮」で画像が圧縮されます。

■ **静止画撮影直後に S! メールで送信するとき**
≪メニュー≫→「S! メールの送信」→画像が自動保存→(➲P.4-6「S! メールを作成・送信する 2」)

■ **画像を選択して S! メールで送信するとき**
撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「S! メールの送信」→(➲P.4-6「S! メールを作成・送信する 2」)

■ **画像を選択してインターネットメールで送信するとき**
撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「電子メール経由」→(➲P.4-10「インターネットメールを作成する 2」)

■ **画像を選択して Bluetooth® で送信するとき**
撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「Bluetooth 経由」→(➲P.11-17「データを1件ずつ送信する 2」)

撮影した静止画を各種の画面に設定したい

■ **静止画撮影直後に壁紙に設定するとき**

≪メニュー≫→「ホーム画面に設定」

■ **画像を選択して壁紙に設定するとき**

撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「設定」→「ホーム画面」→[キー]で表示領域を選択→≪次へ≫→[キー]で透過率を選択→≪完了≫

■ **画像を選択して個別着信音の着信画像に設定するとき**

撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「設定」→「発信者番号通知」→設定したい連絡先を選択

静止画の詳細を確認したい

撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

撮影した静止画を削除したい

撮影画面で≪表示≫→画像を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

便利

動画撮影に関する便利な機能

撮影した動画を送信したい

- S! メールで送信する場合、300K バイトを超えていない場合は添付されます。

■ **動画撮影直後に S! メールで送信するとき(「S! メールの制限」モードで撮影した場合のみ)**

≪メニュー≫→「S! メールの送信」→動画が自動保存→(➔P.4-6「S! メールを作成・送信する ❷」)

■ **動画を選択して S! メールで送信するとき**

撮影画面で≪表示≫→動画を反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「S! メールの送信」→(➔P.4-6「S! メールを作成・送信する ❷」)

■ **動画を選択してインターネットメールで送信するとき**

撮影画面で≪表示≫→動画を反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「電子メール経由」→(➔P.4-10「インターネットメールを作成する ❷」)

■ **動画を選択して Bluetooth® で送信するとき**

撮影画面で≪表示≫→動画を反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「Bluetooth 経由」→(➔P.11-17「データを1件ずつ送信する ❷」)

動画の詳細を確認したい

撮影画面で≪表示≫→動画を反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

撮影した動画を削除したい

撮影画面で≪表示≫→動画を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

エンタテイメント／生活ツール

7

エンタテイメントについて

本機では、Windows Media® Player Mobileを利用して音楽や動画を楽しんだり、フォトスライドを利用して画像を閲覧することができます。

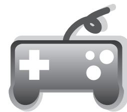
メディアプレイヤー



フォトスライド



ゲーム



生活ツールについて

本機では、電卓や世界時計などの生活ツールが用意されています。
この章では、本機に用意されている生活ツールについて説明します。

世界時計



世界各国の都市の現在時刻を見ることができます（➲P.7-11）。

ストップウォッチ



ストップウォッチ機能を使用できます（➲P.7-11）。

電卓



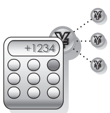
電卓機能を使用できます（➲P.7-12）。

単位換算



金額を各国の通貨に換算したり、長さや重さなどを他の単位に換算できます（➲P.7-12）。

チップ電卓



チップを含んだ支払い額などを計算できます（➲P.7-12）。

D-ディ



記念日までの日数などを確認できます（➲P.7-13）。

検索ウィジェット



Web検索ができます（➲P.7-13）。

検索



本機に保存されている情報を検索できます（➲P.7-13）。

Windows Media® Player Mobile

本機では、Windows Media® Player Mobile を利用して音楽や動画を楽しめます。
Windows Media® Player Mobile では、本体メモリ、メモリカード内の対応する音楽および動画を再生することができます。

パソコンから本体メモリやメモリカードにファイルをコピーする操作については、➲P.11-9、➲P.11-13 を参照してください。

音楽／動画の再生

Windows Media® Player Mobileから音楽／動画を再生できます。再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

■音楽ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Audio	wma
MP3	mp3
MIDI	mid、midi、rmi
SP-MIDI	mid、midi
I-Melody	mld
WAV	wav
AMR Narrow Band	amr
AMR Wide Band	awb
AAC※	m4a、aac

※ AACデータについては、以下の点にご注意ください。

- 音楽をAACデータに変換できるソフトウェアが必要です。
- 当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

■動画ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media® Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
H.263	3gp、3g2
ASF	asf
Motion JPEG	avi

プレイビュー／再生リスト

音楽や動画を再生すると、プレイビューに登録されます。
プレイビューに登録された音楽や動画は並び替えられます。
また、プレイビューを保存し、再生リストを作成すれば、自分だけのアルバムを作ることができます。

パソコンのライブラリと同期

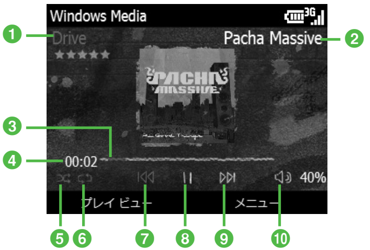
パソコンの Windows Media® Player のライブラリと音楽や動画を同期することで、普段パソコンで利用している音楽や動画が本機でも気軽に利用できます。

音楽／動画のダウンロード

音楽や動画を本機やメモリカードにダウンロードできます。

音楽の再生

Windows Media® Player Mobile 再生画面の見かた



❶ タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）

❷ アーティスト名

❸ 再生位置

❹ 再生経過時間／残り時間

❺ ランダム再生

❻ 連続再生

❼ 音楽の先頭／前の音楽

❽ 再生／一時停止

❾ 次の音楽

❿ 再生音量

Windows Media® Player Mobile 再生画面の操作について

Windows Media® Player Mobile では、決定キーおよびナビゲーションキーに以下の操作が割り当てられています。

■ 再生／一時停止するとき

■ 音楽の先頭／前の音楽に移動するとき

■ 次の音楽に移動するとき

■ スキップ戻しするとき
を長押し

■ スキップ送りするとき
を長押し

■ 音量調整するとき

• Windows Media® Player Mobile 再生画面で≪メニュー≫→「オプション」→「ボタン」を選択すると、決定キー、ナビゲーションキー、およびキーパッドの割り当てを変更することができます。

❶ ≪スタート≫→「Windows Media」

❷ ライブラリ画面で「マイミュージック」

• ライブラリ画面が開かない場合は、≪メニュー≫→「ライブラリ」のあと、必要に応じて を押します。

❸ 項目を選択

■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
「すべての音楽」

■ アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき
「アーティスト」

■ アルバム別の一覧からファイルを選択するとき
「アルバム」

■ ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき
「ジャンル」

❹ 音楽の選択→≪再生≫

■ メモリカード内の音楽を再生する場合
ライブラリ画面で≪メニュー≫→「ライブラリ」→「Storage Card」

- 再生を止めるには、音楽再生画面で≪メニュー≫→「停止」を選択します。
- 後から音楽が入ったメモリカードを挿入したり、本体メモリやメモリカードに音楽をコピーしたときなどは、ライブラリ画面で≪メニュー≫→「ライブラリの更新」を選択してください。本体メモリ、メモリカード内のすべての音楽が検索され、ライブラリが最新の状態に更新されます。
- メディアプレイヤーを起動して音楽を再生している場合は、 や を押すと再生を継続したまま音楽再生画面を終了します。
- メディアプレイヤー画面で音楽を再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると、再生を再開します。
- 音楽を再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラームを音と表示でお知らせします。≪ OK ≫でアラーム音が止まり表示が消え、再生を再開します。

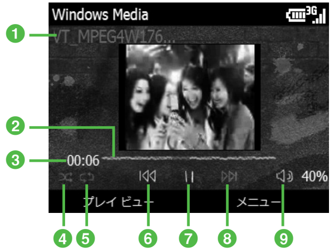
使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-15

- ファイルの詳細情報を確認したい
- ファイルを再生リストから削除したい
- 再生リストを削除したい
- 音楽の再生を停止したい
- ランダム再生をするかどうか設定したい
- 連続再生をするかどうか設定したい

動画の再生

Windows Media® Player Mobile 再生画面の見かた



1. タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）
2. 再生位置
3. 再生経過時間／残り時間
4. ランダム再生
5. 連続再生
6. 音楽の先頭／前の音楽
7. 再生／一時停止
8. 次の音楽
9. 再生音量

Windows Media® Player Mobile 再生画面の操作について

Windows Media® Player Mobile では、決定キーおよびナビゲーションキーには以下の操作が割り当てられています。

■ 再生／一時停止するとき

■ 動画の先頭／前の動画

■ 次の動画

■ スキップ戻し
を長押し

■ スキップ送り
を長押し

■ 音量調整

- Windows Media® Player Mobile 再生画面で≪メニュー≫→「オプション」→「ボタン」を選択すると、決定キー、ナビゲーションキー、およびキーパッドの割り当てを変更することができます。

1 ≪スタート≫→「Windows Media」

2 ライブラリ画面で「マイ ビデオ」

- ライブラリ画面が開かない場合は、≪メニュー≫→「ライブラリ」のあと、必要に応じて [キー] を押します。

3 項目を選択

■ すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき
「すべてのビデオ」

■ ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき
「ジャンル」

4 ビデオの選択操作

■ メモリカード内の動画を再生する場合
ライブラリ画面→≪メニュー≫→「ライブラリ」→「Storage Card」

- 再生を止めるには、動画再生画面で≪メニュー≫→「停止」を選択します。
- 後から動画が入ったメモリカードを挿入したり、本体メモリやメモリカードに動画をコピーしたときなどは、ライブラリ画面で≪メニュー≫→「ライブラリの更新」を選択してください。本体メモリ、メモリカード内のすべての動画が検索され、ライブラリが最新の状態に更新されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-16

- ファイルの詳細情報を確認したい
- ファイルを再生リストから削除したい
- 再生リストを削除したい
- 動画の再生を停止したい
- ランダム再生をするかどうか設定したい
- 連続再生をするかどうか設定したい

設定

- 時間の表示形式を設定する（☞P.12-10）
- ビデオを全画面で再生するかどうかを設定する（☞P.12-10）
- ビデオをウィンドウに合わせて拡大／縮小するかどうかを設定する（☞P.12-10）
- ネットワークを設定する（☞P.12-10）
- ライブラリ画面でプレイヤーを起動するかどうかを設定する（☞P.12-11）
- スキンを設定する（☞P.12-11）
- キー割り当てを設定する（☞P.12-11）

プレイビュー／再生リスト

再生する順番に音楽／動画をプレイビュー（再生待ちリスト）に登録しておくと、登録した順に再生できます。
また、プレイビューを再生リストとして保存できます。

- プレイ ビューは一時的なリストのため、Windows Media® Player Mobile を終了すると、登録されている内容は消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

プレイ ビューに登録する

1 ライブラリ画面でカテゴリを選択

- ライブラリ画面が開かない場合は、≪メニュー≫→「ライブラリ」のあと、必要に応じて [キー] を押します。

2 項目を選択→対象の音楽／動画を反転表示

3 ≪メニュー≫→「再生待ちに追加」

プレイ ビューから再生する

1. ライブラリ画面で「プレイ ビュー」
   - ライブラリ画面が開かない場合は、≪メニュー≫→「ライブラリ」のあと、必要に応じて [キー] を押します。
2. 音楽／動画を反転表示→≪再生≫

再生リストを作成する

1. プレイ ビュー一覧画面
2. ≪メニュー≫→「再生リストの保存」
3. 「再生リストの名前」欄に入力→≪終了≫

再生リストで音楽／動画を再生する

1. ライブラリ画面で「再生リスト」
   - ライブラリ画面が開かない場合は、≪メニュー≫→「ライブラリ」のあと、必要に応じて [キー] を押します。
2. 対象の再生リストを選択
3. 音楽／動画を反転表示→≪再生≫

パソコンのライブラリと同期する

パソコンの Windows Media® Player のライブラリと音楽／動画を同期できます。著作権保護付きの音楽／動画は、この方法によって著作権情報とともに本機に同期できます。

同期の準備／ライブラリの同期

あらかじめ ActiveSync® または Windows Mobile® デバイスセンターで本機とパソコンのデータ同期の設定をしておく必要があります（➔P.11-7、➔P.11-11）。ここでは例として、パソコン側が Windows Media® Player11 の場合を示します。

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続する
2. パソコン側の Windows Media® Player を起動
3. パソコン側の Windows Media® Player で同期タブをクリック
   - デバイスの設定画面が表示された場合は、「デバイスを指定してください」欄を確認→「完了」をクリック

❹ 同期する音楽をライブラリからデバイス側にドラッグ＆ドロップ

同期タブ



❺「同期の開始」をクリック



本機のメモリカードとの同期

パソコン側の Windows Media® Player と本機のメモリカードを直接同期できます。ここでは例として、パソコン側が Windows Media® Player11 の場合を示します。

❶ パソコン側の Windows Media® Player で、「次のデバイス」をクリック

メモリカードのデバイス名



- メモリカードのデバイス名が表示されます。
- 以降の操作は、「同期の準備／ライブラリの同期」(➲P.7-8)の操作❹以降を参照してください。

注意

本機と同期を行うには、パソコン側で Windows Media® Player10 以降のバージョンが必要です。

パソコン側の Windows Media® Player の使用方法については、Windows Media® Player のヘルプを参照してください。

ネットワーク上のファイルを再生する

URL を指定することにより、ネットワーク上の音楽／動画を再生できます。

1 ライブラリ画面

2 ≪メニュー≫→「URL を開く」



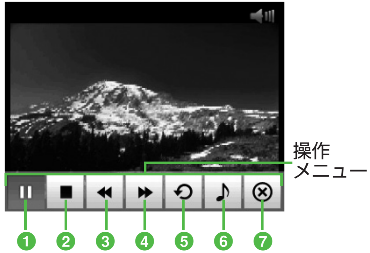
3 URL 入力欄にネットワーク上のファイルの URL を入力

- 履歴欄から以前開いたファイルの URL を選択することもできます。

4 ≪ OK ≫

フォトスライド

フォトスライドでは、カメラで撮影した写真やダウンロードした JPG 画像を、スライドショーで表示することができます。



1. 一時停止／再生
2. 停止
3. 前の画像を表示
4. 次の画像を表示
5. 画像を回転して表示
6. BGM の変更
   チェックマークの付いている項目が上から順に再生されます。
7. フォトスライドの終了

フォトスライドを再生する

フォルダや作成したアルバムの画像を、BGM と一緒にスライドショーで表示します。

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」→「フォトスライド」

2 再生する項目を反転表示

3 ≪スライドショー≫

- スライドショー再生中に を押すと、音量を調整できます。
   を押すと、前の画像／次の画像を表示します。
   ／ を押すと、操作メニューが表示されます。

フォトスライドアルバムを作成する

フォトスライドでスライドショーを再生するためのアルバムを作成します。

1. ≪スタート≫→「アプリケーション」→「フォトスライド」
2. ≪メニュー≫→「アルバムの作成」
3. 「アルバム名」欄でアルバム名を入力
4. 「日として」欄で日付を入力
5. ≪ OK ≫

• 既存のフォルダの画像を反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「コピー」し、作成したアルバムを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「貼り付け」で、作成したアルバムに画像を追加できます。

スライドショーを再生する

フォトスライドの機能を利用せずにスライドショーを表示することもできます。

1. ≪スタート≫→「コンテンツマネージャ」→画像が入っているフォルダを選択
2. ≪メニュー≫→「スライドショーの再生」

• BGM は再生されません。

スライドショーの設定をする

スライドショーの切り替え効果、繰り返しなどの設定を行えます。

1. ≪スタート≫→「コンテンツマネージャ」→画像が入っているフォルダを選択
2. ≪メニュー≫→「オプション」→「スライドショー」

■ 繰り返し再生を設定するとき
「繰り返し」欄→項目を選択

■ 画像を切り替える間隔を設定するとき
「間隔」欄→項目を選択

■ 画像を切り替える効果を設定するとき
「切り替え効果」欄→項目を選択

■ 表示順序を設定するとき
「方向の表示」欄→項目を選択

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-16

- 再生対象の表示を変更したい
- 特定の画像を回転させたい
- 写真を削除したい
- 写真をアルバム間で移動/コピーしたい

日付／時刻

画面に表示される日付や時刻を設定します。

1. ≪スタート≫→「設定」→「日付／時刻」
2. 「タイムゾーン」欄→項目を選択
3. 「日付」欄で日付を入力
4. 「時刻」欄で時刻を入力
5. 「自動更新」欄→項目を選択
6. ≪完了≫

使いこなしチェック!

設定

- タイムゾーンを変更する（☞P.12-2）
- 日付を設定する（☞P.12-2）
- 時刻を設定する（☞P.12-2）
- 自動更新を設定する（☞P.12-2）

世界時計

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。本機の時刻と世界時計の時刻を同時に表示することもできます。

1. ≪スタート≫→「ツール」→「世界時計」
2. 「時計 1」→地域を選択→≪決定≫
   - 「時計 1」は、地域が設定されていない場合の項目名です。
3. 「時計 2」→地域を選択→≪決定≫
   - 「時計 2」は、地域が設定されていない場合の項目名です。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-17

- 設定した地域を解除したい
- 世界時計の表示形式を変更したい
- サマータイムを設定したい
- 現在の時刻設定を世界時計の時刻に変更したい
- 世界時計をホーム画面に表示したい

ストップウォッチ

本機をストップウォッチとして使えます。最大 99 回のラップタイムも計れます。

1. ≪スタート≫→「ツール」→「ストップウォッチ」
2. ≪開始≫
3. ≪停止≫

- ラップタイムを計るときは、計測中に≪記録≫を押します。
- 停止後、計測を再開するときは≪開始≫を押します。
- ≪リセット≫を押すとすべての計測タイムを削除します。

電卓

15 桁までの四則演算ができます。

1 ≪スタート≫→「ツール」→「電卓」

2 数字と記号を入力して計算

- を押すと数式を 1 文字消すことができます。
- 数式と計算結果をまとめて消すには、≪クリア≫を押します。
- ≪メニュー≫を押すと、ルートなどを使った数式も入力できます。

電卓では四則演算以外に以下の機能を利用できます。

項目	説明
%	表示中の数値のパーセンテージを表示します。
Xn	表示中の数値のべき乗を表示します。
√	表示中の数値のルート（平方根）を表示します。

使いこなしチェック!

設定

- 桁区切り記号の表示をするかどうかを設定する（☞P.12-11）
- 計算ログの保存をするかどうかを設定する（☞P.12-11）

単位換算

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

1 ≪スタート≫→「ツール」→「単位換算」

2 項目を選択

3 換算元の「単位」欄→単位を選択

4 数値欄で数値を入力

5 換算後の「単位」欄→単位を選択

6 表示された数値を確認

- 換算をリセットするときは、≪クリア≫を押します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-17

- 換算元と換算後の単位を逆にしたい
- 為替レートを確認したい
- 為替レートを変更したい
- 通貨単位を追加したい
- 追加した通貨単位を削除したい

チップ電卓

支払い金額、チップの割合、分割する人数から、1 人当たりの支払い金額を計算することができます。

1 ≪スタート≫→「ツール」→「チップ」

2 「請求金額」欄で金額を入力

3 「チップ率（%）」欄でチップの割合を で選択

- 「手動」を選択した場合は、 を押して、チップの割合を入力してください。

4 「分割」欄→分割する人数を入力

5 ≪計算≫

- 計算結果を消すには、≪リセット≫を押します。

D- ディ

記念日を登録すると、記念日までの日数、または記念日からの日数が表示されます。

1 ≪スタート≫→「ツール」→「D- ディ」

- 記念日を設定している場合は、記念日、記念日からの日数が表示されます。

2 「追加」

3 「日付」欄で日付を入力

4 「件名」欄でタイトルを入力

5 「分類項目」欄→項目を選択

6 「毎年繰り返す」欄を選択

- 毎年繰り返す記念日を設定する場合は、チェックマークを付けてください。

7 ≪完了≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-17

- 記念日を編集したい
- 記念日を削除したい
- 記念日をカテゴリ別に表示したい
- 記念日を並べ替えたい
- 分類項目を編集したい

検索ウィジェット

Web 検索を行います。

1 ≪スタート≫→「検索ウィジェット」

2 検索語を入力→≪検索≫

- 検索ウィジェットの使い方の詳細については、「bing」のヘルプを参照してください。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.7-18

- Microsoft の bing サービスにアクセスしたい
- 地図をダウンロードしたい
- 検索ウィジェットを終了したい

検索

検索語を入力して、本機に保存されている情報の検索を行います。

1 ≪スタート≫→「ツール」→「検索」

2 「検索」欄で検索語を入力

3 ≪実行≫

- 検索したい情報の分類がわかっているときは分類項目を選択します。
- 大 / 小文字を区別したいときは「大 / 小文字を区別」にチェックします。
- 検索語のみを検索したいときは「完全一致する単語の検索」にチェックします。

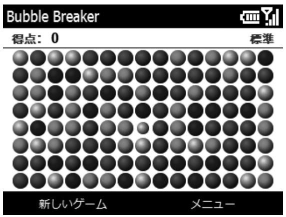
ゲーム

本機には、2 種類のゲームが登録されています。

Bubble Breaker

隣接している同色のバブル（シャボン玉）を消していくゲームです。
同色のバブルを一度に多く消すと、高い得点になります。
消せるバブルが無くなると終了です。

1 ≪スタート≫→「ゲーム」→「Bubble Breaker」

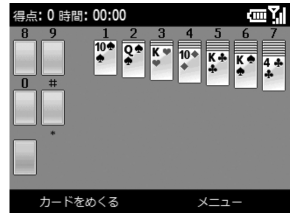


ソフトキー	説明
≪新しいゲーム≫	新しいゲームを始める
≪メニュー≫	「元に戻す」：1 つ前の操作に戻る 「新しいゲーム」：新しいゲームを始める 「成績表」：で成績を確認する。≪リセット≫→≪はい≫で成績表をリセット 「オプション」：下記を選択 ・サウンドを再生する ・ゲストモード ・スタイル 　（で選択） ・バルーンの色 　（で選択） 「バージョン情報」：バージョンを確認

ソリティア

山札からめくったカードを場札で整理し、最終的に組札にマークごとに分けて A から K までを数字順に積み重ねていくゲームです。

1 ≪スタート≫→「ゲーム」→「ソリティア」



ソフトキー	説明
≪カードをめくる≫	山札からカードをめくる
≪メニュー≫	「新しいゲーム」：新しいゲームを始める 「カードをめくる」：カードをめくる

使いこなしチェック!

設定

- サウンドを再生するかどうか設定する（☞P.12-11）
- ゲストモードを使用するかどうかを設定する（☞P.12-11）
- ゲームのスタイルを変更する（☞P.12-11）
- バルーンの色を変更する（☞P.12-11）

便利な機能

便利

音楽再生に関する便利な機能

ファイルの詳細情報を確認したい

≪スタート≫→「Windows Media」→「マイ ミュージック」→「すべての音楽」→ファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

- 音楽再生画面で≪メニュー≫→「プロパティ」を選択しても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルを再生リストから削除したい

≪スタート≫→「Windows Media」→「再生リスト」→再生リストを選択→削除したいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「ライブラリから削除」

再生リストを削除したい

≪スタート≫→「Windows Media」→「再生リスト」→削除したい再生リストを反転表示→≪メニュー≫→「ライブラリから削除」→≪はい≫

音楽の再生を停止したい

音楽再生画面で≪メニュー≫→「停止」

ランダム再生をするかどうか設定したい

音楽再生画面で≪メニュー≫→「ランダム再生／連続再生」→「ランダム再生」

連続再生をするかどうか設定したい

音楽再生画面で≪メニュー≫→「ランダム再生／連続再生」→「連続再生」

便利

動画再生に関する便利な機能

ファイルの詳細情報を確認したい

≪スタート≫→「Windows Media」→「マイ ビデオ」→「すべてのビデオ」→ファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

- 動画再生画面で≪メニュー≫→「プロパティ」を選択しても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルを再生リストから削除したい

≪スタート≫→「Windows Media」→「再生リスト」→再生リストを選択→削除したいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「ライブラリから削除」

再生リストを削除したい

≪スタート≫→「Windows Media」→「再生リスト」→削除したい再生リストを反転表示→≪メニュー≫→「ライブラリから削除」→「はい」

動画の再生を停止したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「停止」

ランダム再生をするかどうか設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「ランダム再生／連続再生」→「ランダム再生」

連続再生をするかどうか設定したい

動画再生画面で≪メニュー≫→「ランダム再生／連続再生」→「連続再生」

便利

フォトスライドに関する便利な機能

再生対象の表示を変更したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「フォトスライド」→≪メニュー≫→「表示」→項目を選択

- チェックマークが付いている項目が表示されます。

特定の画像を回転させたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「フォトスライド」→フォルダ／アルバム内の画像を反転表示→≪メニュー≫→「左に回転」／「右に回転」

写真を削除したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「フォトスライド」→写真を反転表示→≪メニュー≫→「写真の削除」→≪はい≫

写真をアルバム間で移動／コピーしたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「フォトスライド」→写真を反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「切り取り」／「コピー」→ でアルバムを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「貼り付け」

便利

世界時計に関する便利な機能

設定した地域を解除したい

≪スタート≫→「ツール」→「世界時計」→地域を設定した世界時計を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪ OK ≫

世界時計の表示形式を変更したい

≪スタート≫→「ツール」→「世界時計」→≪メニュー≫→「表示設定」→項目を選択

サマータイムを設定したい

≪スタート≫→「ツール」→「世界時計」→≪メニュー≫→「サマータイムを適用する」／「サマータイムを適用しない」

現在の時刻設定を世界時計の時刻に変更したい

≪スタート≫→「ツール」→「世界時計」→地域を設定した世界時計を反転表示→≪メニュー≫→「現在の時刻を設定する」→≪決定≫

世界時計をホーム画面に表示したい

≪スタート≫→「ツール」→「世界時計」→≪メニュー≫→「ホーム画面として設定する」→≪ OK ≫

- ホーム画面のレイアウトが「Samsung マルチクロック」に変更されます。

便利

単位換算に関する便利な機能

換算元と換算後の単位を逆にしたい

≪スタート≫→「ツール」→「単位換算」→項目を選択→「単位」欄を反転表示→≪メニュー≫→「逆」

為替レートを確認したい

≪スタート≫→「ツール」→「単位換算」→「通貨」→≪メニュー≫→「対象レート」→「基準値」欄→基準にする通貨を選択

為替レートを変更したい

≪スタート≫→「ツール」→「単位換算」→「通貨」→≪メニュー≫→「対象レート」→「基準値」欄→基準にする通貨を選択→レートを変更したい通貨欄を反転表示→レートを入力→≪完了≫

通貨単位を追加したい

≪スタート≫→「ツール」→「単位換算」→「通貨」→≪メニュー≫→「対象レート」→≪メニュー≫→「料金に追加」→「名前」欄で通貨単位名を入力→「比率」欄でレートを入力→≪完了≫

追加した通貨単位を削除したい

≪スタート≫→「ツール」→「単位換算」→「通貨」→≪メニュー≫→「対象レート」→削除したい通貨単位欄を反転表示→≪メニュー≫→「削除する」→≪はい≫

便利

D- ディに関する便利な機能

記念日を編集したい

≪スタート≫→「ツール」→「D- ディ」→≪メニュー≫→「編集」→記念日の登録操作（➔P.7-13）

記念日を削除したい

≪スタート≫→「ツール」→「D- ディ」→削除したい記念日を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

- すべて削除する場合は、「すべて削除」→≪はい≫を選択してください。

記念日をカテゴリ別に表示したい

≪スタート≫→「ツール」→「D- ディ」→≪メニュー≫→「フィルター」→項目を選択

記念日を並べ替えたい

≪スタート≫→「ツール」→「D- ディ」→≪メニュー≫→「並べ替え」→項目を選択

分類項目を編集したい

≪スタート≫→「ツール」→「D- ディ」→≪メニュー≫→「分類項目の編集」→編集する分類項目を選択→アイコンを選択→≪メニュー≫→「名前の変更」→新しい分類項目名を入力→≪完了≫→≪完了≫

便利

検索ウィジェットに関する便利な機能

Microsoft の bing サービスにアクセスしたい

≪スタート≫→「検索ウィジェット」→≪メニュー≫→「ディレクトリ」→「検索ホーム」／「地図」／「Hotmail」／「メッセンジャー」／「スペース」→画面の指示に従って操作

地図をダウンロードしたい

≪スタート≫→「検索ウィジェット」→≪メニュー≫→「地図のダウンロード」→画面の指示に従って操作

検索ウィジェットを終了したい

≪メニュー≫→「終了」

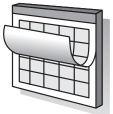
ビジネスツール

8

ビジネスツールについて

本機では、予定表や仕事、Office Mobile など様々なビジネスツールが用意されています。
この章では、本機に用意されているビジネスツールについて説明します。

予定表



予定を設定すると、一覧表示したり、アラームで事前にお知らせできます（➔P.8-3）。

アラーム



アラーム機能を設定できます（➔P.8-4）。

仕事



やることを仕事のリストとして登録して、進行を管理できます（➔P.8-5）。

ボイスメモ



音声を録音／再生できます（➔P.8-6）。

Word Mobile

Word ファイルを閲覧・編集できます（➔P.8-7）。

Excel® Mobile

Excel ファイルを閲覧・編集できます（➔P.8-8）。

PowerPoint® Mobile

PowerPoint ファイルのスライドショーを実行できます（➔P.8-9）。

OneNote® Mobile

OneNote ファイルを閲覧・編集、新規作成できます（➔P.8-10）。

Adobe® Reader® LE

PDF ファイルを閲覧できます（➔P.8-11）。

タスクマネージャー



起動したままになっているプログラムを終了できます（➔P.8-12）。

予定表

予定を登録して、指定したタイミングでアラーム音を鳴らしたり、画面表示でお知らせすることができます。

予定を登録する

1 ≪スタート≫→「予定表」

2 ≪メニュー≫→「新しい予定」

3 以下の項目を設定する

項目	説明
件名	予定の見出しを入力。
開始日	予定の開始日を設定。
開始時刻	予定の開始時刻を設定。
終了日	予定の終了日を設定。
終了時刻	予定の終了時刻を設定。
終日イベント	終日の予定の場合にチェックマークを付けます。
場所	場所を入力します。
出席者	メールで予定を通知したい場合に、連絡先から相手を指定します。
アラーム	なし／1分／5分／10分／15分／30分／1時間／1日／1週間のいずれかを設定。
パターン	定期的な予定（毎週／毎月／毎年）として設定できます。
公開方法	予定あり／外出中／空き時間／仮の予定のいずれかを設定。
秘密度	標準／個人／プライベート／社外秘のいずれかを設定。
メモ	補足や参考情報など、メモを入力できます。

- 事前のお知らせが不要の場合は、「アラーム」欄に「なし」を選択します。この場合、予定開始日時にアラーム音が鳴ります。

4 ≪完了≫

- 登録した予定の時間が他の予定と重なっていると、予定一覧の画面に が表示されます。

予定を確認する

1 ≪スタート≫→「予定表」

2 ≪週≫／≪月≫／≪予定一覧≫を押して、予定表の表示を切り替える

- 週→月→日単位（予定一覧）の順に予定の表示単位が切り替わります。

- ≪メニュー≫から予定の表示単位を切り替えることもできます。
- 月単位の表示で、予定を選択すると、日単位の表示に切り替わります。

予定を削除する

1 ≪スタート≫→「予定表」

2 削除する予定を反転表示→≪メニュー≫→「予定の削除」

3 ≪はい≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-13

- 出席者へメールを送信したい
- 事前にアラームで通知したい
- 毎週／毎月／毎年の予定を登録したい
- 予定を変更したい
- 既定の表示を変更したい
- vCalendar として予定を送信したい

設定

- 既定の画面を設定する（☞P.12-12）
- 週の初日の曜日を設定する（☞P.12-12）
- 週単位の表示を設定する（☞P.12-12）
- 月単位の表示を設定する（☞P.12-12）
- アラームを設定する（☞P.12-12）
- 会議出席依頼の送信方法を設定する（☞P.12-12）

アラーム

アラームは、「目覚ましアラーム」と「アラーム」があります。時刻などを登録しておけば、「オン」または「オフ」に切り替えるだけで設定や解除ができます。1回限りの起動だけでなく、毎日起動したり、週末を除いて起動する登録もできます。

目覚ましアラームを設定／解除する

曜日ごとのアラームを 3 パターン登録できます。
たとえば、

- 月：6：00
- 火〜金：6：30
- 土日：8：00

といった設定ができます。
ここでは例として、火曜日から金曜日に6：30 のアラームを設定します。

設定する

1. ≪スタート≫→「ツール」→「アラーム」→「目覚ましアラーム」
2. 1 つめの時刻設定のチェックボックスを選択
3. [ボタン] →「06」を入力→ [ボタン] →「30」を入力
4. 月／土／日を選択
5. 「アラーム音」欄を選択して着信音を設定
6. 「再通知」欄を選択して再通知を設定
7. 「種類」欄を選択して種類を設定
8. 「音量」欄を選択して音量を設定
9. ≪完了≫

- アラームはプロファイルを「サイレント」や「バイブ」に設定していても音が鳴ります。
- 「目覚ましアラーム」では、バイブレータを設定できません。バイブレータで通知する場合は、「アラーム」を設定してください。
- アラーム設定時刻に通話中や呼び出し中だったときは、表示でお知らせします。
- アラームを設定すると、ディスプレイに [ベルのアイコン] が表示されます。

解除する

1. ≪スタート≫→「ツール」→「アラーム」→「目覚ましアラーム」
2. ≪メニュー≫→「すべてのチェックを解除」
3. ≪完了≫

アラームを設定／解除する

1. ≪スタート≫→「ツール」→「アラーム」
2. [ボタン] でアラーム設定を反転表示→≪編集≫
   - [ボタン] で編集画面を表示することもできます。
3. 編集終了後、≪完了≫

- アラームでは、プロファイルに「バイブ」を設定していると、音量が「オフ」でも、バイブレータで通知されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-14

- 目覚ましの曜日をまとめて設定したい
- 同一曜日に複数パターンで設定したい
- 設定したチェックをすべて解除したい
- ボイスメモの録音をアラーム音に設定したい

仕事

期限や優先度を設定して、仕事を管理できます。期限が近くなったらアラームで通知したり、終了している仕事にチェックマークをつけて、仕事の進行を把握することができます。

新しい仕事を登録する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「仕事」

2 ≪メニュー≫→「新しい仕事」

- 画面上部の「ここに新しい仕事を入力します」を反転表示→件名を入力→ でも新規の仕事を追加できます。

3 以下の項目を設定する

項目	説明
件名	仕事の見出しを入力。
優先度	標準／低／高のいずれかを設定。
状態（□終了）	終了した場合に、チェックマークを付けます。
開始日	仕事の開始日を入力。
期限	仕事の期限を入力。
パターン	定期的な仕事（毎週／毎月／毎年）として設定できます。
アラーム	アラームを通知する場合にチェックマークを付けて、日付と時刻を設定します。
分類項目	仕事の分類を設定すると、「フィルター」のメニューで該当項目を指定して、一覧表示を絞り込むことができます。
秘密度	標準／個人／プライベート／社外秘のいずれかを設定。
メモ	補足や参考情報など、メモを入力できます。

4 ≪完了≫

- 「高」または「低」の優先度を設定すると、（高）（低）が表示されます。

仕事を削除する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「仕事」

2 削除する仕事を反転表示→≪メニュー≫→「仕事の削除」

3 ≪はい≫

- パターンとして設定した仕事を削除するときは、≪すべて≫または≪今回のみ≫を選択します。

仕事のオプション設定

1 ≪スタート≫→「ツール」→「仕事」

2 ≪メニュー≫→「オプションの表示 ...」

3 以下の項目を設定

項目	説明
新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事の登録時に、開始日または期限を設定した場合に、アラームを自動的に設定します。
開始日と期限を表示する	仕事のリスト表示に開始日と期限を表示します。

4 ≪完了≫

仕事を終了にする

1 ≪スタート≫→「ツール」→「仕事」

2 仕事を反転表示→≪作業の終了≫

- 仕事を選択すると、作業中から作業の終了にすることができます。

仕事を送信する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「仕事」

2 送信する仕事を反転表示

3 ≪メニュー≫→「仕事をビームする」

4 送信先の Bluetooth デバイスを反転表示→≪ビーム≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-14

- 作業中の仕事だけを表示したい
- 終了した仕事だけを表示したい
- 期限が近い順に表示したい

ボイスメモ

注意

- 録音できる件数と録音時間は、メモリ容量によって異なります。

録音する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「ボイスメモ」

2 ≪録音≫→≪停止≫

3 名前を変える場合は≪メニュー≫→「名前の変更」

4 「名前」欄で名前を入力→「完了」

再生する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「ボイスメモ」

2 ≪メニュー≫→「再生」

- 対象を選択しても再生できます。

削除する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「ボイスメモ」

2 対象を反転表示→≪メニュー≫→「削除」

3 ≪はい≫

着信音に設定する

1 ≪スタート≫→「ツール」→「ボイスメモ」

2 対象を反転表示→≪メニュー≫→「着信音に設定」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-14

- 録音した音声のファイル名を変更したい
- 録音した音声ファイルをメールで送信したい
- 録音した音声ファイルを Bluetooth で送信したい

Word Mobile

パソコンで作成した Word ファイルを閲覧・編集できます。
なお、新規にファイルを作成することはできません。

注意

- ファイルを保存したときに、Word Mobile ではサポートされていない内容や書式が失われる可能性があります。

起動する／ファイルを開く

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Word Mobile」

2 対象のファイルを選択

- ファイルを反転表示→≪選択≫を選択してもファイルを開くことができます。
- エクスプローラーから直接 Word ファイルを開くこともできます。
- 画面表示の拡大率を、≪表示≫から変更することができます。

3 ファイルを編集する場合は、≪メニュー≫→「編集」

4 編集が終了したら、≪メニュー≫→「ファイルを閉じる」

5 ≪はい≫

- 編集内容を保存しない場合は、≪いいえ≫を選択します。

編集時のメニュー

Word ファイル編集時に、≪メニュー≫から以下の機能を利用できます。

項目		説明
ファイルを閉じる		開いているファイルを閉じます。
プレビュー		編集可能な状態を終了して、編集結果を表示します。
ファイル	名前を付けて保存 ...	編集中のファイルに名前を付けて別のファイルに保存します。
	送信 ...	電子メールに添付して送信します。
スクロール	ページ単位	1 ページずつスクロールします。
	行単位	1 行ずつスクロールします。

項目		説明
検索 ...		検索画面を表示します。
書式	太字／斜体／下線／蛍光ペン	文字を太字や斜体にしたり、文字の背景に色を付けたりします。
元に戻す		操作を 1 つ前の状態にします。
やり直し		元に戻した操作を再度行います。
バージョン情報		Word Mobile のバージョン情報を表示できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-15

- メモリカードのファイルを開きたい
- ファイルのサイズと作成日を調べたい
- 画面スクロールをページ単位にしたい
- メールに添付して送信したい

Excel Mobile

パソコンで作成した Excel ファイルを閲覧・編集できます。
なお、新規にファイルを作成することはできません。

注意

- ファイルを保存したときに、Excel Mobile ではサポートされていない内容や書式が失われる可能性があります。

起動する／ファイルを開く

1. **≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」**

2. **対象のファイルを選択**
   - ファイルを反転表示→≪選択≫を選択してもファイルを開くことができます。
   - エクスプローラーから直接 Excel ファイルを開くこともできます。

3. **表示倍率を変更したり、ファイルを編集する場合は、[左ソフトキー] または [右ソフトキー] を押して、≪表示≫または≪メニュー≫を表示**
   - 画面表示の拡大率を、≪表示≫→「ズーム」から変更することができます。

4. **≪メニュー≫→「編集」**
   - セル内容の編集、セルの削除、文字のコピー／貼り付けなどの編集ができます。

5. **編集が終了したら、≪メニュー≫→「ファイルを閉じる」**

6. **≪はい≫**
   - 編集内容を保存しない場合は、≪いいえ≫を選択します。

編集時のメニュー

Excel ファイル編集時に、≪メニュー≫から以下の機能を利用できます。

項目		説明
ファイルを閉じる		開いているファイルを閉じます。
プレビュー		編集可能な状態を終了して、編集結果を表示します。
ファイル	名前を付けて保存 ...	編集中のファイルに名前を付けて別のファイルに保存します。
	送信 ...	電子メールに添付して送信します。

項目		説明
編集	セルの編集	セルを編集可能な状態にします。
	セルのクリア	セルの内容や設定を消去します。
	名前の定義...	セルに名前と参照範囲を定義します。
	セルの削除...	セルを削除して、左方向または上方向に詰めます。
	切り取り／コピー／貼り付け	文字を切り取ったり、コピーして、貼り付けます。
挿入	行／列	行または列を挿入します。
	右方向にシフト／下方向にシフト	既存のセルを右方向または下方向に移動して、新たなセルを挿入します。
選択	セル／行／列／すべて	セル、行、または列を選択します。すべてのセルを選択することもできます。
ツール	並べ替え ...	指定したキーを基準にして、セルを並べ替えます。
	検索 ...	指定した条件で文字列を検索します。
	ジャンプ ...	指定したセルにジャンプします。
元に戻す		操作を 1 つ前の状態にします。
やり直し		元に戻した操作を再度行います。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-15

- メモリカードのファイルを開きたい
- ファイルのサイズと作成日を調べたい
- 特定のセルにジャンプしたい
- シートを切り替えたい
- メールに添付して送信したい

PowerPoint Mobile

パソコンで作成した PowerPoint ファイルを、スライドショーで閲覧できます。なお、ファイルを編集することはできません。

起動する／ファイルを開く

1 ≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」

2 対象のファイルを選択

- ファイルを反転表示→≪選択≫を選択してもファイルを開くことができます。
- エクスプローラーから直接 PowerPoint ファイルを開くこともできます。
- 終了する場合は、 または を押して、≪終了≫を選択します。

スライドショーの操作

PowerPoint のファイルは、スライドショーの状態で開きます。

- ・[key] で、次／前のスライドに切り替わります。
- • [key] を押すと、表示を拡大したり、通常に戻すことができます。

ソフトキーを押して表示される≪メニュー≫から、次の機能を利用できます。

項目	説明
次へ	次のスライドを表示します。
前へ	前のスライドを表示します。
スライドへジャンプ	指定したスライド番号を表示します。
目的別スライドショー	ファイルに保存されている目的別スライドショーの設定を実行します。
拡大／縮小	表示しているスライドを拡大したり、拡大表示を通常の表示に戻します。
オプション ...	スライドの向きや再生オプションを設定できます。
リンクの表示	スライドに URL などのリンクが存在する場合、そのリンクを選択できるようにします。
名前を付けて保存 ...	名前を付けて別のファイルに保存します。
バージョン情報	PowerPoint Mobile のバージョン情報を表示します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-16

- メモリカードのファイルを開きたい
- ファイルのサイズと作成日を調べたい
- 素早く表示を拡大／縮小したい
- オプションの設定を無効にして再生したい

OneNote Mobile

パソコンで作成した OneNote ファイルを開いて、閲覧・編集したり、新規に OneNote ファイルを作成することができます。

注意

• ファイルを保存したときに、OneNote Mobile ではサポートされていない内容や書式が失われる可能性があります。

起動する／ファイルを開く

1. ≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「OneNote Mobile」
2. ≪新規作成≫、またはファイルを選択
3. 内容を入力（編集）→≪完了≫

ファイルリスト画面のメニュー

OneNote Mobileのファイルリスト画面では≪メニュー≫から以下の機能を利用できます。

項目	説明
削除	ファイルを削除します。
名前の変更	ファイル名を変更します。
オプション	ファイルの並び順を変更します。
バージョン情報	OneNote Mobileのバージョン情報を表示します。

編集時のメニュー

OneNoteファイル編集時に≪メニュー≫から以下の機能を利用できます。

項目		説明
元に戻す		編集操作を1つ前の状態に戻します。
やり直し		「元に戻す」の操作を行う前の状態に戻します。
書式	太字／斜体／下線／取り消し線	文字を太字や斜体にしたり、訂正線を付けたりします。
	すべてクリア	文字修飾を解除します。
リスト	段落番号／箇条書き	箇条書きの書式を指定します。
	クリア	箇条書きの書式指定を解除します。
画像撮影		カメラで静止画像を撮影して挿入します。
画像の挿入		保存されている静止画を挿入します。
サウンドの挿入		音声を録音して挿入します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-16

- OneNoteファイル作成時に撮影した画像を取り出したい
- 並び順を設定する

Adobe Reader LE

PDFファイルを閲覧することができます。なお、新規にファイルを作成したり、編集することはできません。

起動する／ファイルを開く

1. ≪スタート≫→「アプリケーション」→「Adobe Reader LE」
   - 初回起動時は、フォルダー一覧が表示され、「マイデバイス」フォルダが反転表示されます。 でフォルダを開き、 でフォルダを反転表示します。
   - 2回目以降起動時は、最近開いたファイルの一覧が表示されます。 でファイルを反転表示します。一覧にないファイルを開く場合は、≪参照≫を選択します。フォルダー一覧が表示され、「マイデバイス」フォルダが反転表示されます。
2. PDFファイルを選択
   - を押すと、前／次ページを表示することができます。

Adobe Reader LE のメニュー

PDF ファイル表示中に、≪ツール≫と≪メニュー≫で以下の機能を利用できます。

■≪ツール≫

項目		説明
ズーム	イン	拡大表示
	アウト	縮小表示
	ズーム %	倍率を指定して拡大／縮小
	全体表示	全体表示
	幅に合わせる	幅に合わせる
移動	ページ番号	ページ番号を入力して移動
	次のページ	次のページに移動
	前のページ	前のページに移動
	最初のページ	先頭のページに移動
	最後のページ	最後のページに移動

■≪メニュー≫

項目	説明
開く	最近開いたファイルの一覧が表示されます。[キー]でファイルを反転表示→[キー]でファイルを開くことができます。この画面で≪参照≫から別のファイルを選択することもできます。
Adobe Reader について	Adobe Reader LE のバージョン情報を表示します。
終了	Adobe Reader LE を終了します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-16

- ページの拡大／縮小を素早く行いたい
- ページの切り替えを素早く行いたい

タスクマネージャー

起動中のタスク（プログラムやプロセス）を一覧表示して、不要なタスクを終了することができます。

タスクを終了する

1. **≪スタート≫→「アプリケーション」→「タスクマネージャー」**
   - [キー]を押して、クイックリストからタスクマネージャーを起動することもできます。
2. **対象のタスクを反転表示→≪タスクの終了≫**

タスクマネージャーのメニュー

タスクマネージャーの≪メニュー≫から以下の機能を利用できます。

項目		説明
切り替え		選択したアプリケーションに、画面表示を切り替えます。
すべてのタスクの終了		すべてのタスクを終了します。
表示	プログラム／プロセス	プログラムとプロセスの表示を切り替えます。
並べ替え	メモリ／CPU／名前	選択した項目で並び順を変更します。
最新の情報に更新		表示を最新の状態にします。
終了		タスクマネージャーを終了します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.8-17

- タスクマネージャーを素早く起動したい
- 起動しているプロセスをすべて表示したい
- 起動しているタスクをすべて終了したい

便利な機能

便利

予定表に関する便利な機能

出席者へメールを送信したい

予定に出席者を連絡先から指定すると、予定の内容を電子メールで送信できます。

≪スタート≫→「予定表」→≪メニュー≫→「新しい予定」→「出席者」欄で項目を選択→≪完了≫→≪完了≫

事前にアラームで通知したい

≪スタート≫→「予定表」→≪メニュー≫→「新しい予定」→「アラーム」欄で項目を選択→≪完了≫

毎週／毎月／毎年の予定を登録したい

毎週／毎月／毎年（パターン）の予定は、操作時の日付・曜日で設定されます。操作時とは異なる日付・曜日の予定は、いったん設定してから、まとめて変更できます。

■パターンの予定を設定するとき

≪スタート≫→「予定表」→≪メニュー≫→「新しい予定」→「パターン」欄で毎週／毎月／毎年のいずれかを指定→≪完了≫

■パターンの予定をまとめて変更するとき

≪スタート≫→「予定表」→パターンの予定を一覧表示から選択→≪メニュー≫→「編集」→≪すべて≫→「開始日」欄を変更→≪完了≫

予定を変更したい

≪スタート≫→「予定表」→予定一覧から予定を選択→≪メニュー≫→「編集」→内容を変更→≪完了≫

既定の表示を変更したい

≪スタート≫→「予定表」→≪メニュー≫→「ツール」→「オプション」→「既定の画面」欄／「週の最初の曜日」欄／「週単位の表示」欄などを変更→≪完了≫

vCalendarとして予定を送信したい

≪スタート≫→「予定表」→日単位（予定一覧）または週単位の表示→予定を反転表示→≪メニュー≫→「vCalendarとして送信」→S!メールに添付して送信（➔P.4-6「S!メールを作成・送信する ❷」）

便利

アラームに関する便利な機能

目覚ましの曜日をまとめて設定したい

目覚ましアラームで設定したいパターンの行を反転表示→≪メニュー≫→「すべての日付をチェック」／「月～金をチェック」／「月～土をチェック」／「土日をチェック」を選択→反転表示したパターンの曜日にチェックが付き、他のパターンの曜日のチェックが外れる→≪完了≫

同一曜日に複数パターンで設定したい

目覚ましアラームで設定したいパターンの曜日を選択

設定したチェックをすべて解除したい

目覚ましアラームで≪メニュー≫→「すべてのチェックを解除」→≪完了≫

ボイスメモの録音をアラーム音に設定したい

ボイスメモで音声ファイルを着信音に設定しておくと、アラームの設定をする際に、着信音に録音した音声ファイルを選択できます。

ボイスメモで着信音を設定する手順は、以下のとおりです。

- ≪スタート≫→「ツール」→「ボイスメモ」→音声ファイルを反転表示→≪メニュー≫→「着信音に設定」→≪ OK ≫

便利

仕事に関する便利な機能

作業中の仕事だけを表示したい

≪スタート≫→「ツール」→「仕事」→≪メニュー≫→「フィルター」→「作業中のタスク」

終了した仕事だけを表示したい

≪スタート≫→「ツール」→「仕事」→≪メニュー≫→「フィルター」→「終了したタスク」

期限が近い順に表示したい

≪スタート≫→「ツール」→「仕事」→≪メニュー≫→「並べ替え」→「期限」

便利

ボイスメモに関する便利な機能

録音した音声のファイル名を変更したい

≪スタート≫→「ツール」→「ボイスメモ」→対象のファイルを反転表示→≪メニュー≫→「名前の変更」→「名前」欄を変更→≪完了≫

- 音声のファイルは、My Documents フォルダ内の Notes フォルダに格納されています。このフォルダのファイル名をエクスプローラーで反転表示して、≪メニュー≫→「編集」→「名前の変更」で名前を変更することもできます。

録音した音声ファイルをメールで送信したい

音声のファイルは、My Documents フォルダ内の Notes フォルダに格納されています。

エクスプローラーで Notes フォルダを表示→ファイルを反転表示→≪メニュー≫→「送信」→「S! メール」→ S! メールに添付して送信（➲P.4-6「S! メールを作成・送信する❷」）

録音した音声ファイルを Bluetooth で送信したい

音声のファイルは、My Documents フォルダ内の Notes フォルダに格納されています。

エクスプローラーで Notes フォルダを表示→ファイルを反転表示→≪メニュー≫→「ビーム ...」→送信先を反転表示→≪ビーム≫

便利

Word Mobile に関する便利な機能

メモリカードのファイルを開きたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Word Mobile」→≪メニュー≫→「メモリカード」→ファイルを選択

ファイルのサイズと作成日を調べたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Word Mobile」→調べたいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」→「サイズ」欄、「作成日時」欄を確認

画面スクロールをページ単位にしたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Word Mobile」→対象のファイルを反転表示→≪選択≫→≪メニュー≫→「スクロール」→「ページ単位」

メールに添付して送信したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Word Mobile」→送信するファイルを反転表示→≪選択≫→≪メニュー≫→「ファイル」→「送信 ...」→「S! メール」→S! メールに添付して送信（➔P.4-6「S! メールを作成・送信する ❷」）

便利

Excel Mobile に関する便利な機能

メモリカードのファイルを開きたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」→≪メニュー≫→「メモリカード」→ファイルを選択

ファイルのサイズと作成日を調べたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」→調べたいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」→「サイズ」欄、「作成日時」欄を確認

特定のセルにジャンプしたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」→対象のファイルを反転表示→≪選択≫→[キー]または[キー]→≪メニュー≫→「ジャンプ ...」→「セル参照または名前」欄を入力→≪ OK ≫

シートを切り替えたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」→対象のファイルを反転表示→≪選択≫→[キー]または[キー]→≪表示≫→「シート」→シート名を選択

メールに添付して送信したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」→送信するファイルを反転表示→≪選択≫→[キー]または[キー]→≪メニュー≫→「ファイル」→「送信 ...」→「S! メール」→S! メールに添付して送信（➔P.4-6「S! メールを作成・送信する ❷」）

便利 PowerPoint Mobileに関する便利な機能

メモリカードのファイルを開きたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」→≪メニュー≫→「メモリカード」→ファイルを選択

ファイルのサイズと作成日を調べたい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」→調べたいファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」→「サイズ」欄、「作成日時」欄を確認

素早く表示を拡大／縮小したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」→対象のファイルを反転表示→≪選択≫→[■]

- 繰り返し[■]を押すと、表示の拡大／縮小が切り替わります。

オプションの設定を無効にして再生したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」→対象のファイルを反転表示→≪選択≫→[左ソフトキー]または[右ソフトキー]→≪メニュー≫→「オプション...」→「再生オプション」の項目を設定→≪完了≫

便利 OneNote Mobileに関する便利な機能

OneNoteファイル作成時に撮影した画像を取り出したい

OneNoteファイルを開く→画像を選択→≪メニュー≫→「画像のエクスポート」→≪OK≫（My Picturesフォルダに保存される）

- ≪OK≫のとき、表示されるファイル名を控えておき、エクスプローラーでMy Picturesフォルダから取り出します（メモリカードにコピー、電子メール送信、ビームなど）。

並び順を設定する

≪スタート≫→「アプリケーション」→「Office Mobile」→「OneNote Mobile」→≪メニュー≫→「オプション」→「ノートの並べ替え」欄で並び替え項目を選択→≪完了≫

便利 Adobe Reader LEに関する便利な機能

ページの拡大／縮小を素早く行いたい

PDF表示時に、以下のキーで表示倍率を変更することができます。

[1]：拡大

[2]：全体表示

[3]：縮小

ページの切り替えを素早く行いたい

PDF表示時に、以下のキーでページを変更することができます。

[4]：前ページ

[6]：次ページ

便利

タスクマネージャーに関する便利な機能

タスクマネージャーを素早く起動したい

→「タスクマネージャー」

起動しているプロセスをすべて表示したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「タスクマネージャー」→≪メニュー≫→「表示」→「プロセス」

- を押して、タスクマネージャーを起動することもできます。

起動しているタスクをすべて終了したい

≪スタート≫→「アプリケーション」→「タスクマネージャー」→≪メニュー≫→「すべてのタスクの終了」→≪はい≫

- を押して、タスクマネージャーを起動することもできます。

メモ

セキュリティ

9

セキュリティ機能について

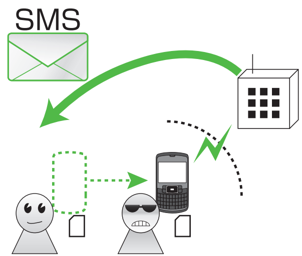
本機では、安全＆安心にご使用していただくために、様々なセキュリティ機能をご用意しています。

暗証番号によるロック



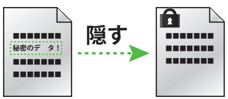
ロックを解除しない限り、本機の操作を禁止／制限します。
Windows Mobile 端末独自のデバイスロックの機能があります。他の携帯電話と同様に、PIN コード、USIM パスワードを使ったものもあります（➔P.9-4）。

Mobile Tracker



本機が他の USIM で使用された場合に、登録したソフトバンク携帯電話に SMS が送信されます（➔P.9-6）。

暗号化



メモリカードの内容を暗号化して保護します（➔P.9-6）。

お買い上げ時の状態に戻す

連絡先などの登録情報を消去したり、各機能での設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます（➔P.9-7）。

暗証番号の変更

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「0000」に設定されています。

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「次へ ...」→「リセットパスワードの変更」
2. 「古いパスワード」欄に現在の操作用暗証番号を入力
3. 「新しいパスワード」欄に新しい操作用暗証番号（4 桁）を入力
4. 「新しいパスワードの確認」欄にもう一度新しい操作用暗証番号を入力→≪完了≫→≪ OK ≫

PIN コードを変更する

- PIN コードを変更する場合には、「PIN コード認証」を有効にします（➔P.9-4）。

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「SIM カード暗証番号（PIN）の変更」
2. 「古い暗証番号（PIN）」欄に現在の PIN コードを入力
3. 「新しい暗証番号（PIN）」欄に新しい PIN コード（4 ～ 8 桁）を入力
4. 「新しい暗証番号(PIN)の確認」欄にもう一度新しい PIN コード(4～8桁)を入力→≪完了≫

PIN2 コードを変更する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「暗証番号（PIN）2 を変更する」
2. 「古い暗証番号（PIN)」欄に現在の PIN2 コードを入力
3. 「新しい暗証番号（PIN)」欄に新しい PIN2 コード（4 ～ 8 桁）を入力
4. 「新しい暗証番号(PIN)の確認」欄にもう一度新しいPIN2コード(4～8桁)を入力→≪完了≫

暗証番号によるロック

本機では、暗証番号によるロックの方法として次の方法を用意しています。

- デバイスロック
- PIN コード認証
- USIM 照合

デバイスロックを設定／解除する

設定した時間経過したときや、 を長押しするか、ディスプレイ消灯時に、デバイスロック解除用パスワードの入力が必要になります。

- デバイスロック用パスワードを入力するまで、電話を受けるなど一部の操作以外行えません。

設定する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「デバイスのロック」
2. 「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックをつけ、 で時間を選択
3. 「パスワードの種類」欄で で種類を選択
   - ■4 文字以上 32 文字までの複雑な番号の組み合わせでパスワードを設定するとき
     「数字の簡易パスワード」
   - ■7 文字以上、かつ英字、数字、区切り記号を少なくとも 3 文字含めたパスワードを設定するとき
     「強力な英数字のパスワード」
4. 「パスワード」欄にデバイスロック解除用パスワードを入力
5. 「パスワードの確認入力」欄に再度デバイスロック解除用パスワードを入力
6. ≪完了≫→≪はい≫
   - 一度設定すると、デバイスロックの設定を変更するときには、デバイスロックを解除する必要があります。

解除する

1. ホーム画面で≪ロックの解除≫
2. デバイスロック解除用パスワードを入力→≪ロックの解除≫

PIN コード認証を設定／解除する

PIN コードは USIM カードの暗証番号です。USIM カードについて詳しくは「USIM カードのお取り扱い」(➔P.1-6)を参照してください。
電源を入れるたびに PIN コードによる認証をするようにしたい場合は、SIM カード暗証番号（PIN）を有効にします。

設定する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」
2. 「SIM カード暗証番号（PIN）を有効にする」
3. PIN コードを入力→≪完了≫

解除する

PIN コードまたは PIN2 コードの入力を 3 回続けて間違えると、PIN ロックまたは PIN2 ロックが設定され、本機の使用が制限されます。PIN ロックまたは PIN2 ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1. PIN ロック解除コード（PUK コード）の入力画面が表示されている状態で「ブロック解除コード」欄にPUK コードを入力
2. 「新しい暗証番号（PIN)」欄に新しい PIN コード／PIN2 コード（4 桁）を入力
3. 「新しい暗証番号（PIN）の確認」欄にもう一度新しいPIN コード／ PIN2 コード（4 桁）を入力→≪完了≫→≪ OK ≫

注意

- PIN ロック解除コードまたは PIN2ロック解除コード（PUK/PUK2 コード）については、お問い合わせ先（➲P.13-20）までご連絡ください。
- PIN ロック解除コードを 10 回続けて間違えると、USIM カードがロックされます（途中で電源を切っても連続として数えます)。
- USIM カードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先(➲P.13-20)までご連絡ください。

USIM 照合を設定／解除する

本機に他の USIM カードが取り付けられたとき、USIM パスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

設定する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」
2. 「SIM のロックを有効にする」
3. USIM パスワード（4 桁の任意の番号）を入力→≪完了≫
4. 再度 USIM パスワード（4 ～ 8 桁の任意の番号）を入力→≪完了≫

- USIM パスワードとは、USIM カードの認証に使用する専用のパスワードです。USIM パスワードが一致すれば、他のUSIM カードでも本機を使用できます。USIM パスワードは、SIM のロックを有効にするたびに変更できます。

解除する

1. USIM パスワード入力画面でUSIM パスワードを入力
2. ≪完了≫

Mobile Trackerを利用する

本機が他のUSIMで使用された場合に、登録したソフトバンク携帯電話にSMSが送信されます。

注意

- USIMを抜いて本機を知人に貸与する前には、必ずMobile Trackerを解除してください。解除しないと、事前に設定されたソフトバンク携帯電話番号宛に知人の個人情報が転送される可能性があります。

設定する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「次へ ...」→「Mobile Tracker」
2. 操作用暗証番号を入力→≪完了≫
3. 「Mobile Trackerを有効にする」にチェックをつける
4. 「受信者」欄→「あて先」欄にSMSの送信先とする電話番号を、+(国際コード)、国番号、電話番号を全桁(先頭の0を除いた市外局番を含む)で入力
   - 送信先を2件まで入力できます。
5. 「送信者」欄に送信者名を入力→≪完了≫
6. メッセージを確認→≪はい≫→≪ OK ≫

解除する

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「次へ ...」→「Mobile Tracker」
2. 操作用暗証番号を入力→≪完了≫
3. 「Mobile Trackerを有効にする」のチェックを外す→≪完了≫

メモリカードを暗号化する

ファイルをメモリカードに保存する際、ファイルを暗号化するよう設定します。

1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「暗号化」
2. 「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックをつける→≪完了≫

注意

- 本機で暗号化されたファイルは、本機でのみ開くことができます。他の端末(X01SCも含む)やパソコンなどで開くことはできません。
- マスタークリアをすると、メモリカード内の暗号化されたファイルは一切読み取ることができなくなります。マスタークリアする前に、暗号化されたファイルをActiveSync®またはWindows Mobile®デバイスセンターでパソコンに保存してください。

お買い上げ時の状態に戻す（マスタークリア）

データフォルダ、メール、本機の連絡先、予定表、ユーザー辞書の登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「次へ ...」→「マスタークリア」

2 操作用暗証番号を入力→≪完了≫→≪はい≫

- メモリカードが挿入されている場合は、≪はい≫を選択する前に「デバイス」／「メモリカード」／「デバイスとメモリカード」を選択します。

- 削除される本体メモリのデータは以下のとおりです。
  - Outlook、SoftBank メールに保存されているメッセージ
  - 連絡先、仕事、予定表の内容
  - お客様が撮影し、本体メモリに保存されている静止画／動画
  - お客様がインストールしたプログラム
  - その他、お買い上げ以降に登録されたすべてのデータおよび設定内容
- USIM カードに登録されている連絡先や SMS は削除されません。

注意

- マスタークリアをすると、本機にインストールしたプログラム、入力したデータ、カスタマイズした設定などはすべて失われます。必要に応じてメモを取ったり、データをバックアップすることをおすすめします。
- マスタークリアをすると、メモリカード内の暗号化されたファイルは一切読み取ることができなくなります。マスタークリアする前に、暗号化されたファイルを ActiveSync® または Windows Mobile® デバイスセンターでパソコンに保存してください。

証明書を確認する

本機に保存されている個人証明書、中間証明書、ルート証明書の内容を確認することができます。

1 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「証明書」

2 項目を選択→証明書を選択

メモ

データ管理

10

コンテンツマネージャ

特定のフォルダの一覧が表示されます。任意のフォルダを追加することで、フォルダへのアクセスが容易に行えます。

コンテンツマネージャの起動

1 ≪スタート≫→「コンテンツマネージャ」



フォルダの初期構成について

フォルダ	説明
My Pictures	撮影した画像などが保存されます。
My Videos	撮影した動画などが保存されます。
My Sounds	ダウンロードした着信音などが保存されます。
Notes	ボイスメモで録音した音声が保存されます。
My Documents	My Documents フォルダを開きます。
マイデバイス	マイデバイスのフォルダを開きます。
Storage Card	メモリカードのフォルダを開きます。メモリカードを取り付けている場合のみ選択できます。

コンテンツマネージャへのフォルダの追加／削除

フォルダの追加

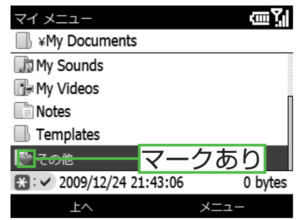
1 コンテンツマネージャで≪メニュー≫→「追加」

2 フォルダを開く→対象のフォルダを反転表示

- ≪メニュー≫→「最新の状態に更新」で、一覧が最新の状態に更新されます。

3 ≪選択≫

- 追加されているフォルダのアイコンにはマークが表示されます。



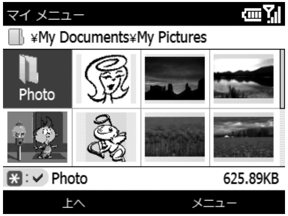
フォルダの削除

1 対象のフォルダを反転表示

2 ≪メニュー≫→「削除」

- 初期構成のフォルダは削除できません。

コンテンツマネージャのメニュー



コンテンツマネージャでフォルダを開いたあとは、≪メニュー≫を押すことにより、以下の操作ができます。

項目		説明
送信		
	S! メールの送信	ファイルを添付した S! メールを作成します。
	電子メール経由	ファイルを添付したインターネットメールを作成します。
	Bluetooth 経由	ファイルを Bluetooth® で他のデバイスに送信します。
設定		
	ホーム画面	選択した画像をホーム画面の壁紙に設定します。
	着信音	選択した音声、サウンド等を着信音に設定します。
	発信者番号通知	選択した画像を特定発信者の着信画像に設定します。
削除		ファイルやフォルダを削除します。
編集		
	エディタで開く	選択した画像をエディタで開きます。
	コピー／移動	ファイルやフォルダをコピーまたは移動します。
	名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
	新しいフォルダー	新しいフォルダーを作成します。
	Zip	選択したファイルまたはフォルダを Zip 圧縮します。
	選択（選択解除）	ファイルやフォルダを選択します。*でも選択／選択解除ができます。
	全てを選択（全てを選択解除）	表示しているフォルダ内のフォルダやファイルをすべて選択します。
写真を撮る		カメラがカメラモードで起動します。My Pictures フォルダを開いているときのみ表示されます。
ビデオを録画		カメラがビデオカメラモードで起動します。My Videos フォルダを開いているときのみ表示されます。
プレイビューリストに追加		Windows Media® Player のプレイリストに追加します。
スライドショーの再生		表示しているフォルダ内の画像ファイルをスライドショー再生します。
検索		ファイルを検索できます。
並べ替え		ファイルやフォルダを並べ替えます。
	名前	名前順に並べ替えます。
	日付	作成日付の古い順に並べ替えます。
	サイズ	サイズの小さい順に並べ替えます。
	種類	フォルダ、ファイルの種類順に並べ替えます。
プロパティ		ファイルやフォルダのプロパティ情報を確認します。
オプション		
	表示	ファイルやフォルダをアイコン／一覧で表示します。
	ズームモード	イメージビューアで画像ファイルを拡大表示するときに、下記のどちらを中心に拡大するかを選択します。 • 中央：画像の中央 • 正面：自動認識される人の顔
	スライドショー	スライドショー再生の設定をします。
	ショートカット	ショートカット操作の一覧が表示されます。
	バージョン情報	ファイルやフォルダを一覧で表示します。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルなど、一部のフォルダやファイルは削除できません。
- 一度削除したファイルは、元に戻すことができません。

ファイルを送信／転送する

ファイルを S! メールやインターネットメールに添付して送信したり、Bluetooth® で転送することができます。

1 フォルダを開く

2 対象のファイルを反転表示

3 ≪メニュー≫→「送信」

4 送信手段を選択

■ S! メールに添付するとき
「S! メールの送信」
以降の詳細については、➲P.4-5

■ インターネットメールに添付するとき
「電子メール経由」
以降の詳細については、➲P.4-10

■ Bluetooth® 通信で転送するとき
「Bluetooth 経由」
以降の詳細については、➲P.11-17

ファイル／フォルダのコピー／移動

ファイルやフォルダを別のフォルダにコピー／移動することができます。

1 フォルダを開く

2 対象のファイル／フォルダを反転表示

3 ≪メニュー≫→「編集」→「コピー / 移動」

4 でコピー / 移動かを選択



- やり直すには≪キャンセル≫

5 でコピー / 移動先のフォルダを反転表示

- でフォルダを開く / 閉じる

6 ≪選択≫

- フォルダをコピー／移動した場合、フォルダ内のファイルがすべてコピー／移動します。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルのコピー／移動はしないでください。

ファイル／フォルダの名前を変更する

1 フォルダを開く

2 対象のファイル／フォルダを反転表示

3 ≪メニュー≫→「編集」→「名前の変更」

4 名前を入力→≪完了≫

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの名前は変更しないでください。

新しいフォルダを作成する

現在のフォルダに新しいフォルダを作成します。

1. フォルダを開く
2. ≪メニュー≫→「編集」→「新しいフォルダー」
3. フォルダ名を入力→≪完了≫

ファイル／フォルダを圧縮する

1. フォルダを開く
2. 対象のファイルまたはフォルダを反転表示
3. ≪メニュー≫→「編集」→「Zip」
4. 「名前」欄に ZIP ファイル名を入力
   - ZIP ファイルの保存先フォルダを現在のフォルダから変更する場合は、「場所」欄の「...」を押し、フォルダを反転表示してから≪選択≫を押します。
5. ≪ Zip ≫

ファイルを検索する

1. フォルダを開く
2. ≪メニュー≫→「検索」
3. 「検索」欄に検索するファイル名の一部を入力
4. 「種類」欄で検索するファイルの種類を選択
5. 現在のフォルダ直下以外を検索する場合は、「場所」欄を選択し、フォルダを反転表示してから≪選択≫を押す
6. ≪検索≫
   - 検索結果の一覧が表示されます。

使いこなしチェック!

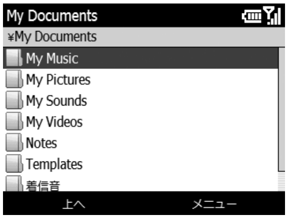
便利 ☞P.10-13

- 画像ファイルを各種の画面に設定したい
- サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい
- ファイルを削除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- サウンドファイルや動画ファイルをプレイリストに追加したい
- スライドショーを再生したい
- ファイルを並べ替えたい
- ファイルの詳細を確認したい
- 表示形式を変更したい

エクスプローラー

エクスプローラーの起動

1 ≪スタート≫→「エクスプローラー」



フォルダの構成について

フォルダ	説明
My Music	ダウンロードした楽曲などが保存されます。
My Pictures	撮影した画像などが保存されます。
My Sounds	ダウンロードした着信音などが保存されます。
My Videos	撮影した動画などが保存されます。
Notes	ボイスメモで録音した音声が保存されます。
Templates	
着信音	電話の着信音に設定したいファイルを保存します。

エクスプローラーのメニュー

エクスプローラでは、≪メニュー≫を押すことにより、以下の操作ができます。

項目	説明
送信	ファイルを添付したメールを作成します。
ビーム ...	ファイルを Bluetooth で他のデバイスに送信します。
編集	
切り取り	ファイルやフォルダを移動します。
コピー	ファイルやフォルダをコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーしたファイルやフォルダを貼り付けます。
削除	ファイルやフォルダを削除します。
名前の変更	ファイルやフォルダの名前を変更します。
新しいフォルダー	新しいフォルダを作成します。
プロパティ	ファイルやフォルダのプロパティ情報を確認します。
表示	
アイコン	ファイルやフォルダをアイコンで表示します。
リスト	ファイルやフォルダを一覧で表示します。
並べ替え	ファイルやフォルダを並べ替えます。
名前	名前順に並べ替えます。
日付	作成日付の古い順に並べ替えます。
サイズ	サイズの小さい順に並べ替えます。
種類	フォルダ、ファイルの種類順に並べ替えます。
マイデバイス	マイデバイスのフォルダを開きます。マイデバイスは、USIM カード内の保存領域です。
メモリカード	メモリカードのフォルダを開きます。メモリカードを取り付けている場合のみ表示されます。
My Documents	My Documents フォルダを開きます。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルなど、一部のフォルダやファイルは削除できません。
- 一度削除したファイルは、元に戻すことができません。

ファイルをメールで送信する

ファイルを S! メールやインターネットメールに添付して送信することができます。

1. フォルダを開く
2. 対象のファイルを反転表示
3. ≪メニュー≫→「送信」
4. メールのアカウントを選択
5. 宛先や件名、本文を入力しメール送信
   - 以降の詳細については、➲P.4-5「S! メールを作成・送信する」

ファイルを Bluetooth® で転送する

ファイルを Bluetooth® 通信で他のデバイスに転送することができます。

1. フォルダを開く
2. 対象のファイルを反転表示
3. ≪メニュー≫→「ビーム ...」→デバイスを反転表示→≪ビーム≫
   - 以降の詳細については、➲P.11-17「データを送信する」

ファイル／フォルダのコピー

ファイルやフォルダを別のフォルダにコピーすることができます。

1. フォルダを開く
2. 対象のファイル／フォルダを反転表示
3. ≪メニュー≫→「編集」→「コピー」
4. コピー先のフォルダを開く
5. ≪メニュー≫→「編集」→「貼り付け」

- フォルダをコピーした場合、フォルダ内のファイルがすべてコピーされます。

注意

- アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルのコピーはしないでください。

ファイル／フォルダの移動

ファイルやフォルダを別のフォルダに移動することができます。

1. フォルダを開く
2. 対象のファイル／フォルダを反転表示
3. ≪メニュー≫→「編集」→「切り取り」
4. 移動先のフォルダを開く
5. ≪メニュー≫→「編集」→「貼り付け」

・フォルダを移動した場合、フォルダ内のファイルがすべて移動されます。

注意

・アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの移動はしないでください。

ファイル／フォルダの名前を変更する

1. フォルダを開く
2. 対象のファイル／フォルダを反転表示
3. ≪メニュー≫→「編集」→「名前の変更」
4. 名前を入力

注意

・アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルの名前は変更しないでください。

新しいフォルダを作成する

現在のフォルダに新しいフォルダを作成します。

1. フォルダを開く
2. ≪メニュー≫→「編集」→「新しいフォルダー」
3. フォルダ名を入力

使いこなしチェック!

便利 ☞P.10-14

- ファイルを削除したい
- ファイルやフォルダの詳細を確認したい
- 表示形式を変更したい
- ファイルを並べ替えたい

ファイルの確認

エクスプローラーやコンテンツマネージャから静止画、動画、音楽、Office、PDF のファイルを開くことができます。

1 フォルダを開く

2 対象のファイルを選択

- 画像ファイル
  イメージビューアで表示されます。
- 動画、音楽ファイル、ボイスメモファイル
  Windows Media® Player Mobile で再生されます。詳細については、➲P.7-3
- Word ファイル
  Word Mobile で表示されます。詳細については、➲P.8-7
- Excel ファイル
  Excel Mobile で表示されます。詳細については、➲P.8-8
- PowerPoint ファイル
  PowerPoint® Mobile で表示されます。詳細については、➲P.8-9
- PDF ファイル
  Adobe® Reader LE で表示されます。詳細については、➲P.8-11

イメージビューアで画像ファイルを確認する

1 対象の画像ファイルを選択



イメージビューアでは、画像に対して以下の操作ができます。

ソフトキー	説明
：画像を表示	
（Q+）	拡大
（Q-）	縮小
	表示範囲移動
（≪全画面表示≫）：画像を全画面に表示	
（≪隠す≫）	メニューやファイル名を隠す
（≪縦／横≫）	画像を 90 度右に回転／元に戻す

≪メニュー≫から以下の操作ができます。

メニュー	説明
スライドショーの再生	画像ファイルのあるフォルダの画像をスライドショーとして再生します。
送信	
S! メールの送信	ファイルを添付した S! メールを作成します。
電子メール経由	ファイルを添付したインターネットメールを作成します。
Bluetooth 経由	ファイルを Bluetooth で他のデバイスに送信します。
設定	
ホーム画面	選択した画像をホーム画面の壁紙に設定します。
発信者番号通知	選択した画像を特定発信者の着信画像に設定します。
削除	画像ファイルを削除します。
イメージの編集	画像サイズを変更したり、一部を切り取ったり、画像効果を施すことができます。
編集	
コピー / 移動	画像ファイルをコピーまたは移動します。
名前の変更	画像ファイルの名前を変更します。
Bluetooth 経由で印刷	ファイルを Bluetooth® でプリンタに送信します。
プロパティ	ファイルのプロパティ情報を確認します。

・コピー／移動先にすでに同名のファイル／フォルダがある場合、置き換えないときには、ファイル／フォルダの名前をあらかじめ変更しておきます。

注意

・本機でダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや本機に異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。

使いこなしチェック!

便利☞P.10-14

● 表示している画像ファイルを削除したい
● Bluetooth® 対応のプリンタで画像を印刷したい
● 表示しているファイルの詳細を確認したい

メモリカード

本機はmicroSD™／microSDHC™メモリカードに対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販のmicroSD™／microSDHC™メモリカードを購入してください。

- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

・本機で利用するmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™メモリカードは、64Mバイト、128Mバイト、256Mバイト、512Mバイト、1Gバイト、2Gバイト、4Gバイト※、8Gバイト※、16Gバイト※のメモリカードを推奨します。
※ microSDHC™メモリカードのみ推奨

注意

・大切なデータを失わないためにメモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・microSD™／microSDHC™メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

メモリカードを初期化する

メモリカードを初期化すると、メモリカード内のデータが削除されます。本機で使用するメモリカードをご購入後は必ず本操作を行ってください。

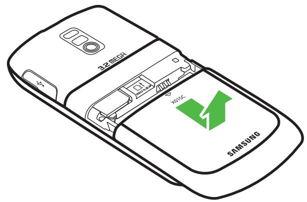
1. ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」→「次へ ...」→「マスタークリア」→操作用暗証番号を入力→≪完了≫→「メモリカード」→≪はい≫

メモリカードを取り付ける／取り外す

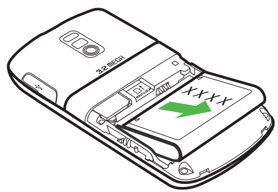
取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

取り付ける

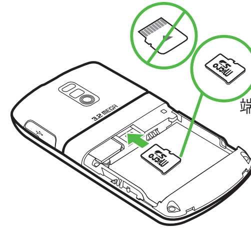
1. 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせ、取り外す



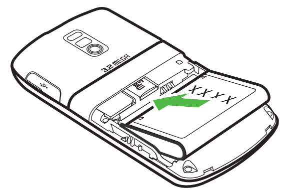
2. 電池パックを持ち上げて、取り外す



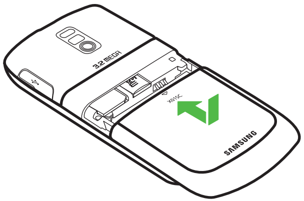
3. メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込む



4. 本機の突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける



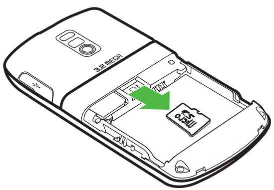
5 電池カバーを本体にかぶせ、矢印の方向にスライドさせる



取り外す

1 電池カバーと電池パックを取り外す(➲P.10-11「取り付ける 4 ～ 5 」)

2 メモリカードを取り出す



3 電池パックと電池カバーを取り付ける(➲P.10-11「取り付ける 4 ～ 5 」)

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや本機が破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないようにご注意ください。
- メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや本機が破損することがあります。

メモリカードの内容を確認する

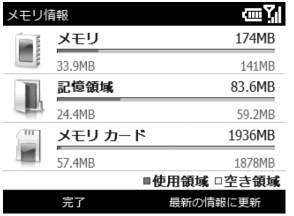
1 ≪スタート≫→「コンテンツマネージャ」

2 「Storage Card」

- メモリカードの内容を確認する際は、あらかじめ、メモリカードを取り付けておいてください。

メモリ容量を確認する

1 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「メモリ情報」



使いこなしチェック!

設定

● メモリの情報を確認する（☞P.12-14）

便利な機能

便利

コンテンツマネージャに関する便利な機能

画像ファイルを各種の画面に設定したい

≪メニュー≫→「設定」

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「ホーム画面」→ で表示領域を選択→≪次へ≫→ で透過率を選択→≪完了≫

■ **連絡先の着信画像に設定するとき**

「発信者番号通知」→設定したい連絡先を選択

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい

≪メニュー≫→「設定」→「着信音」→≪ OK ≫

- MPEG4 ファイルのオーディオコーデックが AAC、AAC+、Enhanced AAC+ の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

ファイルを削除したい

削除するファイルを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

静止画撮影モードのカメラを起動したい

≪メニュー≫→「写真を撮る」

- My Pictures フォルダを開いているときのみ起動できます。

動画撮影モードのカメラを起動したい

≪メニュー≫→「ビデオを録画」

- My Videos フォルダを開いているときのみ起動できます。

サウンドファイルや動画ファイルをプレイリストに追加したい

追加するファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プレイビューリストに追加」→≪ OK ≫

スライドショーを再生したい

≪メニュー≫→「スライドショーの再生」→（➔P.7-10）

ファイルを並べ替えたい

≪メニュー≫→「並べ替え」→項目を選択

- 次の項目で並べ替えができます。
  - ファイル名（「名前」）
  - 日付の古い順（「日付」）
  - ファイルのサイズの小さい順（「サイズ」）
  - ファイル形式別（「種類」）
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「名前」を選択したときの並び順は、数字→英字（半角）→日本語→英字（全角）の順で表示されます。
- 「種類」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。

ファイルの詳細を確認したい

確認するファイルを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

表示形式を変更したい

≪メニュー≫→「オプション」→「表示」→項目を選択→≪完了≫

便利

エクスプローラーに関する便利な機能

ファイルを削除したい

削除するファイルを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「削除」→≪はい≫

ファイルやフォルダの詳細を確認したい

確認するファイルまたはフォルダを反転表示→≪メニュー≫→「プロパティ」

表示形式を変更したい

≪メニュー≫→「表示」→項目を選択

ファイルを並べ替えたい

≪メニュー≫→「並べ替え」→項目を選択

- 次の項目で並べ替えができます。
  - ファイル名（「名前」）
  - 日付の古い順（「日付」）
  - ファイルのサイズの小さい順（「サイズ」）
  - ファイル形式別（「種類」）
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「名前」を選択したときの並び順は、数字→英字（半角）→日本語→英字（全角）の順で表示されます。
- 「種類」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。

便利

ファイルの確認に関する便利な機能

表示している画像ファイルを削除したい

≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

Bluetooth® 対応のプリンタで画像を印刷したい

≪メニュー≫→「Bluetooth 経由で印刷」

表示しているファイルの詳細を確認したい

≪メニュー≫→「プロパティ」

通信／バックアップ

11

通信／バックアップについて

本機では、Bluetooth® などを利用したデータのやり取り、ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターが利用できます。
この章では、データのやり取り、バックアップについて説明します。

データのやり取り

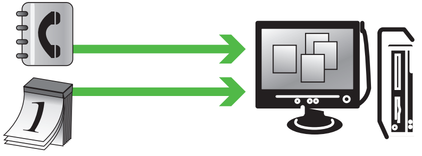
本機では、次の機能を使ってデータをやり取りできます。

- ワイヤレス LAN 通信（➔P.11-3）
- Bluetooth®（➔P.11-14）
- USB 接続（➔P.11-17）



もしものときのバックアップ

本機では、ActiveSync® や Windows Mobile® デバイスセンターを利用して、パソコンにデータのバックアップをとることができます（➔P.11-6）。



ネットワークの設定

本機は3Gパケット通信を利用したインターネット接続が設定されています。特に設定を変更しない限り、3Gパケット通信経由でインターネットに接続します。

・ワイヤレスLANなど、他の通信機能でインターネットに接続するには、ワイヤレスマネージャーで電話をオフにします。

Wi-Fi

本機などWi-Fi対応の携帯電話に接続し、データの送受信をしたり、自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレスLANサービス、社内のアクセスポイントなどに接続して、インターネットなどにアクセスすることができます。

ワイヤレスLAN（無線LAN）の設定

ワイヤレスLAN通信機能によって、自宅のアクセスポイントや公衆ワイヤレスLANサービス、社内のアクセスポイントなどに接続することができます。

- ワイヤレスLAN通信機能を使用する前に、「Bluetooth® ／ワイヤレスLAN(無線LAN)機器に関するご注意」(➔P.xxvii)をよくお読みください。

ワイヤレスLANの設定の準備

- ◎→「ワイヤレスマネージャー」→「Wi-Fi」で、ワイヤレスLAN通信機能をオンにします。
- ワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名、データ暗号化の形式、ネットワークキーを事前に確認しておきます。

・アクセスポイントに関する情報（データ暗号化の形式、ネットワークキーなど）は、各アクセスポイントによって異なります。
これらの情報を入手できない場合は、ワイヤレスLANで接続することはできません。

・社内ネットワークに接続する場合は、設定方法を社内システム管理者にご確認ください。

アクセスポイントを設定する

1. ◎→「ワイヤレスマネージャー」
2. ≪メニュー≫→「Wi-Fiの設定」
3. 対象のアクセスポイントを反転表示→≪接続≫

アクセスポイントを追加／編集する

1. ◎→「ワイヤレスマネージャー」
2. ≪メニュー≫→「Wi-Fiの設定」
3. ≪メニュー≫→「追加」
   - 既存のアクセスポイントを編集する場合は、対象のアクセスポイントを選択して操作❺へ進んでください。
4. 「ネットワーク名（SSID）」欄に入力

5 「ネットワークの種類」欄でネットワークの接続先を選択

■ Home／Publicアプリケーション、VPNを介してインターネットに接続するとき
「インターネット」

■ 自宅のアクセスポイントや社内ネットワークを介してインターネットに接続するとき
「プライベート／社内ネットワーク」

6 「これは非表示のネットワークです」のチェックをつける／外す

- ネットワーク名を配信しないアクセスポイントの場合は、チェックをつけます。

7 「これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です」のチェックをつける／外す

- アクセスポイントを使用せず直接パソコンなどのワイヤレスLAN対応機器と接続する場合（アドホック接続）は、チェックをつけます。特に指定がなければチェックを外したままにしてください。

8 ≪次へ≫

9 「認証」欄でアクセスポイントの認証形式を選択

- 特に指定がない場合は「オープン」を選択します。

10 「データ暗号化」欄でアクセスポイントのデータ暗号化の形式を選択

- 特に指定がない場合は「無効」を選択します。

11 「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックをつける／外す

- 自動的に提供されるキーを使用する場合は、チェックをつけます。
特に指定がない場合はチェックを外して、「ネットワークキー」欄にアクセスポイントのネットワークキーを入力します。

12 「キーインデックス」欄で使用するキーインデックス数を選択

- データ暗号化のWEPのためのキーインデックスを設定します。最大4つまでのネットワークキーをキーインデックスによって切り替えることができます。

13 ≪次へ≫

- 操作 12 までの設定によっては、次へが表示されず、完了が表示されます。その場合は、操作 16 へ進んでください。

14 「IEEE 802.1x ネットワークアクセスコントロールを使用」欄にチェック

- アクセスポイントがこの認証方式に対応している場合は、チェックを付けます。
特に指定がない場合はチェックを外します。

15 「EAPの種類」欄で証明方法を選択

16 ≪完了≫

アクセスポイントを削除する

1 → 「ワイヤレスマネージャー」

2 ≪メニュー≫→「Wi-Fiの設定」

3 対象のアクセスポイントを反転表示→≪接続≫→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

接続できないとき

接続できないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。特に市販のアクセスポイント機器や公衆ワイヤレスLAN サービスでは、認証、データ暗号化、ネットワークキーの設定が誤っていると接続できません。
それでも接続できない場合は、以下のように設定し、再度接続状態を確認してください。

- 「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックを外します。
- 「IEEE 802.1x ネットワークアクセスコントロールを使用」のチェックを外します。

その他の設定

- ネットワークへの接続にプロキシサーバーを使用する場合には、プロキシの設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

・「プロキシ」で、プロキシが設定できます (➲P.12-14)。

- ネットワークへの接続に VPN を使用する場合には、VPN の設定を行います。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

・「VPN」で、VPNが設定できます (➲P.12-15)。

ドメインへの登録

ドメインに登録すると、本機のインターネット接続を利用して社内ネットワークにアクセスできます。

- ドメインへの登録については、社内システム管理者にご確認ください。

・「ドメインへの登録」で、ドメインが設定できます (➲P.12-15)。

使いこなしチェック!

設定

- GPRS を追加する(☞P.12-14)
- GPRS を編集する(☞P.12-14)
- GPRS を削除する(☞P.12-14)
- プロキシを追加する(☞P.12-14)
- プロキシを編集する(☞P.12-14)
- プロキシを削除する(☞P.12-15)
- VPN を追加する(☞P.12-15)
- VPN を編集する(☞P.12-15)
- VPN を削除する(☞P.12-15)
- Enhanced GPS を設定する(☞P.12-15)
- ドメインへ登録する(☞P.12-15)
- ドメインへ登録する(詳細設定)(☞P.12-15)
- ドメインへ登録する(オプション)(☞P.12-16)
- ドメインへ登録する(URL 例外設定の追加)(☞P.12-16)
- ドメインへ登録する(URL 例外設定の編集)(☞P.12-16)
- ドメインへ登録する(URL 例外設定の削除)(☞P.12-16)
- Wi-Fi機能を設定/解除する(☞P.12-17)
- ネットワークを追加する(☞P.12-17)
- ネットワークを編集する(☞P.12-17)
- ネットワークを削除する(☞P.12-18)
- ネットワークの詳細設定を編集する(☞P.12-18)
- Wi-Fi の状態を確認する(☞P.12-18)
- Wi-Fi を常にオンにする(☞P.12-18)

パソコンとのデータの同期

ActiveSync® や WindowsMobile® デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間でメール、連絡先、予定表、仕事、お気に入り、音楽、動画や静止画などのデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

ActiveSync®

ActiveSync® を使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

パソコンの動作環境について

ActiveSync® を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

- Windows® XP Service Pack 2 など

Outlook との同期

- Microsoft® Outlook® 2003 (推奨)
- Microsoft® Outlook® XP
- Microsoft® Outlook® 2007

お気に入りの同期

- Internet Explorer® 6.0 以上

パソコンとの接続／通信方法

- USB ケーブル
- Bluetooth®

- ActiveSync® の動作環境の詳細については、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx

ActiveSync® で同期できる情報

Outlook との同期

- メール
- 連絡先
- 予定表
- 仕事

お気に入りの同期

- Internet Explorer® のお気に入り

ファイルの同期

- パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Player のファイルの同期

- 音楽（著作権情報含む）／動画（著作権情報含む）／静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlook はあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Player のファイルは、パソコン側が Windows Media® Player 10 より前のバージョンでは同期できません。
- Windows Media® Player のファイルサイズが数百 M バイト以上ある場合、同期を 2 回実行することがあります。
- ActiveSync® で同期中または同期完了後に、タスクマネージャで ActiveSync® を終了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パソコンが Exchange Server に接続されているときや、本機と Exchange Server とを直接同期するときは、ActiveSync® のインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

パソコンに ActiveSync® をインストールする

- ウィルスチェックソフトウェアやセキュリティソフトウェアなどをインストールしている場合は、あらかじめそれらの動作を停止／無効にしてください。
- 他のファイル同期用ソフトウェアがインストールされているときは、あらかじめアンインストールしてください。

1 マイクロソフトの Web サイトからダウンロード

2 画面の指示に従って、ActiveSync® のインストールを行う

3 ActiveSync® のインストール完了のメッセージが表示されたら「終了」をクリック→「閉じる」をクリック

- インストールが完了すると、ActiveSync® が起動します。
「完了」をクリック後、パソコンの再起動を行う画面が表示された場合は、「はい」をクリックし再起動を行ってください。

ActiveSync® を設定する

USB の接続を設定する

1 ≪スタート≫→「設定」→「接続」→「USB」

2 「USB 接続設定」欄で「ActiveSync」を選択→「高度なネットワーク機能を有効にする」欄にチェック→≪完了≫

パソコンと接続する／同期する情報を設定する

パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

- はじめてパソコンと本機を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。

2 同期に関する設定を行う

- 同期する情報の選択などを行います。チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

3 画面の指示に従って、セットアップを行う

4 同期の設定の完了メッセージが表示されたら「完了」をクリック

- 自動的に情報の同期が開始されます。

同期の設定を変更する

パソコン側の ActiveSync® 画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1 パソコン側の ActiveSync® 画面で、「ツール」→「オプション」

2 同期の設定→「OK」をクリック

- チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

- ActiveSync® の詳細な使用方法については、パソコン側の ActiveSync® 画面のヘルプを参照してください。

USB ケーブルを接続して同期する

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

- 自動的に情報の同期が開始されます。同期の設定を行っていない場合、同期セットアップウィザードが表示されます。

自動的に同期を開始しないようにするには

USB ケーブルを使用して本機とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1 パソコン側の ActiveSync® 画面で、「ファイル」→「接続の設定」

2 「デバイスとの接続時に ActiveSync を開く」のチェックを外す→「OK」をクリック

Bluetooth® で同期する

- Bluetooth® による本機とパソコンの通信設定（ペアリング）については、➔P.11-15 を参照してください。

パソコン側の Bluetooth® の設定に COM ポートを追加する

1 パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→ Bluetooth デバイス

2 「COM ポート」タブを選択→「追加」をクリック

3 追加された COM ポートを確認

パソコン側の ActiveSync® で COM ポートの接続を有効にする

1 パソコン側の ActiveSync® の画面で、「ファイル」→「接続の設定」

2 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックをつける→プルダウンメニューから PC で追加した COM ポートを選択→「OK」をクリック

本機側の Bluetooth® の設定で、パソコン側のサービスを選択する

1 → 「ワイヤレスマネージャー」

2 ≪メニュー≫→「Bluetooth の設定」

3 Bluetooth® デバイスの中から接続しているパソコンを選択→≪次へ≫

4 サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックをつける

- 「ActiveSync」が表示されていない場合は、≪メニュー≫→「最新の情報に更新」を選択します。

5 ≪完了≫

- Bluetooth® で同期するための設定の詳細については、パソコン側の ActiveSync® 画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth® で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth® でパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

- あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth® のペアリングを設定しておく必要があります（➲P.11-15）。

1 ≪スタート≫→「ActiveSync」

2 ≪メニュー≫→「Bluetooth から接続」

- パソコン側の ActiveSync® が起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルを本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーしたりすることができます。

- あらかじめパソコン側で ActiveSync® の設定を行っておく必要があります（➲P.11-7）。

ディスクドライブでファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「大容量記憶装置」に設定しておきます（➲P.12-19）。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

2 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択

3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

ActiveSync® でファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「ActiveSync」に設定しておきます(➔P.12-19)。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

2 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「モバイル デバイス」を選択

3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

- メモリカード内ファイルをやり取りするには、「マイ デバイス」を選択し、「Storage Card」を選択します。

Windows Mobile® デバイスセンター

Windows Mobile® デバイスセンターを使用して、本機とパソコンとの間で情報やデータを同期させたり、ファイルをコピーしたりすることができます。

パソコンの動作環境について

Windows Mobile® デバイスセンターを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

- Windows Vista® Home Basic 以降

Outlook との同期

- Microsoft® Outlook® 2003
- Microsoft® Outlook® XP
- Microsoft® Outlook® 2007(推奨)

お気に入りの同期

- Internet Explorer® 7

パソコンとの接続/通信方法

- USB ケーブル
- Bluetooth®

- Windows Mobile® デバイスセンターの動作環境の詳細については、マイクロソフト社の Web サイトを参照してください。
  http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/prodinfo/mobility.mspx

Windows Mobile® デバイスセンターで同期できる情報

Outlook との同期

- メール
- 連絡先
- 予定表
- 仕事

お気に入りの同期

- Internet Explorer® のお気に入り

ファイルの同期

- パソコン側に設定された専用のフォルダの内容

Windows Media® Player のファイルの同期

- 音楽(著作権情報含む)/動画(著作権情報含む)/静止画

注意

- Outlook Expressとは同期できません。
- Outlookはあらかじめパソコン上で起動し、メールや連絡先、予定表などが使用できる状態であることを確認してください。
- Windows Media® Playerのファイルは、パソコン側がWindows Media® Player 11より前のバージョンでは同期できません。
- パソコンがExchange Serverに接続されているときや、本機とExchange Serverとを直接同期するときは、Windows Mobile® デバイスセンターのインストールや使用について社内システム管理者にご確認ください。

パソコンにWindows Mobile® デバイスセンターをインストールする

Windows Vista以降のOSを搭載したパソコンには、あらかじめWindows Mobile® デバイスセンターがインストールされているものがあります。デバイスセンターがインストールされていない場合は、SAMSUNGモバイルサイトからダウンロードしてインストールしてください。

Windows Mobile® デバイスセンターを設定する

パソコンと接続する/同期する情報を設定する

パソコンと接続し、同期を行うときにどの情報を同期するかを設定します。

1. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
   - はじめてパソコンと本機を接続したときは、パソコン側に自動的に同期セットアップウィザードが表示されます。
2. 画面の指示に従ってセットアップを行う
3. Windows Mobile® デバイスセンターのホーム画面が表示されたら、「デバイスのセットアップ」をクリック
4. 同期する情報を選択
   - チェックを付けた情報が同期の対象となります。
5. 「次へ」をクリック
6. デバイス名を入力→「セットアップ」をクリック
   - セットアップが完了すると、Windows Mobile® デバイスセンターが起動します。

同期の設定を変更する

パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンター画面からの操作により、同期の設定を変更することができます。

1. パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「コンテンツの同期の設定の変更」
2. 同期の設定→「保存」
   - チェックを付けた情報が同期の対象となります。同期しない情報はチェックを外します。

- Windows Mobile® デバイスセンターの詳細な使用方法については、パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

USBケーブルを接続して同期する

1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続

- 自動的に情報の同期が開始されます。同期の設定を行っていない場合、同期セットアップウィザードが表示されます。

自動的に同期を開始しないようにするには

USBケーブルを使用して本機とパソコンを接続した際、自動的に同期を開始しないように設定することもできます。

1 パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」

2 「自動デバイス認証を許可する」のチェックを外す→「OK」をクリック

Bluetooth® で同期する

- Bluetooth® による本機とパソコンの通信設定（ペアリング）については、➔P.11-15を参照してください。

パソコン側のBluetooth® の設定にCOMポートを追加する

1 パソコン側で、「スタート」→「コントロールパネル」→Bluetoothデバイス

2 「COMポート」タブを選択→「追加」をクリック

3 追加されたCOMポートを確認

パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンターでCOMポートの接続を有効にする

1 パソコン側のWindows Mobile® デバイスセンターのホーム画面で、「モバイルデバイスの設定」→「接続の設定」

2 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックをつける→プルダウンメニューからPCで追加したCOMポートを選択→「OK」をクリック

本機側のBluetooth® の設定で、パソコン側のサービスを選択する

1 ⊖→「ワイヤレスマネージャー」

2 ≪メニュー≫→「Bluetoothの設定」

3 Bluetooth® のデバイスの中から接続しているパソコンを選択→≪次へ≫

4 サービスの一覧の中から「ActiveSync」にチェックをつける

- 「ActiveSync」が表示されていない場合は、≪メニュー≫→「最新の情報に更新」を選択します。

5 ≪完了≫

- Bluetooth® で同期するための設定の詳細については、パソコン側の Windows Mobile® デバイスセンター画面のヘルプを参照してください。

Bluetooth® で同期する

同期の設定を行った後、Bluetooth® でパソコンと本機を接続すると、情報を同期することができます。

- あらかじめ本機とパソコンとの間で、Bluetooth® のペアリングを設定しておく必要があります（➔P.11-15）。

1 ≪スタート≫→「ActiveSync」

2 ≪メニュー≫→「Bluetooth から接続」

- パソコン側の Windows Mobile® デバイスセンターが起動し、同期が開始されます。

パソコンでファイルをコピーする

パソコン上で直接ファイルを本機にコピーしたり、本機からパソコン側にコピーしたりすることができます。

- あらかじめパソコン側で Windows Mobile® デバイスセンターの設定を行っておく必要があります(➔P.11-11)。

ディスクドライブでファイルをコピーする

あらかじめ PC への USB 接続を「大容量記憶装置」に設定しておきます(➔P.12-19)。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

2 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択

3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

Windows Mobile® デバイスセンターでファイルをコピーする

あらかじめPCへのUSB接続を「ActiveSync」に設定しておきます(➔P.12-19)。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

2 パソコン側で「コンピュータ」を開き、「ポータブルデバイス」を選択

- 本機のファイルを直接操作することができるようになります。

3 パソコン上のファイルや本機のファイルのコピーを行う

- メモリカード内ファイルをやり取りするには、「Storage Card」を選択します。

Bluetooth®

本機など Bluetooth® 対応の携帯電話や、他の Bluetooth® 対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。ハンズフリー機器と接続すれば、本機を手もとで操作することなく通話できます。ダイヤルアップ接続機器と接続して、インターネットなどにアクセスすることもできます。
Bluetooth® 通信を利用するには、相手機器も Bluetooth® 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
Bluetooth® 対応のステレオヘッドフォンを接続することで、音楽を聴くことができます。
連絡先、予定表のスケジュール、予定表、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイルなどを送受信できます。
本機の Bluetooth® の仕様は次のとおりです。

項目	仕様
通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.2.0+EDR
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Printing Profile Generic Object Exchange Profile Personal Area Networking Profile Phone Book Access Profile Human Interface Device Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
見通し通信距離[1]	約 10 m 以内
使用周波数帯	2.4 GHz
Bluetooth® QD ID	B014543

1 相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

- 本機はすべての Bluetooth® 機器との無線接続を保証するものではありません。
- 相手機器が Bluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth® 対応機器が使用する電波帯（2.4GHz）は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- Bluetooth® 通信機能を使用する前に、「Bluetooth® ／ワイヤレス LAN（無線LAN）機器に関するご注意」(➔P.xxvii)をよくお読みください。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® 通信機能をオンにする

1. → 「ワイヤレスマネージャー」
2. 「Bluetooth」
3. ≪完了≫

- 「オン」に設定すると、ディスプレイ最上段にが表示され、Bluetooth® 対応機器と接続できるようになります。

本機を検出可能にする

1. → 「ワイヤレスマネージャー」
2. ≪メニュー≫→「Bluetoothの設定」
3. ≪メニュー≫→「検出可能にする」
4. ≪完了≫

ペアリング

ペアリングとは、Bluetooth® 対応機器どうしの無線接続の設定をすることです。一度設定すると、これらの機器は次回からは自動的に接続されるようになります。

- ペアリングするためには、同じパスコードを双方のBluetooth® 対応機器で入力する必要があります。

パソコンとのペアリング

パソコン側の設定

1. 使用するパソコン上で、「スタート」→「コントロールパネル」→Bluetoothデバイス
2. 画面の指示に従って、設定を行う

本機側の設定

1. パソコンからペアリングのリクエストを受信→≪はい≫
2. パソコンの画面に表示されているパスコードを本機に入力→≪次へ≫
3. 接続の完了→≪詳細設定≫→≪次へ≫
4. パソコンから提供されるサービスの中から、利用するサービスにチェックをつける→≪完了≫

ハンズフリーヘッドセットとのペアリング

あらかじめハンズフリーヘッドセットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

1. → 「ワイヤレスマネージャー」
2. ≪メニュー≫→「Bluetoothの設定」
3. 「新しいデバイスの追加 ...」
4. 接続するハンズフリーヘッドセットを反転表示→≪次へ≫

5 固有のパスコードを入力→≪次へ≫

- 固有のパスコードについてはハンズフリーヘッドセットの取扱説明書を参照してください。

6 ≪完了≫

- ハンズフリーヘッドセットが A2DP 規格に対応していると、ステレオ音声で聞くことができます。

その他の設定

デバイス名の変更

1 →「ワイヤレスマネージャー」

2 ≪メニュー≫→「Bluetooth の設定」

3 対象のデバイスを反転表示

4 ≪メニュー≫→「編集」

5 デバイス名の入力→≪次へ≫→≪完了≫

Bluetooth® 対応機器を検索して登録する

接続したい Bluetooth® 対応機器を登録済みデバイスリストに登録します。登録時には、本機と相手機器とで同じパスコードを入力する必要があります。
あらかじめ、相手機器の Bluetooth® 機能を有効にしてから操作してください。

1 →「ワイヤレスマネージャー」

2 ≪メニュー≫→「Bluetooth の設定」

3 「新しいデバイスの追加 ...」

4 検索に応答したデバイスが表示されたら、登録する機器を反転表示→≪次へ≫

5 パスコード（1 ～ 16 桁）を入力→≪次へ≫

6 相手機器側で 30 秒以内に同じパスコードを入力

- 相手機器と接続が完了し、相手機器のデータを参照したり取得したりできる状態になります。

- パスコードは、Bluetooth® 対応機器どうしが接続するためのパスワード（1 ～ 16 桁）です。相手がハンズフリー機器などの場合は、ハンズフリー機器側で決められているパスコードを入力します。一度登録した機器は次回からはパスコードの入力が不要になります。
- 相手機器との認証が正常に行われなかったときは、もう一度認証を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。行うときは操作 5 からやり直してください。
- デバイスのアイコン

  ：パソコン　　：携帯電話

  ：ハンズフリー機器／ヘッドセット
- 他の Bluetooth® 対応機器から接続要求がある旨の確認メッセージが表示されたときは、≪はい≫を選択し、30 秒以内に相手側と同じパスコードを入力します。

データを送信する

データを 1 件ずつ送信する

1 データの送信操作

2 送信先のデバイスのアイコンを反転表示→≪ビーム≫

- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録してください。

データを受信する

データを 1 件ずつ受信する

1 データ保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

使いこなしチェック!

便利 ☞P.11-20

- 接続したデバイスの登録名を編集したい
- 接続したデバイスを削除したい

設定

- Bluetooth® 機能を設定／解除する（☞P.12-18）
- 他の Bluetooth® 機器から検出可能／不可にする（☞P.12-18）
- Bluetooth® 対応機器を検索して登録する（☞P.12-18）
- ヘッドセットの接続を設定する（☞P.12-18）
- ヘッドセット接続時にポップアップが表示されるかどうかを設定する（☞P.12-18）
- プリンターの接続を設定する（☞P.12-18）
- デバイス情報と Bluetooth® の情報を確認する（☞P.12-19）
- デバイス名を変更する（☞P.12-3）
- 着信ビームを受信するかどうかを設定する（☞P.12-19）

USB 接続

本機を USB ケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。

本機は USB2.0 に対応しています。

インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについては SAMSUNG ホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/X01download.html）でご確認ください。

USB 接続でできること

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で本機のデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

カードリーダーモードでデータを送受信する

メモリカードを取り付けた状態の本機とパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する／取り外す

1. 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
2. ≪スタート≫→「設定」→「接続」→「USB」
3. 「USB接続設定」欄で「大容量記憶装置」→≪完了≫
4. パソコンからデータを読み書き
5. パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
6. USBケーブルの取り外し

注意

- ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

使いこなしチェック!

設定

- USB接続時の設定を変更する
(☞P.12-19)

Microsoft My Phone

本機からSNSに静止画をアップロードすることができます。

利用開始を設定する

1. ≪スタート≫→「Microsoft My Phone」→≪次へ≫→≪承諾≫
2. 画面の指示に従ってアカウントとパスワードなどを設定→≪サインイン≫→≪次へ≫
3. 「自動」/「手動」を選択→≪次へ≫→≪完了≫
4. 初回のみ、更新プログラムがダウンロード、インストール、同期が実行されるので、画面の指示に従う

同期する

1 ≪スタート≫→「Microsoft My Phone」→≪同期≫

同期するデータを設定する

1 ≪スタート≫→「Microsoft My Phone」→≪メニュー≫→「同期のオプション」
2 「現在地」のチェックをつける／外す
3 同期するデータのチェックをつける／外す
4 ≪完了≫

同期のスケジュールを設定する

1 ≪スタート≫→「Microsoft My Phone」→≪メニュー≫→「同期のスケジュール」
2 「頻度」欄で「毎日」／「毎週」／「手動」を選択
3 「頻度」が「毎週」の場合、「曜日」欄で曜日を選択
4 「頻度」が「毎日」または「毎週」の場合、「時刻」欄で時刻を選択
5 「ローミング時にこれらの設定を使用する」のチェックをつける／外す
6 ≪完了≫

使いこなしチェック!

便利 ☞P.11-20

- 同期の詳細を確認したい
- 同期した写真を共有したい

インターネット共有

本機を経由して PC などの機器をインターネットに接続することができます。

1 ≪スタート≫→「インターネット共有」
2 「PC との接続」欄で「Bluetooth PAN」／「USB」を選択→≪接続≫
   - ≪メニュー≫から接続の詳細を設定できます。「Bluetooth PAN」(➔P.11-15「パソコンとのペアリング」)／「USB」(➔P.11-7「USB の接続を設定する」)
3 「状態」欄が「接続完了」になったら、PC からインターネットにアクセスできるようになります。

便利な機能

便利

Bluetooth® に関する便利な機能

接続したデバイスの登録名を編集したい

→「ワイヤレスマネージャー」→≪メニュー≫→「Bluetooth の設定」→登録済みデバイスのアイコンを選択→デバイス名を編集

接続したデバイスを削除したい

→「ワイヤレスマネージャー」→≪メニュー≫→「Bluetooth の設定」→登録済みデバイスのアイコンを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→「はい」

便利

Microsoft My Phone に関する便利な機能

同期の詳細を確認したい

≪スタート≫→「Microsoft My Phone」→≪メニュー≫→「同期の詳細」

同期した写真を共有したい

≪スタート≫→「Microsoft My Phone」→≪メニュー≫→「写真の共有」

■ 共有する写真を選択する場合

「共有」→写真を選択→≪メニュー≫→「共有 ...」→ソーシャルネットワークを選択→「キャプション」欄を入力→≪共有≫

■ 写真を共有するソーシャルネットワークを追加する場合

「ソーシャルネットワーク」→「ソーシャルネットワークの追加」→ソーシャルネットワークを選択→画面の指示に従って操作

カスタマイズ

12

設定

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」

タイムゾーンを変更する お買い上げ時 GMT+9 東京、大阪	「日付／時刻」→「タイム ゾーン」欄で目的の都市を選択→≪完了≫
日付を設定する	「日付／時刻」→「日付」欄で年月日を入力→≪完了≫ ・ 設定しないとご利用になれない機能があります。
時刻を設定する	「日付／時刻」→「時刻」欄で時刻を入力→≪完了≫ ・ 設定しないとご利用になれない機能があります。
自動更新を設定する お買い上げ時 オン	「日付／時刻」→「自動更新」欄で「オン」／「オフ」を選択→≪完了≫
ディスプレイの表示言語を切り替える お買い上げ時 日本語	「次へ ...」→「地域」→「言語」欄で言語を選択→≪完了≫→≪ OK ≫→再度電源を入れなおしてください。
日付／時刻の表示形式を切り替える お買い上げ時 日本語	「次へ ...」→「地域」→「地域」欄で地域を選択→≪完了≫→≪ OK ≫→再度電源を入れなおしてください。
日付の表示形式を変更する お買い上げ時 YYYY/MM/DD YYYY 年 M 月 D 日	・「次へ ...」→「地域」→「短い日付の形式」欄で日付の表示形式を選択→≪完了≫ ・「次へ ...」→「地域」→「長い日付の形式」欄で日付の表示形式を選択→≪完了≫
時刻の表示形式を変更する お買い上げ時 h:mm:ss	「次へ ...」→「地域」→「時刻の形式」欄で時刻の表示形式を選択→≪完了≫
正の値の表示形式を変更する	「次へ ...」→「地域」→「正の値」欄を選択→以下の数値の書式を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ 小数点の記号 ・小数点以下の桁数 ・ 桁区切り記号 ・負の値の表記
負の値の表示形式を変更する	「次へ ...」→「地域」→「負の値」欄を選択→以下の数値の書式を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ 小数点の記号 ・小数点以下の桁数 ・ 桁区切り記号 ・負の値の表記
正の通貨の表示形式を変更する	「次へ ...」→「地域」→「正の通貨」欄を選択→以下の通貨の書式を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ 通貨記号 ・記号の位置 ・小数点の記号 ・ 小数点以下の桁数 ・桁区切り記号 ・負の値の表記

負の通貨の表示形式を変更する	「次へ ...」→「地域」→「負の通貨」欄を選択→以下の通貨の書式を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ 通貨記号 ・記号の位置 ・小数点の記号 ・ 小数点以下の桁数 ・桁区切り記号 ・負の値の表記
オーナー情報を変更する	「次へ ...」→「次へ ...」→「オーナー情報」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 名前 ・電話番号 ・電子メールアドレス ・メモ
デバイス名を変更する **お買い上げ時** デバイス名：X01SC	「次へ ...」→「次へ ...」→「次へ ...」→「デバイス名」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ デバイス名 ・説明

設定

音／バイブレータの設定

着信音／効果音に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「サウンド」

音声通話の着信音を設定する **お買い上げ時** 着信音：Samsung Tune	「着信音」→項目を選択→≪完了≫
その他のサウンドを設定する **お買い上げ時** アラーム（Outlook）：Alert-Outlook、新着電子メール：New_email、新着SMSメッセージ：Alert-AscendingChimes、新着留守番電話メッセージ：Alert-Echo、新着インスタントメッセージ：Alert-InstantMessage、メッセージ（警告）／メッセージ（問い合わせ）／警告：Alert-Exclaim、Keypad control：None	「その他のサウンド」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ アラーム（Outlook） ・ 新着電子メール・・・インターネットメールの着信音 ・ 新着SMSメッセージ・・・S! メールおよびSMSの着信音 ・ 新着留守番電話メッセージ ・ 新着インスタントメッセージ ・ メッセージ（警告） ・ メッセージ（問い合わせ） ・ 警告 ・ Keypad control※

※電話をかける際に使用するキー（1～9、*、#）のみの効果音です。

音量／バイブレータに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「プロファイル」

プロファイルを切り替える **お買い上げ時** 標準	以下のプロファイルから選択 ・ 標準 ・ サイレント ・ バイブ ・ アウトドア ・ 自動切替
プロファイルを編集する **お買い上げ時** 名前：標準、着信通知の種類：着信音、着信音の音量：4、アラーム（Outlook）の種類：サウンドの再生、アラーム（Outlook）の音量：4、通知の種類：サウンドの再生、通知の音量：4、システム サウンドの音量：4	プロファイルを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 名前 ・ 着信通知の種類 ・ 着信音の音量 ・ アラーム（Outlook）の種類 ・ アラーム（Outlook）の音量 ・ 通知の種類 ・ 通知の音量 ・ システム サウンドの音量

設定

画面表示の設定

画面表示に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」

ホーム画面の設定を変更する **お買い上げ時** ホーム画面のレイアウト：スライド パネル（マルチメディア）、最近使ったプログラムの表示：Off、配色：既定、背景イメージ：既定、タイムアウト：なし	「表示」→「ホーム画面」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ ホーム画面のレイアウト ・ 最近使ったプログラムの表示 ・ 配色 ・ 背景イメージ ・ タイムアウト

スタートメニューのスタイルを設定する お買い上げ時 グリッド	「表示」→「スタートメニューのスタイル」→項目を設定→≪完了≫
バッテリ時のバックライト持続時間を設定する お買い上げ時 30 秒	「次へ ...」→「パワー マネージメント」→「バッテリ時バックライト持続」欄で持続時間を選択→≪完了≫
AC 時のバックライト持続時間を設定する お買い上げ時 1 分	「次へ ...」→「パワー マネージメント」→「AC 時バックライト持続」欄で持続時間を選択→≪完了≫
画面表示の持続時間を設定する お買い上げ時 40 秒	「次へ ...」→「パワー マネージメント」→「画面表示持続」欄で持続時間を選択→≪完了≫
画面の明るさを設定する お買い上げ時 レベル 3	「次へ ...」→「パワー マネージメント」→「画面の明るさ」欄で明るさを選択→≪完了≫
光センサーを設定する お買い上げ時 オフ	「次へ ...」→「パワー マネージメント」→「光センサー」欄で項目を選択→≪完了≫
キーパッドバックライトの持続時間を設定する お買い上げ時 常時	「次へ ...」→「パワー マネージメント」→「キーパッドバックライト持続」欄で項目を選択→「ユーザー設定の時間」を選択した場合は、開始時刻と終了時刻を選択→≪完了≫

設定

通話の設定

通話に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「電話」

帯域を切り替える お買い上げ時 自動	「通話サービス」→「帯域の選択」→項目を選択→≪完了≫ ・「手動」で選択できる項目は、「GSM900/1800」／「GSM1900」／「WCDMA」です。
通話のオプションを設定する	「通話サービス」→「通話のオプション」 画面の指示に従って設定します。
発信者番号通知を設定する	「通話サービス」→「発信者番号通知」→項目を選択→≪完了≫

発信先固定を設定する	「通話サービス」→「発信先固定」 画面の指示に従って設定します。
ネットワークを設定する	「通話サービス」→「ネットワーク」 画面の指示に従って設定します。
自動応答について設定する　お買い上げ時 しない	「音声通話」→「自動応答」→項目を選択→≪完了≫
割り込み通話について設定する	「音声通話」→「割り込み通話」→チェックをつける／外す→≪完了≫
着信規制について設定する	「音声通話」→「発着信規制」→「着信制限」欄で制限方法を選択→≪完了≫
発信規制について設定する	「音声通話」→「発着信規制」→「発信制限」欄で制限方法を選択→≪完了≫
転送電話について設定する	「音声通話」→「転送電話」→「無条件」／「無応答転送」／「話中時転送」／「圏外 / 電源オフ時転送」を選択→「通話の転送先」／「電話番号」を設定→≪完了≫ ・「無応答転送」を設定する場合は、「次の時間経過後に転送」も選択します。 ・すべての条件を「オフ」に設定する場合は、≪メニュー≫→「すべて無効」を選択でも可能です。
固有番号を確認する	「固有番号」→≪完了≫
固有番号の名前を編集する	「固有番号」→「音声回線 1」を反転表示→≪メニュー≫→「編集」→「名前」欄を入力→≪完了≫
チャネルの設定を変更する	→「ワイヤレスマネージャー」→≪メニュー≫→「電話の設定」→「チャネル」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・チャネルを使用する ・受信チャネルの一覧 ・言語

設定

メールの設定

E メールアドレスに関する設定

E メールアドレスを変更する	≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「メール・アドレス設定」→画面の指示に従って設定します。 ・ パソコンなどから E メールを受信するときに使用する E メールアドレスのアカウント名（@より前の部分）を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S! メール、SMS に関する共通の設定

共通操作 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「一般設定」

メールフォルダのソートを設定する お買い上げ時 日付、降順	「ソート」欄でソート項目および「昇順」／「降順」を選択→≪ OK ≫
署名を設定する お買い上げ時 オフ	「署名」欄で署名の要否を選択→≪ OK ≫
署名を変更する	「ここに署名を入力してください。」欄に署名を入力→≪ OK ≫→≪ OK ≫

S! メールに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「S! メールの設定」

送受信モードを設定する お買い上げ時 自動（ホームのみ）	「送受信モード」欄で送受信モードを選択→≪ OK ≫
配信レポートを設定する お買い上げ時 Off	「配信レポート」にチェックをつける／外す→≪ OK ≫
送信済みメッセージを保存する お買い上げ時 On	「送信済みメッセージを保持」にチェックをつける／外す→≪ OK ≫
メール送受信後にネットワークを切断する お買い上げ時 On	「メール送受信後にネットワークを切断」にチェックをつける／外す→≪ OK ≫
送受信の試行回数を設定する お買い上げ時 4	「送受信の試行回数」欄で送受信の試行回数を選択→≪ OK ≫
画像サイズを設定する お買い上げ時 オリジナルサイズ	「画像のサイズ」欄で表示する画像サイズを選択→≪ OK ≫

SMS に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「SoftBank メール」→「設定」→「SMS の設定」

配信レポートを設定する お買い上げ時 Off	「配信レポート」にチェックをつける／外す→≪ OK ≫
送信済みメッセージを保存する お買い上げ時 On	「送信済みメッセージを保存」にチェックをつける／外す→≪ OK ≫
有効期限を設定する お買い上げ時 ネットワーク最大値	「有効期限」欄で SMS の有効期限を選択→≪ OK ≫

インターネットメールに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「メール」→「電子メールの設定」

アカウントを追加する	画面の指示に従って設定します。

設定

インターネットの設定

Internet Explorer に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「Internet Explorer」→≪メニュー≫→「ツール」→「オプション」

ホームページを設定する お買い上げ時 ユーザー設定のページ	「ホームページ」→項目を選択→≪完了≫
閲覧の履歴を確認する	「閲覧の履歴」→≪完了≫
閲覧の履歴をクリアする	「閲覧の履歴」→項目を反転表示→≪クリア≫→≪はい≫
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「プライバシーとセキュリティ」→「スクリプトを有効にする」にチェックをつける／外す→≪完了≫
Cookie の有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「プライバシーとセキュリティ」→「Cookie を有効にする」にチェックをつける／外す→≪完了≫
セキュリティ保護のないページに移動するときの警告の有無を設定する お買い上げ時 On	「プライバシーとセキュリティ」→「セキュリティ保護のないページに移動するときに警告する」にチェックをつける／外す→≪完了≫

言語を設定する お買い上げ時 日本語	「言語」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ Web サイトの表示に使用する言語 ・ エンコード ・ 自動選択
接続を設定する お買い上げ時 設定を自動的に検出する：Off、ネットワークの選択：WAP ネットワーク	「接続」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 設定を自動的に検出する ・ ネットワークの選択
Web サイトのブラウザー形式を変更する お買い上げ時 モバイル デバイス	「その他」→「Web サイトを以下のブラウザー形式で表示」欄で「モバイル デバイス」／「デスクトップ PC」を選択→≪完了≫
情報画面でサウンドを再生するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「その他」→「サウンドを再生する」にチェックをつける／外す→≪完了≫
情報画面で画像を表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「その他」→「画像を表示する」にチェックをつける／外す→≪完了≫
Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合に通知するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「その他」→「Internet Explorer が既定の Web ブラウザーでない場合に通知する」にチェックをつける／外す→≪完了≫

設定

カメラの設定

静止画撮影に関する設定

共通操作 (カメラキー)→≪メニュー≫→「設定」（カメラ）

イメージ品質を設定する お買い上げ時 高	「写真」→「イメージ品質」→項目を選択→≪×≫
シャッターサウンドを設定する お買い上げ時 シャッター 1	「写真」→「シャッターサウンド」→項目を選択→≪×≫
レビュー画面を表示する お買い上げ時 オン	「セットアップ」→「レビュー画面」→項目を選択→≪×≫
ズーム調整サウンドを設定する お買い上げ時 オン	「セットアップ」→「ズーム調整サウンド」→項目を選択→≪×≫
明るさ調整サウンドを設定する お買い上げ時 オン	「セットアップ」→「明るさ調整サウンド」→項目を選択→≪×≫
保存場所を設定する お買い上げ時 マイ デバイス	「セットアップ」→「保存場所」→項目を選択→≪×≫

動画撮影に関する設定

共通操作 →≪メニュー≫→「設定」(ビデオカメラ)

ビデオ品質を設定する お買い上げ時 高	「ビデオ」→「ビデオ品質」→項目を選択→≪×≫
録画開始サウンドを設定する お買い上げ時 サウンド1	「ビデオ」→「録画開始サウンド」→項目を選択→≪×≫
録音中を設定する お買い上げ時 オン	「ビデオ」→「録音中」→項目を選択→≪×≫
エンコード形式を設定する お買い上げ時 MP4	「ビデオ」→「エンコード形式」→項目を選択→≪×≫
レビュー画面を表示する お買い上げ時 オン	「セットアップ」→「レビュー画面」→項目を選択→≪×≫
ズーム調整サウンドを設定する お買い上げ時 オン	「セットアップ」→「ズーム調整サウンド」→項目を選択→≪×≫
明るさ調整サウンドを設定する お買い上げ時 オン	「セットアップ」→「明るさ調整サウンド」→項目を選択→≪×≫
保存場所を設定する お買い上げ時 マイ デバイス	「セットアップ」→「保存場所」→項目を選択→≪×≫

設定

エンタテイメント／生活ツールの設定

Windows Media® に関する設定

共通操作 再生画面表示中→≪メニュー≫→「オプション」

時間の表示形式を設定する お買い上げ時 経過時間	「再生」→項目を選択→≪完了≫→≪完了≫
ビデオを全画面で再生するかどうかを設定する お買い上げ時 常に	「ビデオ」→「全画面でビデオを再生」欄で全画面で表示する条件を選択→≪完了≫→≪完了≫
ビデオをウィンドウに合わせて拡大／縮小するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「ビデオ」→「ウィンドウに合わせて拡大／縮小する」にチェックをつける／外す→≪完了≫→≪完了≫
ネットワークを設定する お買い上げ時 インターネット接続速度：移動体通信(33.6Kbps)、接続速度を検出する：On、UDP：On、ポート：0、TCP：On、HTTP：On	「ネットワーク」→以下の項目を設定→≪完了≫→≪完了≫ ・ インターネット接続速度 ・ 接続速度を検出する ・ UDP、ポート ・ TCP ・ HTTP

ライブラリ画面でプレイヤーを起動するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「ライブラリ」→「ライブラリ画面でプレーヤーを起動する」にチェックをつける／外す→≪完了≫→≪完了≫
スキンを設定する お買い上げ時 Samsung_Graffiti	「スキン」→スキンを選択→≪完了≫→≪完了≫
キー割り当てを設定する	「ボタン」→キーに割り当てる項目を選択→≪メニュー≫→「割り当て」→割り当てるキーを押す→≪ OK ≫→≪完了≫

電卓に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「ツール」→「電卓」→≪メニュー≫→「オプション」

桁区切り記号の表示をするかどうかを設定する お買い上げ時 Off	「桁区切り記号の表示」にチェックをつける／外す→≪完了しました≫
計算ログの保存をするかどうかを設定する お買い上げ時 Off	「計算ログの保存」にチェックをつける／外す→≪完了しました≫

ゲームに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「ゲーム」→「Bubble Breaker」→≪メニュー≫→「オプション」

サウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 On	「サウンドを再生する」にチェックをつける／外す→≪完了≫
ゲストモードを使用するかどうかを設定する お買い上げ時 Off	「ゲストモード」にチェックをつける／外す→≪完了≫
ゲームのスタイルを変更する お買い上げ時 標準	「スタイル」欄でゲームのスタイルを選択→≪完了≫
バルーンの色を変更する お買い上げ時 カラー	「バルーンの色」欄で「カラー」／「グレースケール」を選択→≪完了≫

設定

ビジネスツールの設定

予定表に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「予定表」→≪メニュー≫→「ツール」→「オプション」

既定の画面を設定する お買い上げ時 予定一覧の表示	「既定の画面」欄で予定表の表示形式を選択→≪完了≫
週の初日の曜日を設定する お買い上げ時 日曜日	「週の最初の曜日」欄で週の最初の曜日を選択→≪完了≫
週単位の表示を設定する お買い上げ時 週5日表示	「週単位の表示」欄で週単位の表示画面の日数を選択→≪完了≫
月単位の表示を設定する お買い上げ時 Off	「週番号を表示する」にチェックをつける／外す→≪完了≫
アラームを設定する お買い上げ時 15分	「アラームの設定」欄でアラームの時間を選択→≪完了≫
会議出席依頼の送信方法を設定する お買い上げ時 Outlook メール	「会議出席依頼の送信方法」欄で依頼の送信方法を選択→≪完了≫

設定

セキュリティの設定

セキュリティに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「セキュリティ」

デバイスロックを設定する	「デバイスのロック」→「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックをつけ、時間を選択→「パスワードの種類」欄で種類を選択→「パスワード」欄にデバイスロック解除用パスワードを入力→「パスワードの確認入力」欄に再度デバイスロック解除用パスワードを入力→≪完了≫→≪はい≫
PIN コード認証を設定する お買い上げ時 Off	「SIM カード暗証番号（PIN）を有効にする」→ PIN コードを入力→≪完了≫
USIM 照合を設定する お買い上げ時 Off	「SIM のロックを有効にする」→ USIM パスワードを入力→≪完了≫→再度 USIM パスワードを入力→≪完了≫

PIN コードを変更する	「SIM カード暗証番号（PIN）の変更」→「古い暗証番号（PIN）」欄に現在の PIN コードを入力→「新しい暗証番号（PIN）欄」に新しい PIN コード（4～8桁）を入力→「新しい暗証番号（PIN）の確認」欄に再度新しい PIN コード（4～8桁）を入力→≪完了≫
PIN2 コードを変更する	「暗証番号(PIN)2 を変更する」→「古い暗証番号(PIN)」欄に現在の PIN2 コードを入力→「新しい暗証番号（PIN)」欄に新しい PIN2 コード（4～8桁）を入力→「新しい暗証番号（PIN）の確認」欄に再度新しい PIN2 コード（4～8桁）を入力→≪完了≫
証明書を確認する	「証明書」→項目を選択→証明書を選択
メモリカードを暗号化する **お買い上げ時** Off	「暗号化」→「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックをつける→≪完了≫
発着信規制用暗証番号を変更する	「次へ ...」→「発着信規制のパスワードの変更」→「古いパスワード」欄に現在の暗証番号を入力→「新しいパスワード」欄に新しい暗証番号を入力→「新しいパスワードの確認」欄に再度新しい暗証番号を入力→≪完了≫
操作用暗証番号を変更する **お買い上げ時** 0000	「次へ ...」→「リセットパスワードの変更」→「古いパスワード」欄に現在の操作用暗証番号を入力→「新しいパスワード」欄に新しい操作用暗証番号を入力→「新しいパスワードの確認」欄に再度新しい操作用暗証番号を入力→≪完了≫→≪ OK ≫
お買い上げ時の情報に戻す（マスタークリア） **お買い上げ時** 0000	「次へ ...」→「マスタークリア」→操作用暗証番号を入力→≪完了≫→≪はい≫ ・ メモリカードが挿入されている場合、「デバイス」／「メモリカード」／「デバイスとメモリカード」を選択します。
Mobile Tracker を設定する **お買い上げ時** 0000	「次へ ...」→「Mobile Tracker」→ 操作用暗証番号を入力→≪完了≫→「Mobile Tracker を有効にする」にチェックをつける→「受信者」欄に SMS の送信先とする電話番号を、＋（国際コード）、国番号、電話番号を全桁（先頭の 0 を除いた市外局番を含む）で入力→「送信者」欄に送信者名を入力→≪完了≫→メッセージを確認→≪はい≫→≪ OK ≫

設定

メモリの設定

メモリに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「メモリ情報」

メモリの情報を確認する	メモリ、記憶領域、メモリカードの使用領域および空き領域が確認できます。

設定

通信の設定

通信に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「接続」

GPRS を追加する	「GPRS」→「追加 ...」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 名前 ・接続先 ・アクセスポイント ・ ユーザー名 ・パスワード ・認証の種類 ・ プライマリ DNS ・セカンダリ DNS ・IP アドレス
GPRS を編集する	「GPRS」→編集する GPRS を反転表示→≪メニュー≫→「編集」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 接続先 ・アクセスポイント ・ユーザー名 ・ パスワード ・認証の種類 ・プライマリ DNS ・ セカンダリ DNS ・IP アドレス
GPRS を削除する	「GPRS」→削除する GPRS を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫
プロキシを追加する	「プロキシ」→「追加 ...」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 名前 ・接続元 ・接続先 ・プロキシ（名前：ポート） ・ 種類 ・ユーザー名 ・パスワード
プロキシを編集する	「プロキシ」→編集するプロキシを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 接続元 ・接続先 ・プロキシ（名前：ポート） ・ 種類 ・ユーザー名 ・パスワード

プロキシを削除する	「プロキシ」→削除するプロキシを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫
VPN を追加する	「次へ ...」→「VPN」→「追加 ...」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ 名前 ・VPN の種類 ・サーバー ・ 接続元 ・接続先 ・ユーザー名 ・ パスワード ・ドメイン ・IPSec 認証 ・ IPSec 事前共有キー
VPN を編集する	「次へ ...」→「VPN」→編集する VPN を反転表示→≪メニュー≫→「編集」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ VPN の種類 ・サーバー ・接続元 ・ 接続先 ・ユーザー名 ・パスワード ・ ドメイン ・IPSec 認証 ・IPSec 事前共有キー
VPN を削除する	「次へ ...」→「VPN」→削除する VPN を反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫
Enhanced GPS を設定する お買い上げ時 無効	「次へ ...」→「Enhanced GPS 設定」→以下の操作を実行→≪完了≫ ・ 「XTRA 有効」欄で有効／無効を選択 ・ XTRA が有効な場合、「自動ダウンロード」欄で有効／無効を選択 ・ 自動ダウンロードが有効な場合、「ダウンロード間隔（時間）」欄で時間を設定 ・ 自動ダウンロードが無効な場合、「XTRA データのダウンロード」→≪ OK ≫
ドメインへ登録する	「次へ ...」→「ドメインへの登録」→≪登録≫→以下の項目を設定→画面の指示に従って設定します。 ・ 会社の電子メールアドレス ・ 登録パスワード ・ 「サーバーを自動的に検出する」
ドメインへ登録する（詳細設定）	「次へ ...」→「ドメインへの登録」を反転表示→≪メニュー≫→「詳細設定」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ インターネット接続 ・ 社内ネットワークの接続 ・ WAP 接続 ・ セキュアな WAP 接続

ドメインへ登録する（オプション）	「次へ ...」→「ドメインへの登録」を反転表示→≪メニュー≫→「詳細設定」→≪メニュー≫→「オプション」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ リダイヤル試行回数 ・ アイドル時の切断までの時間 ・ PC の接続先
ドメインへ登録する（URL 例外設定の追加）	「次へ ...」→「ドメインへの登録」を反転表示→≪メニュー≫→「詳細設定」→≪メニュー≫→「URL 例外設定」→≪メニュー≫→「追加」→ URL パターンを入力→≪完了≫
ドメインへ登録する（URL 例外設定の編集）	「次へ ...」→「ドメインへの登録」を反転表示→≪メニュー≫→「詳細設定」→≪メニュー≫→「URL 例外設定」→編集する URL パターンを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→ URL パターンを入力→≪完了≫
ドメインへ登録する（URL 例外設定の削除）	「次へ ...」→「ドメインへの登録」を反転表示→≪メニュー≫→「詳細設定」→≪メニュー≫→「URL 例外設定」→削除する URL パターンを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫

外部接続の設定

Wi-Fi に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「接続」

Wi-Fi 機能を設定／解除する お買い上げ時 Off	「次へ ...」→「Wi-Fi」→≪メニュー≫→「Wi-Fi をオンにする」／「Wi-Fi をオフにする」
ネットワークを追加する お買い上げ時 Off	「次へ ...」→「Wi-Fi」→≪メニュー≫→「追加」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ ネットワーク名（SSID） ・ ネットワークの種類 ・ これは非表示のネットワークです ・ これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です ・ 認証 ・ データ暗号化 ・ 自動的に提供されるキーを使用する ・ ネットワークキー ・ キーインデックス ・ IEEE 802.1X ネットワークアクセスコントロールを使用 ・ EAP の種類
ネットワークを編集する	「次へ ...」→「Wi-Fi」→編集対象のネットワークを反転表示→≪メニュー≫→「編集」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ ネットワークの種類 ・ これは非表示のネットワークです ・ これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です ・ 認証 ・ データ暗号化 ・ 自動的に提供されるキーを使用する ・ ネットワークキー ・ キーインデックス ・ IEEE 802.1X ネットワークアクセスコントロールを使用 ・ EAP の種類

ネットワークを削除する	「次へ ...」→「Wi-Fi」→削除対象のネットワークを反転表示→≪メニュー≫→「削除」→≪はい≫
ネットワークの詳細設定を編集する	「次へ ...」→「Wi-Fi」→≪メニュー≫→「詳細設定」→以下の項目を設定→≪完了≫ ・ アクセスするネットワーク ・ 利用可能なネットワーク ・ Wi-Fi をオフにする
Wi-Fi の状態を確認する	「次へ ...」→「Wi-Fi の状態」→≪完了≫
Wi-Fi を常にオンにする お買い上げ時 Off	「次へ ...」→「Wi-Fi を常にオン」→「Wi-Fi を常にオン」にチェックをつける／外す→≪完了≫

Bluetooth® に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「接続」→「Bluetooth」

Bluetooth® 機能を設定／解除する お買い上げ時 Off	「Bluetooth」→≪メニュー≫→「Bluetooth をオンにする」／「Bluetooth をオフにする」
他の Bluetooth® 機器から検出可能／不可にする お買い上げ時 Off	「Bluetooth」→≪メニュー≫→「検出可能にする」／「検出不可にする」
Bluetooth® 対応機器を検索して登録する	「Bluetooth」→「新しいデバイスの追加 ...」→登録する機器を選択→認証コード（4 ～ 16 桁）を入力→≪次へ≫→相手機器側で 30 秒以内に同じ認証コードを入力
ヘッドセットの接続を設定する	「ヘッドセット マネージャー」→設定を行う機器を反転表示→≪メニュー≫→「すべて接続」／「すべて切断」／「ハンズ フリーの接続」／「ハンズ フリーの切断」／「ステレオ ヘッドセットの接続」／「ステレオ ヘッドセットの切断」を選択→≪完了≫
ヘッドセット接続時にポップアップが表示されるかどうかを設定する	「ヘッドセット マネージャー」→「自動接続ポップアップ」のチェックをつける／外す→≪完了≫
プリンターの接続を設定する	「既定のプリンター マネージャー」

デバイス情報とBluetooth® の情報を確認する	「個人情報設定」→≪完了≫ ・ デバイス名、デバイスのアドレス、Bluetooth® ハードウェアのバージョン、Bluetooth® ソフトウェアのバージョンが確認できます。
着信ビームを受信するかどうかを設定する お買い上げ時 On	≪スタート≫→「設定」→「接続」→「ビーム」→「着信ビームを受信する」のチェックをつける／外す→≪完了≫

USB 接続モードに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「接続」→「USB」

USB 接続時の設定を変更する お買い上げ時 USB 接続設定：ActiveSync、高度なネットワーク機能を有効にする：On	「USB 接続設定」欄で接続の種類を選択→≪完了≫

設定

その他の設定

ユーザー補助に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「次へ ...」→「ユーザー補助」

確認タイムアウトを設定する お買い上げ時 5 秒	「確認タイムアウト」欄でタイムアウト時間を選択→≪完了≫

エラー報告に関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「次へ ...」→「エラー報告」

エラー報告を有効にするかどうかを設定する お買い上げ時 有効にする（推奨）	「エラー報告」欄で報告の「有効にする（推奨）」／「無効にする」を選択→≪完了≫

カスタマーフィードバックに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「次へ ...」→「カスタマーフィードバック」

カスタマーフィードバックを有効にするかどうかを設定する お買い上げ時 報告オプション	「フィードバックの報告」欄で報告の「報告オプション」／「無効」／「有効（推奨）」を選択→≪完了≫

管理プログラムに関する設定

共通操作 ≪スタート≫→「設定」→「次へ ...」→「次へ ...」→「次へ ...」→「管理プログラム」

管理プログラムのインストール履歴を確認する	法人ユーザーのアドミニストレータが Microsoft System Center Mobile Device Manager 2008 用にインストールする管理プログラムの一覧が表示されます。

資料／付録

13

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

☑ 電池パックが本機に装着されていますか？

➡ 正しく装着してください。

■ 電源を入れたのに操作できない

☑ PIN コードを入力する画面が表示されていませんか？

➡ PIN コードを入力してください。

■ 操作ができない

☑ パスワード入力の画面が表示されていませんか？

➡ デバイスのロックが設定されているので、パスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「SIM カードが見つからないか、無効です。」と表示される

☑ USIM カードは正しく取り付けられていますか？

➡ USIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ USIM カードのデータ読み込み中ではありませんか？

➡ しばらくたってから操作し直してください。

☑ 違った USIM カードをお使いではありませんか？

➡ 正しい USIM カードであることを確認してください。当社で指定された USIM カードを使用してください。

☑ USIM カードの IC 部分に指紋などの汚れがついていませんか？

➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■ 「 」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話が途切れたり、切れたりする

☑「 」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信制限が設定されていませんか？

➡ 発信制限を「オフ」に設定してください。

☑ ワイヤレスマネージャーで電話が「オフ」に設定されていませんか？

➡ 電話を「オン」に設定してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクター／変換ケーブルの接続コネクターが確実に差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？

➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが本機に取り付けられていますか？

➡ 正しく取り付けてください。

☑ 本機および電池パックの充電端子、急速充電器の接続コネクター、変換ケーブルの接続コネクター、本機の外部接続端子が汚れていませんか？

➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が 5℃より低い場所または 40℃を超える場所で充電していませんか？

➡ 周囲の温度が 5 ～ 40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか？

➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？

➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に本機や電池パックの温度が上昇していませんか？

➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。本機や電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ 熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると本機が発熱することがあります。

➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先(➲P.13-20)までご連絡ください。

■ 電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。

➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費が早い機能の使用を控えてください（➲P.1-8）。

■ ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？

➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの時間はパワーマネージメントの設定で変更できます。

■ スピーカーで音楽が再生できない

☑ プロファイルの「サイレント」が設定されていませんか？

➡ プロファイルを切り替えてください。

☑ マイクイヤホンを接続していませんか？

➡ マイクイヤホンの接続コネクターを本機から抜いてください。

■「電話の機能は現在停止中です。電話の機能を有効にしますか？」と表示された

☑ ワイヤレスマネージャーで電話が「オフ」に設定されているときに電話やメール送信しようとしたときに表示されます。

➡ 電話を「オン」に設定してください。

■ プログラムを起動してもそのプログラムの最初の画面が表示されない

☑ すでにそのプログラムを起動していませんか？

➡ プログラムを起動している場合は、最後に動作していた状態の画面が表示されます。一度プログラムを終了させてから、再度起動させてください。

機能一覧

スタートメニュー

ホーム画面で≪スタート≫を選択して表示されるスタートメニューです。

メインメニュー／中項目／小項目		参照先
SoftBank メール		P.4-5
メール		P.4-10
連絡先		P.2-12
予定表		P.8-3
Internet Explorer		P.5-3
Windows Media		P.7-3
コンテンツマネージャ		P.10-2
設定		
	電話	P.12-5
	サウンド	P.12-3
	表示	P.12-4
	プロファイル	P.12-4
	日付／時刻	P.7-11
	接続	P.12-14
	セキュリティ	P.9-2
	プログラムの削除	P.2-15
	パワーマネージメント	P.12-5

メインメニュー／中項目／小項目		参照先
	メモリ情報	P.10-12
	キー設定	P.2-17
	地域	P.12-2
	オーナー情報	P.1-13
	ユーザー補助	P.12-20
	バージョン情報	P.2-17
	バージョン	P.2-17
	エラー報告	P.12-20
	カスタマーフィードバック	P.12-20
	管理プログラム	P.12-20
	電子メールの設定	P.12-8
	デバイス名	P.12-3
Marketplace		P.2-15
Microsoft My Phone		P.11-18
Messenger		P.5-9
インターネット共有		P.11-19
ActiveSync		P.11-6
Windows Live		P.5-7
MSN 天気予報		P.5-9
MSN マネー		P.5-10
お使いになる前に		P.2-16

メインメニュー／中項目／小項目			参照先
ゲーム			
	Bubble Breaker		P.7-14
	ソリティア		P.7-14
エクスプローラー			P.10-6
検索ウィジェット			P.7-13
アプリケーション			
	Adobe Reader LE		P.8-11
	Java		P.2-15
	RSS リーダー		P.5-10
	カメラ		P.6-4
	スピード ダイヤル		P.3-6
	タスク マネージャー		P.8-12
	フォトスライド		P.7-9
	通話履歴		P.3-8
	Office Mobile		
		Excel Mobile	P.8-8
		OneNote Mobile	P.8-10
		PowerPoint Mobile	P.8-9
		Word Mobile	P.8-7

メインメニュー／中項目／小項目		参照先
ツール		
	D- ディ	P.7-13
	アラーム	P.8-4
	ストップウォッチ	P.7-11
	チップ	P.7-12
	ボイスメモ	P.8-6
	検索	P.7-13
	仕事	P.8-5
	世界時計	P.7-11
	単位換算	P.7-12
	電卓	P.7-12

文字入力用キー一覧

文字入力用キー

- ひらがな入力モード（あ）

五十音									
あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か	KA（CA）	き	KI	く	KU(CU)(QU)	け	KE	こ	KO（CO）
さ	SA	し	SI(SHI)(CI)	す	SU	せ	SE（CE）	そ	SO
た	TA	ち	TI（CHI）	つ	TU（TSU）	て	TE	と	TO
な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は	HA	ひ	HI	ふ	HU（FU）	へ	HE	ほ	HO
ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や	YA			ゆ	YU			よ	YO
ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RO
わ	WA							を	WO
ん	NN								

濁音／半濁音									
が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ	ZA	じ	ZI（JI）	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば	BA	び	BI	ぶ	BU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO
				ヴ	VU				

拗音（ゃ／ゅ／ょ）									
きゃ	KYA			きゅ	KYU			きょ	KYO
しゃ	SYA(SHA)			しゅ	SYU(SHU)			しょ	SYO(SHO)
ちゃ	TYA(CHA)			ちゅ	TYU(CHU)			ちょ	TYO(CHO)
にゃ	NYA			にゅ	NYU			にょ	NYO
ひゃ	HYA			ひゅ	HYU			ひょ	HYO
ふゃ	FYA			ふゅ	FYU			ふょ	FYO
みゃ	MYA			みゅ	MYU			みょ	MYO
りゃ	RYA			りゅ	RYU			りょ	RYO
ぎゃ	GYA			ぎゅ	GYU			ぎょ	GYO
じゃ	ZYA（JA）			じゅ	ZYU（JU）			じょ	ZYO（JO）
ぢゃ	DYA			ぢゅ	DYU			ぢょ	DYO
びゃ	BYA			びゅ	BYU			びょ	BYO
ぴゃ	PYA			ぴゅ	PYU			ぴょ	PYO

拗音（ぁ／ぃ／ぅ／ぇ／ぉ）									
くぁ	QA	くぃ	QI	くぅ	QWU	くぇ	QE	くぉ	QO
ぐぁ	GWA	ぐぃ	GWI	ぐぅ	GWU	ぐぇ	GWE	ぐぉ	GWO
つぁ	TSA	つぃ	TSI			つぇ	TSE	つぉ	TSO
ふぁ	FA	ふぃ	FI			ふぇ	FE	ふぉ	FO
ヴぁ	VA	ヴぃ	VI			ヴぇ	VE	ヴぉ	VO

拗音（その他）									
いぇ	YE	うぇ	WE						
てゃ	THA	てぃ	THI	てゅ	THU	てぇ	THE	てょ	THO
でゃ	DHA	でぃ	DHI	でゅ	DHU	でぇ	DHE	でょ	DHO
とぅ	TWU	どぅ	DWU						
ヴゅ	VYU								

小さい文字のみ									
ぁ	LA(XA)	ぃ	LI(XI)	ぅ	LU(XU)	ぇ	LE(XE)	ぉ	LO(XO)
ゃ	LYA(XYA)	ゅ	LYU(XYU)	ょ	LYO(XYO)	っ	LTU(XTU)	ゎ	LWA(XWA)

記号一覧

1/5

.	!	?	'	,	-	@
"	…	/	:	;	(	)
$	€	£	¥	¢	¤	~
%	=	&	#	+	*	^
<	>	{	}	_	[	]
¿	¡	„	”	`	|	§

2/5

à	á	â	ã	ä	å	æ
ā	ă	ą	À	Á	Â	Ã
Ä	Å	Æ	Ā	Ă	Ą	ç
ć	ĉ	č	Ç	Ć	Ĉ	Č
ð	ď	đ	Đ	Ď	è	é
ê	ë	ē	ę	È	É	Ê

3/5

Ë	Ē	Ę	Ě	ĝ	Ĝ	ĥ
ħ	Ĥ	ì	í	î	ï	ĩ
Ī	Ì	Í	Î	ĵ	Í	ľ
ł	Ĺ	Ľ	Ł	ñ	Ñ	ò
ó	ô	õ	ö	ø	ō	ő
œ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	Ø

4/5

Ō	Ő	Œ	ŕ	ř	Ŕ	Ř
ß	ś	ŝ	ş	š	Ś	Ş
Š	ţ	ť	Ţ	Ť	ù	ü
ũ	ū	ŭ	ů	ű	Ù	Ú
Û	Ü	Ũ	Ū	Ŭ	Ů	Ű
ý	ÿ	Ý	Ÿ	þ	Þ	ź

5/5

ż	ž	ź	Ż	Ž

絵文字一覧

1/12



2/12



3/12



4/12



5/12



6/12



7/12



8/12



9/12



10/12



11/12



12/12



- ［緑枠］部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により表示されない場合があります。

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank　X01SC

項　目	仕　様
質量	103.9g
連続通話時間	3G：約 350 分 GSM ネットワーク：約 400 分
連続待受時間（ディスプレイ消灯時）	3G：約 531 時間 GSM ネットワーク：約 520 時間
充電時間	急速充電器：約 213 分
サイズ（W × H × D）	約 59.7 x 111.9 x 12.6mm
最大出力	3G：0.25W GSM ネットワーク：2W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（Internet Explorer の操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待受の組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1480 mAh
サイズ（W × H × D）	51.3 × 36.85 × 8.4 ㎜（突起部を含まず）

システム情報

OS		Windows Mobile 6.5 Standard
CPU 情報		MSM 7225
ディスプレイ	ディスプレイタイプ	TFT
	画面サイズ	2.4 インチ
	色数	65,000 色
	解像度	320 × 240

メモリ情報

カメラ	静止画	最大保存容量［本体］	可変 残メモリ量まで登録可能 最大 60MB
	動画	最大ファイルサイズ［本体］	
		最大保存容量［本体］	
メール		送信フォルダ保存件数	
		受信フォルダ保存件数	
		送信済みフォルダ	
JAVA		件数・容量	
		最大プログラムサイズ	
ツール	スケジュール機能	保存容量	
	テキストメモ	件数・容量	
	音声メモ	件数、1 件当たりの最大可能録音秒数	
着信音		容量、最大曲数	
Web	Web 対応	最大ダウンロード容量	
	ブックマーク	件数・容量	

索引

目的別索引

便利な機能索引

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」(➔P.13-2)をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付(➔P.13-20)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- 故障または修理により、お客様が登録･設定した内容が消去･変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先やフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。
番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクモバイルお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から 113（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank X01SC 取扱説明書

2009 年 12 月 第 2 版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（連絡先・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

機種名　SoftBank X01SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

SoftBank X01SC User Guide 取扱説明書

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通話履歴、メール等）は、事前に消去願います。